

Tohoku University Fact Book 2009

# 東北大学概要 2009



東北大学

## CONTENTS

## 〈はじめに〉

歴史的背景	01
使命と目指す大学の姿	02
総長挨拶	03
歴代総長	04
沿革図	05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者	07
学内表彰	11
学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク	13

## 〈組織〉

運営組織	15
機構図	16
役員・主な役職者	17
総長選考会議	20
役員会	20
経営協議会	20
教育研究評議会	20
役員・職員数	21
学部	22
大学院	23
附置研究所	25
学内共同教育研究施設等	25
特定事業組織	25
教養教育院	26
原子分子材料科学高等研究機構	26
総合技術部	26
情報シナジー機構	26
附属図書館	26
病院	27

## 〈学生〉

学生数	29
入学状況	30
学部卒業生数	32
学位授与者数	32
卒業後の状況	33
産業別就職者数	34
学友会	35

## 〈財務〉

平成20年度決算	37
研究費等受入状況	38
土地・建物	39

## 〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉

世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)	41
COE 等	41
教育	43
寄附講座・寄附研究部門	45
産学官連携ポリシー	45
産学連携	46
社会との連携協力	46
東北大学校友会	48
東北大学百周年記念会館 (川内萩ホール)	49

## 〈国際交流〉

学術交流協定締結等	51
研究者等受入状況	57
海外拠点	58
外国人留学生数	59
国際交流戦略の基本指針	61
国際的な大学連合への加盟	61

## 〈キャンパス〉

施設所在地一覧	63
建物配置図	65

## ■ 歴史的背景 (Historical Background)

東北大学は、1907年（明治40年）に、東京帝国大学、京都帝国大学に続く3番目の帝国大学として創立。設立当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、さらに1913年（大正2年）には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の国立大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

東北帝国大学は、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、東北大学は、戦前からいち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

このような精神は、第二次世界大戦、戦後の成長期を経て、グローバル化が進行する現代にも生き生きと息づいている。

2005年12月27日

## ■東北大学の使命(Mission Statement)

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

## ■東北大学が目指す大学の姿(Towards Tohoku University 2016)

東北大学は、その使命を果すため、今後10年間で、次のような大学になることを目指す。

### 〈世界最高水準の総合研究拠点の確立〉

- 自然科学、人文科学、社会科学にわたる、幅広い分野において、世界をリードする研究成果を恒常的に創造する。
- 知識の加速度的集積と知識基盤型社会の要請に応えるために、たえず最適の研究組織の編成を図る。
- 国内外の主要研究機関との研究ネットワーク連携を整備すると共に、世界的総合研究拠点としての声望・評価を確立する。

### 〈社会の発展と新たな知の創造を担う指導的人材の養成〉

- 教員は、最先端の研究に従事しながら、その成果を教育に反映させる。
- すべての授業を「世界最高水準の教育拠点」にふさわしい内容と方法で提供する。
- 新たな知の創造に必要な基礎知識と社会の指導者としての責任意識を涵養する教育を実施する。
- 高度の国際性、専門知識、応用能力を備えた高度専門職業人を養成する教育プログラムと組織を整備・発展させる。

### 〈世界と地域への貢献〉

- 研究成果を社会に普及させ、指導的人材を社会に送り出すことによって、人類社会及び地域社会の発展に寄与する。
- 資質と意欲があれば、誰もが、国籍・人種・性別・年齢・宗教・社会階層等に関わりなく、平等に、学生・職員として受け入れられる機会を与える。
- 「実学尊重」の伝統を踏まえて、産学連携を推進し、サイエンスパークを整備する。
- 市民を対象にした教育や、専門知識を活用する相談サービス等の提供を、質・量ともに飛躍的に充実させる。
- キャンパスを市民との共生の場として開放すると共に、大学所蔵の図書・学術資料・施設等の知的資源・財産の社会的有効活用を図る。

### 〈世界最高水準の研究・教育拠点にふさわしい文化・環境・経営体制の整備〉

- 世界最高水準の研究・教育を活性化するような学内の文化を保持・発展させる。
- キャンパスの景観の美的統一と自然環境との調和を図り、知的創造活動にふさわしい雰囲気醸成を図る。
- 世界最高水準の研究・教育活動を柔軟且つ機動的に展開するのに必要な施設、人的・物的・財政的基盤及び経営体制を整える。



歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	沢柳 政太郎	明治44(1911)年 3月24日～ 大正 2(1913)年 5月 8日
第2代	北条 時敬	大正 2(1913)年 5月 9日～ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小川 正孝	大正 6(1917)年 8月25日～ 大正 6(1917)年10月14日
第3代	福原 鏝二郎	大正 6(1917)年10月15日～ 大正 8(1919)年 6月20日
第4代	小川 正孝	大正 8(1919)年 6月21日～ 昭和 3(1928)年 6月14日
第5代	井上 仁吉	昭和 3(1928)年 6月15日～ 昭和6(1931)年 6月14日
第6代	本多 光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日～ 昭和15(1940)年 5月30日
第7代	熊谷 岱蔵	昭和15(1940)年 5月31日～ 昭和21(1946)年 2月11日
第8代	佐武 安太郎	昭和21(1946)年 2月12日～ 昭和24(1949)年 3月31日
第9代	高橋 里美	昭和24(1949)年 4月 1日～ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒川 利雄	昭和32(1957)年 7月 1日～ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石津 照璽	昭和38(1963)年 7月 1日～ 昭和40(1965)年10月 4日

代数	氏名	在任期間
(事務取扱)	元 村 勲	昭和40(1965)年10月 5日～ 昭和40(1965)年11月19日
第12代	本川 弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水野 弥彦	昭和46(1971)年 2月 3日～ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加藤 陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日～ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前田 四郎	昭和52(1977)年 5月 1日～ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石田 名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日～ 平成 元(1989)年 4月30日
第16代	大谷 茂盛	平成 元(1989)年 5月 1日～ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉 永 馨	平成 2(1990)年10月 1日～ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西澤 潤一	平成 2(1990)年11月 6日～ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿部 博之	平成 8(1996)年11月 6日～ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉本 高志	平成14(2002)年11月 6日～ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井上 明久	平成18(2006)年11月 6日～



初代 沢柳政太郎



第2代 北条時敬



第3代 福原鏝二郎



第4代 小川正孝



第5代 井上仁吉



第6代 本多光太郎



第7代 熊谷岱蔵



第8代 佐武安太郎



第9代 高橋里美



第10代 黒川利雄



第11代 石津照璽



第12代 本川弘一



第13代 加藤陸奥雄



第14代 前田四郎



第15代 石田名香雄



第16代 大谷茂盛



第17代 西澤潤一



第18代 阿部博之



第19代 吉本高志

# 沿革図

はつめい

明治9(1876)年8月  
札幌農学校

明治40(1907)年 創立  
明治40(1907)年9月 農科大学  
明治40(1907)年6月 東北帝国大学

大正7(1918)年4月 分離独立・北海道帝国大学  
大正8(1919)年4月 大学令

昭和22(1947)年10月 東北大学  
昭和24(1949)年5月 新制大学

明治44(1911)年1月  
理科大学

大正8(1919)年4月  
理学部

明治20(1887)年8月  
第二高等学校医学部

明治34(1901)年4月  
仙台医学専門学校

明治45(1912)年4月  
医学専門部

大正4(1915)年7月 医科大学  
大正7(1918)年4月 廃止

大正8(1919)年4月  
医学部

昭和14(1939)年5月  
臨時附属医学専門部

昭和19(1944)年3月  
附属医学専門学校

明治39(1906)年4月  
仙台高等工業学校

明治45(1912)年4月  
工学専門部

大正8(1919)年5月  
工学部

大正10(1921)年4月  
分離独立・仙台高等工業学校

昭和19(1944)年4月  
仙台工業専門学校



正門 (昭和初期)



史料館 (旧図書館・昭和初期)

昭和22(1947)年4月  
農学部

大正11(1922)年8月  
法文学部

昭和24(1949)年4月  
3学部に分立

明治20(1887)年4月  
第二高等学校

明治27(1894)年6月  
第二高等学校大学予科

大正8(1919)年4月  
第二高等学校

昭和24(1949)年5月  
教育学部

昭和24(1949)年5月 昭和25(1950)年3月  
包括 廃止

昭和24(1949)年6月  
分校第一教養部

昭和24(1949)年6月  
分校第二教養部

昭和24(1949)年6月  
分校第三教養部

明治19(1886)年4月  
宮城県尋常師範学校

明治31(1898)年4月  
宮城県師範学校

大正2(1913)年4月  
宮城県女子師範学校

大正15(1926)年4月  
宮城県女子専門学校

昭和18(1943)年4月  
宮城師範学校

昭和24(1949)年5月  
併合

昭和24(1949)年5月  
包括

昭和24(1949)年6月  
分校教育教養部

昭和32(1957)年4月  
北分校に改称

昭和20(1945)年4月  
宮城青年師範学校

昭和24(1949)年6月  
包括



片平キャンパス\_本部棟

大正8(1919)年5月  
附属鉄鋼研究所

大正11(1922)年8月  
金属材料研究所

昭和16(1941)年12月  
抗酸菌病研究所

昭和18(1943)年10月  
高速力学研究所

昭和10(1935)年9月  
附属電気通信研究所

昭和19(1944)年1月  
電気通信研究所

昭和14(1939)年8月  
農学研究所

昭和16(1941)年3月  
選鉱製錬研究所

昭和18(1943)年1月  
科学計測研究所

昭和18(1943)年10月  
航空医学研究所

昭和21(1946)年1月  
廃止

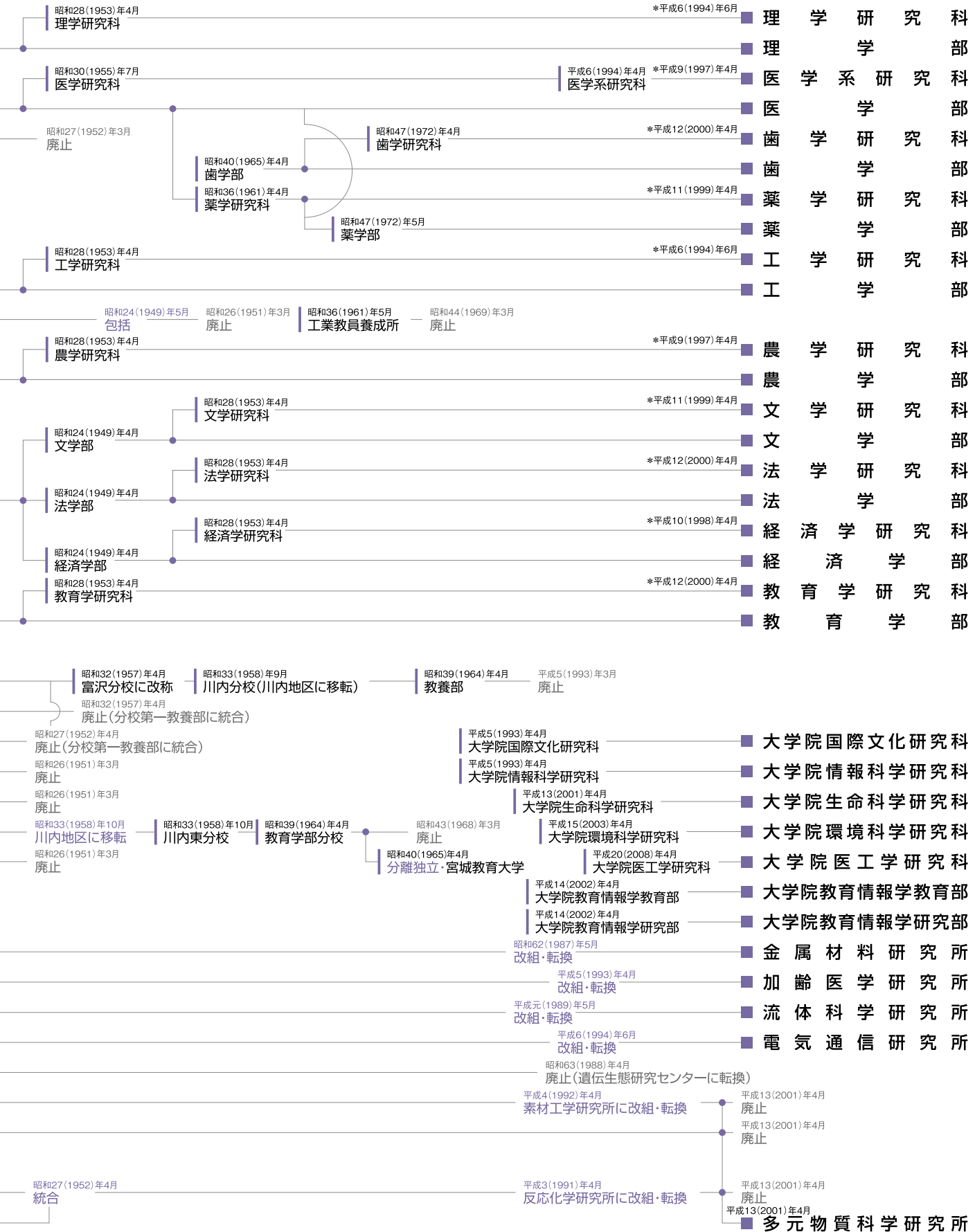
昭和19(1944)年1月  
非水溶液化学研究所

昭和20(1945)年1月  
硝子研究所(ガラス研究所)

(平成21年4月現在)

昭和28(1953)年4月 新制大学院 昭和32(1957)年 創立50周年 昭和57(1982)年 創立75周年 昭和62(1987)年 創立80周年 平成16(2004)年4月 国立大学法人 平成19(2007)年 創立100周年 ■ 東 北 大 学

はじめに



\* 大学院重点化時期

# ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

(平成21年5月現在)

## ノーベル賞受賞者

受賞年	氏名	部局(賞博…名誉博士)	受賞理由
1987年	ハンス・ハインリッヒ・ローラー	金属材料研究所(客)、賞博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイール	ユニバーシティプロフェッサー、賞博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学研究科(客)、賞博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	金属材料研究所(客)、賞博	巨大磁気抵抗効果(GMR)の発見

## 文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受賞	文化功労賞	氏名	部局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロン等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部(併)	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	抗酸菌病研究所	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫瘍の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀四郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部(併)	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転断層撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、賞博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部(客)、賞博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
—	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真嶋正市	理学部	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡辺寧	電気通信研究所	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
—	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増本健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
—	平成18年	伊藤英覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
—	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立



(平成21年5月現在)

## 日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第4回 大正3年	日下部 四郎太	理学部	岩石の力学的研究
第6回 大正5年	本多 光太郎	金属材料研究所	鉄に関する研究
第7回 大正6年	真島 利行	理学部	漆の主成分に関する研究
○第8回 大正7年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラヴォン体の研究
○第9回 大正8年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第9回 大正8年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究(共同研究)
○第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱(クモヒトデ)の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△第15回 大正14年	曾 禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△第17回 昭和2年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○第18回 昭和3年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和6年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究(全六巻)
第21回 昭和6年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△第22回 昭和7年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△第23回 昭和8年	野村 博	理学部	生薑の辛辣成分の研究
第24回 昭和9年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	o-Amidoazotoluolの経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鑄鉄の研究
○第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究(共同研究)
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	毒物の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稻冷害の生理学的研究
○第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理学部	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	高速力学研究所	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究(共同研究)
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究(共同研究)
○第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	多田野 等観	文学部	西藏撰述仏典目録(共同研究)
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関(共同研究)
○第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
○第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画(共同研究)
第50回 昭和35年	神田 英蔵	金属材料研究所	低温度における凝縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する纖毛虫類の機能に関する生化学的研究

\*9ページにつづく

# ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

## 日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏名	部局	受賞理由
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法学部	西ドイツの精神構造
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農学部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究
第60回 昭和45年	山本 義一	理学部	大気放射の研究
第60回 昭和45年	広中 平祐	理学部(併)	代数的多様体の研究
第61回 昭和46年	横堀 武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第62回 昭和47年	岡本 耕造	医学部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第63回 昭和48年	西山 善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第64回 昭和49年	西澤 潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第65回 昭和50年	北住 敏夫	文学部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第65回 昭和50年	樋口 陽一	法学部	近代立憲主義と現代国家
第65回 昭和50年	伊藤 英覺	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第65回 昭和50年	久保田 尚志	理学部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第67回 昭和52年	高橋 信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第67回 昭和52年	島田 謹二	法文学部	日本における外国文学—比較文学研究—
第67回 昭和52年	赤祖父 俊一	理学部	磁気圏攪乱の研究
第69回 昭和54年	佐藤 武敏	法文学部	中国古代絹織物史研究
第70回 昭和55年	亀谷 哲治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第71回 昭和56年	木下 彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊—農村における封建的労働の構造分析—
※ 第72回 昭和57年	角谷 静夫	理学部	函数解析の研究
第73回 昭和58年	増本 健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第77回 昭和62年	石田 名香雄	医学部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第77回 昭和62年	岩崎 俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第77回 昭和62年	坪井 善勝	工学部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第78回 昭和63年	沼田 眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※ 第79回 平成元年	日沼 頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※ 第80回 平成2年	中西 香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第80回 平成2年	辻 廣	工学部(併)	火災の構造および基礎的特性の研究
第82回 平成4年	鈴木 秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第83回 平成5年	山本 肇	歯学部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第83回 平成5年	多田 啓也	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第83回 平成5年	菊地 吾郎	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第84回 平成6年	櫻井 英樹	理学部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第84回 平成6年	丸山 雍成	文学部	日本近世交通史の研究
第88回 平成10年	杉原 高嶺	法学部	国際司法裁判制度
※ 第92回 平成14年	飯島 澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第92回 平成14年	栗原 康	理学部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第92回 平成14年	井上 明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第92回 平成14年	日向 康吉	農学部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自己識別機構の研究(共同研究)
第93回 平成15年	岡本 宏	医学部	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第93回 平成15年	遠藤 實	医学部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第94回 平成16年	安元 健	農学部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第95回 平成17年	大野 英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第96回 平成18年	鈴木 厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第97回 平成19年	加藤 康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第97回 平成19年	平 朝彦	理学部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※ 第99回 平成21年	村上 哲見	文学部	宋詞に関する研究
第99回 平成21年	川人 貞史	法学研究科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」

○は恩賜賞のみ受賞

※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞

◎日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者

△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

## 日本学士院会員

選定年月日	氏名	部局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部長 克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 椒祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱蔵	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 現之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法文学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法文学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部

選定年月日	氏名	部局
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法文学部
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	法文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	工学部
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法文学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	法文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部(併)
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	法文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法文学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法文学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部(併)
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	松本 達郎	農学部
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 12日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所

## 学内表彰

### 総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏名	職名等	受賞理由
平成21年 3月25日	川人 貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤 康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井上 明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小柳 光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木 厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷 元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大野 英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

### 総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

#### 平成20年度

氏名	職名等	受賞理由
佐藤 明	医学系研究科准教授	全学教育における体育実技の授業において、体育教育本来の目的を果たすのみならず、科学と文化を融合した先進的かつ優れた授業を実践し、学生から高い授業評価を得た。
末松 和子	経済学研究科准教授	留学生教育・派遣留学促進・国際学術支援において、学生の視点に立ちながら社会のニーズに対応し、新しい企画を率先して実施する等、国際交流の促進に大きく貢献した。

#### 平成19年度

氏名	職名等
張山 昌論	情報科学研究科准教授
馬場 護	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 教授

#### 平成18年度

氏名	職名等
今井 秀雄	情報科学研究科助教授
佐々木 伸樹	理学研究科助手
大学院生態学合同講義世話人	生命科学 研究科

### 総長賞受賞者 平成20年度

本学の教育目標にかない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

#### 学士

神林 啓人	文学部	伊藤 健児	薬学部
茂木 謙之介	文学部	内海 雄紀	工学部
伴 奈々子	教育学部	泊川 晃	工学部
平山 翔悟	法学部	石幡 研悟	工学部
京谷 里絵	法学部	西田 圭嗣	工学部
三井 庸平	経済学部	河田 祐紀	工学部
小沢 佳史	経済学部	君島 健之	工学部
挽地 愛	経済学部	岩田 直道	工学部
草野 修平	理学部	大竹 雄介	工学部
中村 悠希	理学部	宮下 結衣	農学部
小林 穂高	理学部	中村 圭志	農学部
吉野 優樹	医学部		
彦坂 由季	医学部		
吉田 倫子	歯学部		

#### 修士

宍戸 圭介	法学研究科	柿崎 真沙子	医学系研究科
星野 直哉	理学研究科	川井 忠	歯学研究科
浅沼 英利	理学研究科	大内 貴司	薬学研究科
星 拓也	工学研究科	上田 啓貴	工学研究科
伊藤 紘晃	工学研究科	宇藤 裕康	工学研究科
松原 涉	情報科学研究科	馬場 和彦	工学研究科

#### 博士

高橋 陽一	文学研究科	渡部 弘達	工学研究科
京須 希実子	教育学研究科	下権谷 祐児	工学研究科
長谷部 光哉	経済学研究科	藤井 壮太	農学研究科
中野 匡規	理学研究科	ONYSHEVSKO VYACHESLAV	国際文化研究科
山本 健太	理学研究科	千葉 秀平	生命科学研究科
石川 善則	医学系研究科	高橋 康史	環境科学研究科
		西 郡 大	教育情報学教育部

### 校友会長賞受賞者 平成20年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏名	部・団体名	氏名	部・団体名
日下 雅広	オリエンテーリング部	小室 淳史	トリアスロン部
阿部 ゆかり	オリエンテーリング部	瀬川 周平	トリアスロン部
樋口 達也	競技舞踏部	藤澤 鐘吾	陸上競技部

## 学内表彰

### 沢柳賞受賞者

「沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

#### 平成20年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
東北大学川内けやき保育園保護者会	活動部門	活動部門	大学の特色を活かした付属保育園施設作りのためのネットワーク構築
トルムフ オントヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)	モンゴルにおける女性への暴力拡大に関する社会人類学的分析

#### 平成19年度

氏名	職名等	受賞部門
齊藤綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門
阿部未央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)
工学研究科機械・知能系男女共同参画推進委員会WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
尾崎博美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
八木美保子	教育学研究科博士課程学生	
水原克敏	教育学研究科教授	
生田久美子	教育学研究科教授	
ヤマモトシリア エミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門(特別賞)

#### 平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉田浩	経済学研究科助教授	研究部門
遠山智子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
鈴木美智子	理学研究科教育研究支援者	
玉江京子	理学研究科助手	活動部門
海老原孝枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	
橋本鈺市	教育学研究科助教授	プロジェクト部門

### 東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

#### 東北大学藤野先生賞

平成20年度該当なし

平成19年度該当なし

平成18年度該当なし

授賞年度	氏名	所属等
平成17年	孫毅	北京魯迅博物館館長

#### 東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所属等
平成16年	顧秉林	清華大学総長

### 東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

#### 東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部局
平成20年	張蓉蓉	経済学研究科
	吳哈申	理学研究科
	王保珍	薬学研究科
	張宇	工学研究科
	王弘	情報科学研究科

授賞年度	氏名	部局
平成19年	王冷然	法学研究科
	劉晨光	理学研究科
	陳鋭	歯学研究科
	岳新艶	工学研究科
	袁媛	農学研究科

授賞年度	氏名	部局
平成18年	覃慧玲	理学研究科
	杜瑋	医学系研究科
	韓峰	薬学研究科
	常春涛	工学研究科
	侯旭濱	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部局
平成17年	薩日娜	文学研究科
	金光宇	経済学研究科
	代紅梅	医学系研究科
	俞志前	歯学研究科
	呂晨	工学研究科

## 学内表彰

### 本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

#### 本多光太郎記念賞

平成20年度該当なし

平成19年度該当なし

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成18年	バトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工学校リヨン校 学長
	ルノー財団		
	アルベール・プレヴォ	フランス	国際教育学研究センター 所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校 学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工学校 国際交流部長
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所 教授

平成17年度該当なし

授賞年度	氏名	国籍	所属等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官

## 東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

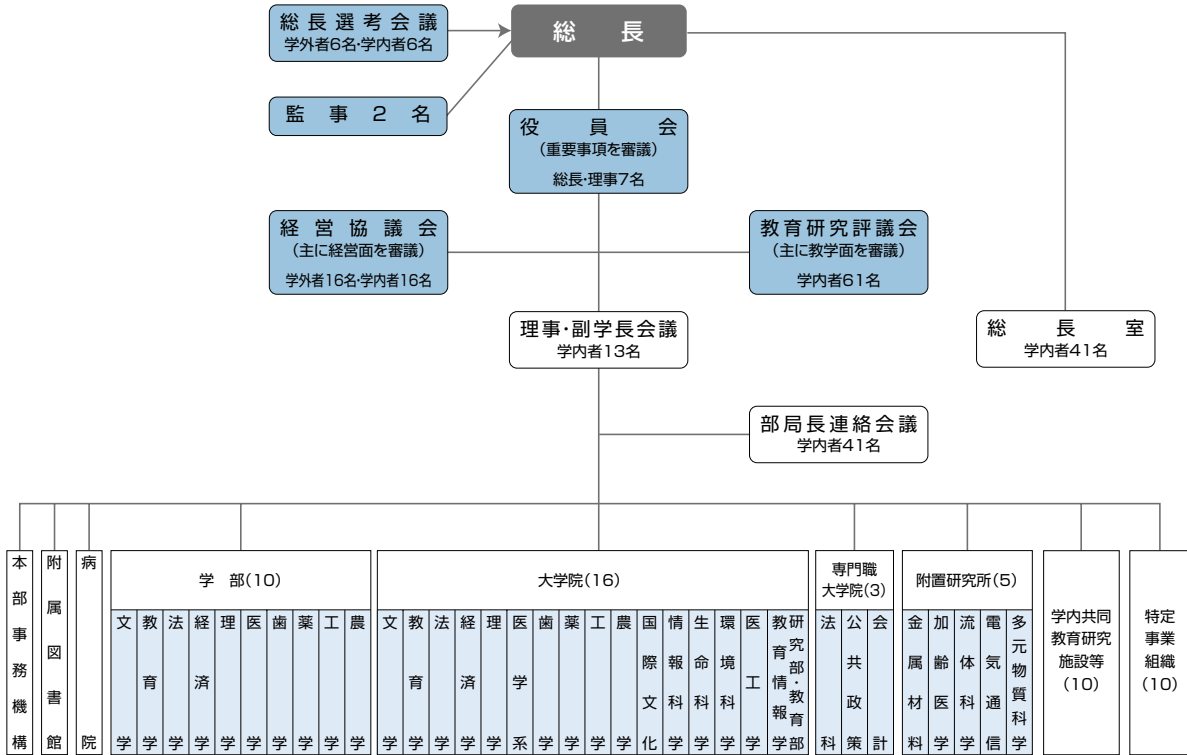
ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition” をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。



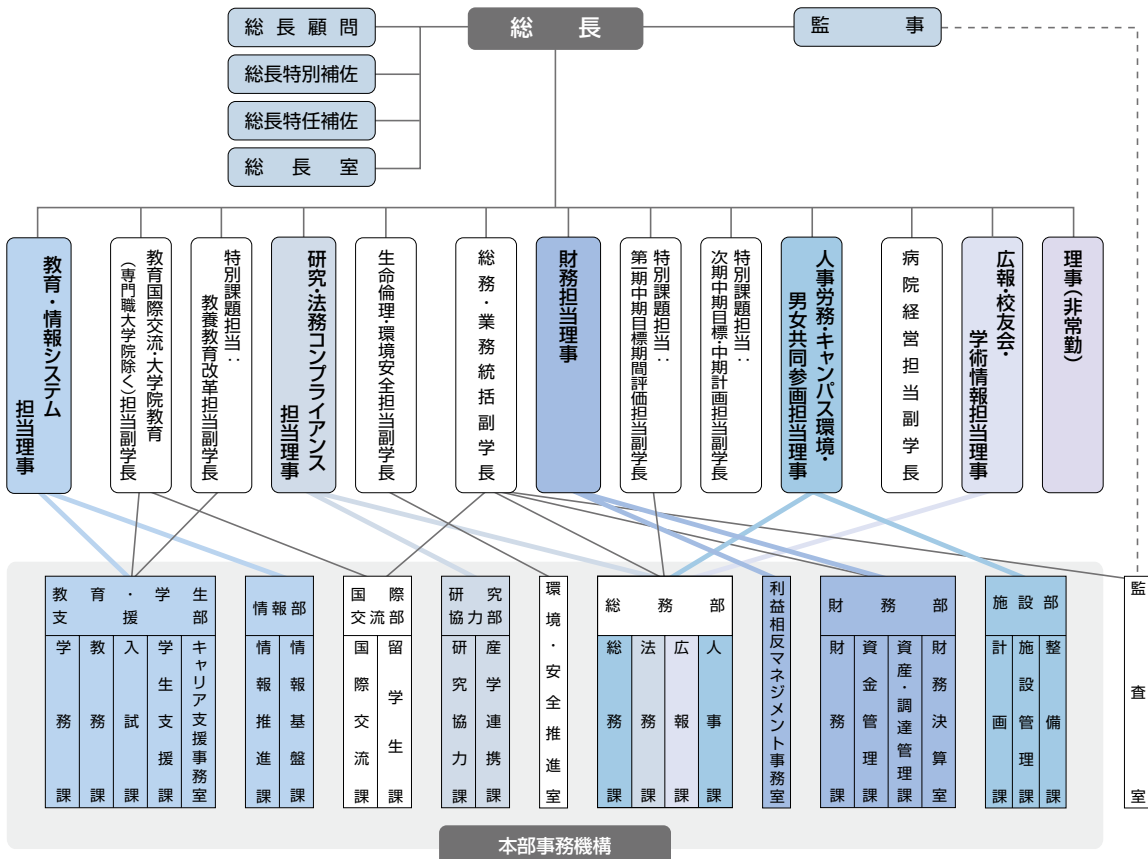


組  
織

運営組織



理事・副学長・本部事務機構

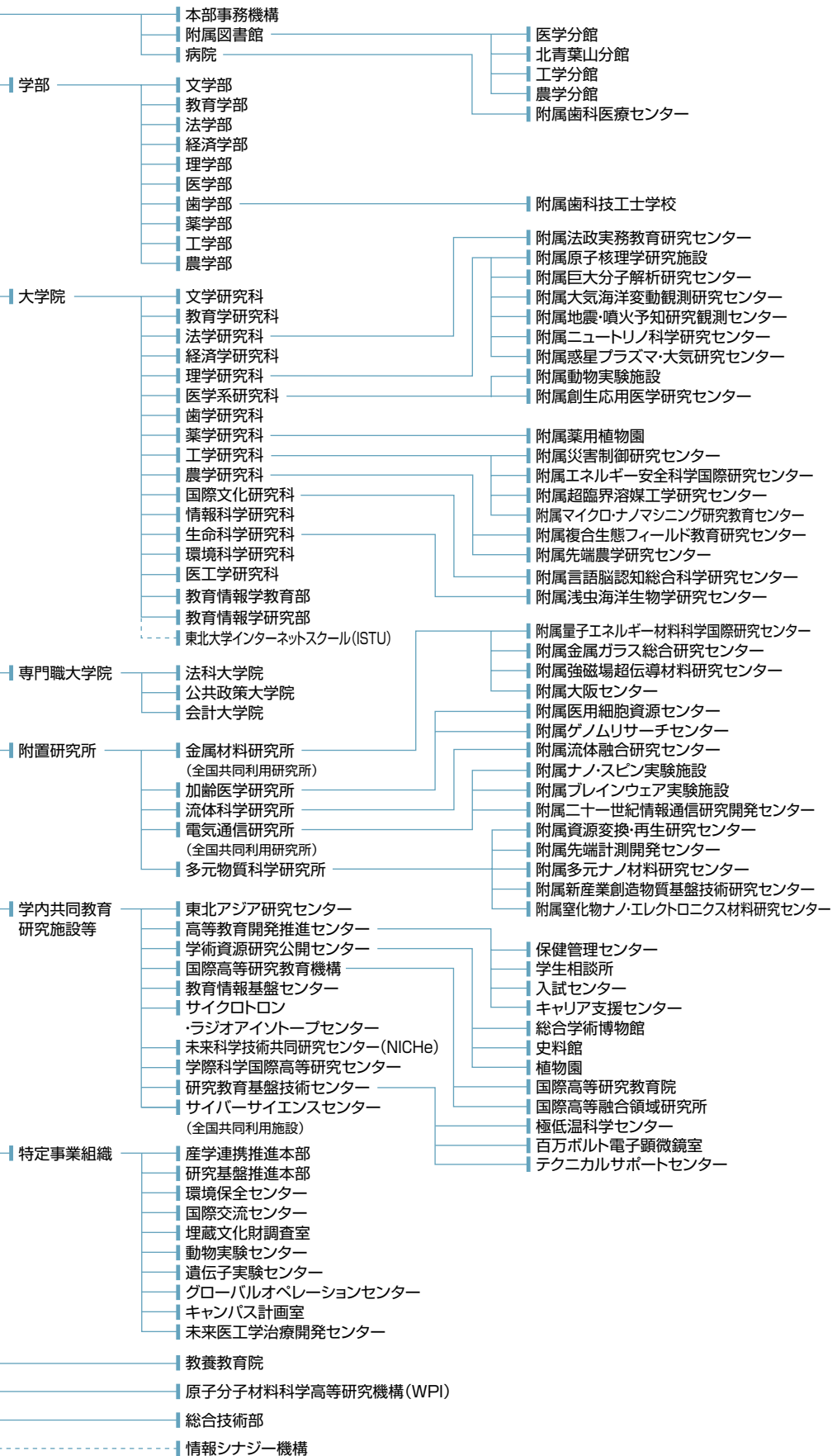




機構図

(平成21年4月1日現在)

国立大学法人東北大学  
東北大学



組織

## 役員・主な役職者

### 組織

総長	井上 明久	総長特任補佐	福永 浩司
理事 (教育・情報システム担当)	根元 義章	総長特任補佐	金井 浩
理事 (研究・法務コンプライアンス担当)	飯島 敏夫	総長特任補佐	原山 優子
理事 (財務担当)	植木 俊哉	総長特任補佐	湯上 浩雄
理事 (人事労務・キャンパス環境・男女共同参画担当)	折原 守	総長特任補佐	佐藤 滋
理事 (広報・校友会・学術情報担当)	野家 啓一	総長特任補佐	青木 孝文
理事 (非常勤)	石 弘光	総長特任補佐	中 静
理事 (非常勤)	日野 正晴	総長特任補佐	土屋 範芳
監事	岡本 宏	総長特任補佐	新家 光雄
監事 (非常勤)	西川 知雄	総長特任補佐	古原 忠
副学長 (総務・業務統括)	北村 幸久	総長特任補佐	高井 俊行
副学長 (病院経営担当)	里見 進	総長特任補佐	小林 秀昭
副学長 (教育国際交流・大学院教育 (専門職大学院を除く) 担当)	橋本 治	総長特任補佐	枝松 圭一
副学長 (生命倫理・環境安全担当)	山本 雅之	総長特任補佐	進藤 大輔
副学長 (特別課題担当: 第一期中期目標期間評価)	岡田 益男	総長特任補佐	岡 洋樹
副学長 (特別課題担当: 教養教育改革)	木島 明博	ディスティングイッシュト プロフェッサー	浅川 照夫
副学長 (特別課題担当: 次期中期目標・中期計画)	兵頭 英治	ディスティングイッシュト プロフェッサー	井上 邦雄
総長特別顧問	吉川 弘之	ディスティングイッシュト プロフェッサー	内田 龍男
総長顧問	天野 平八郎	ディスティングイッシュト プロフェッサー	大隅 典子
総長顧問	小田 滋	ディスティングイッシュト プロフェッサー	大谷 栄治
総長顧問	勝股 康行	ディスティングイッシュト プロフェッサー	大野 英男
総長顧問	マーティ・キーナート	ディスティングイッシュト プロフェッサー	岡 芳知
総長顧問	杉山 一彦	ディスティングイッシュト プロフェッサー	川島 隆太
総長顧問	リチャード・ダッシャー	ディスティングイッシュト プロフェッサー	小谷 元子
総長顧問	マスード・ベニア	ディスティングイッシュト プロフェッサー	小林 隆
総長顧問	増本 健	ディスティングイッシュト プロフェッサー	小柳 光正
総長特別補佐 (入試担当)	安藤 朝夫	ディスティングイッシュト プロフェッサー	佐藤 英明
総長特別補佐 (学生支援担当)	東谷 篤志	ディスティングイッシュト プロフェッサー	佐藤 滋
総長特別補佐 (利益相反マネジメント担当)	西澤 昭夫	ディスティングイッシュト プロフェッサー	佐藤 源之
総長特別補佐 (百年史編纂担当)	今泉 隆雄	ディスティングイッシュト プロフェッサー	佐藤 嘉倫
総長特別補佐 (校友会担当)	圓山 重直	ディスティングイッシュト プロフェッサー	寒川 誠二
総長特別補佐 (男女共同参画担当)	大隅 典子	ディスティングイッシュト プロフェッサー	庄子 哲雄
総長特別補佐 (国際交流担当)	櫻井 利夫	ディスティングイッシュト プロフェッサー	辻村 みよ子
総長特任補佐	岡田 益男	ディスティングイッシュト プロフェッサー	寺崎 哲也
総長特任補佐	木島 明博	ディスティングイッシュト プロフェッサー	照井 伸彦
総長特任補佐	兵頭 英治	ディスティングイッシュト プロフェッサー	中沢 正隆
総長特任補佐	阿部 宏	ディスティングイッシュト プロフェッサー	中 静
総長特任補佐	本郷 一夫	ディスティングイッシュト プロフェッサー	平間 正博
総長特任補佐	水原 克敏	ディスティングイッシュト プロフェッサー	前川 禎通
総長特任補佐	藤本 雅彦	ディスティングイッシュト プロフェッサー	圓山 重直
総長特任補佐	小谷 元子	ディスティングイッシュト プロフェッサー	水野 健作
総長特任補佐	山口 昌弘	ディスティングイッシュト プロフェッサー	水原 克敏
総長特任補佐	五十嵐 和彦	ディスティングイッシュト プロフェッサー	宮下 徳治
総長特任補佐	伊藤 貞嘉	ディスティングイッシュト プロフェッサー	宮本 明
総長特任補佐	小坂 健	ディスティングイッシュト プロフェッサー	吉野 博
<b>■ 本 部</b>			
<b>【総長室】</b>		<b>【財務部】</b>	
総長室長	北村 幸久	財務部長	関根 新市
総長室主任経営企画スタッフ	竹田 健児	財務課長	伊豆 仁志
総長室主任経営企画スタッフ	米澤 彰純	資金管理課長	藤原 昇
総長室主任経営企画スタッフ	佐藤 義幸	資産・調達管理課長	丸山 正彦
総長室主任経営企画スタッフ	伊豆 仁志	<b>【研究協力部】</b>	
総長室主任経営企画スタッフ	大川 俊治	研究協力課長	村岡 利光
総長室主任経営企画スタッフ	佐々木 清浩	産学連携課長	佐藤 俊男
<b>【総務部】</b>		<b>【施設部】</b>	
事務総括	大友 久雄	施設部長	山下 治
総務課長	丸山 克彦	計画課長	川田 裕
法務課長	齋藤 仁彦	施設管理課長	天野 裕
広報課長	志田 昌幸	整備課長	前田 喜一
人事課長	植垣 健一	<b>【情報部】</b>	
<b>【教育・学生支援部】</b>		情報推進課長	熊谷 功
教育・学生支援部長	高橋 秀市	情報基盤課長	及川 良房
学務課長	柳橋 雪男	<b>【国際交流部】</b>	
教務課長	浅沼 良庸	国際交流部長	内山 博之
入試課長	笹田 慶太	国際交流課長	平田 純一
学生支援課長	坂本 秀敬	留学生課長	中尾 ゆかり

(平成21年7月1日現在)

■ 本 部		【環境・安全推進室】	
【監査室】		環境・安全推進室長	菅原正記
監査室長	朝倉知明		
■ 大学院研究科・学部等及び附属施設			
【文学研究科・文学部】		薬学研究科副研究科長・薬学部副学部長	寺崎哲也
文学研究科長・文学部長	花登正宏	薬用植物園長	大島吉輝
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	大淵憲一	事務長	菅原健士
文学研究科副研究科長・文学部副学部長	才田いずみ	【工学研究科・工学部】	
事務長	佐藤克義	工学研究科長・工学部長	内山勝
【教育学研究科・教育学部】		工学研究科副研究科長	原信義
教育学研究科長・教育学部長	宮腰英一	工学研究科副研究科長	米本年邦
教育学研究科副研究科長・教育学部副学部長	本郷一夫	工学研究科副研究科長	金井浩
事務長	二階堂功	災害制御研究センター長	源栄正人
【法学研究科・法学部】		エネルギー安全科学国際研究センター長	三浦英生
法学研究科長・法学部長	芹澤英明	超臨界溶媒工学研究センター長	猪股宏
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	澁谷雅弘	マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	桑野博喜
法学研究科副研究科長・法学部副学部長	平田武	事務部長	大庭利正
法科大学院長	坂田宏	総務課長	小野寺泰央
公共政策大学院長	牧原出	教務課長	及川義孝
法政実務教育研究センター長	辻村みよ子	経理課長	田屋修一
事務長	島山一典	【農学研究科・農学部】	
【経済学研究科・経済学部】		農学研究科長・農学部長	工藤昭彦
経済学研究科長・経済学部長	佃良彦	農学研究科副研究科長	山谷知行
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	鈴木俊夫	農学研究科副研究科長	國分牧衛
経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長	長谷部弘	複合生態フィールド教育研究センター長	中井裕
会計大学院長	青木雅明	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	齋藤雅典
事務長	鈴木孝	複合生態フィールド教育研究センター副センター長	齋藤元也
【理学研究科・理学部】		先端農学研究センター長	山谷知行
理学研究科長・理学部長	花輪公雄	事務長	長谷川好則
理学研究科副研究科長	高木泉	【国際文化研究科】	
理学研究科副研究科長	福村裕史	国際文化研究科長	小林文生
理学研究科副研究科長	今泉俊文	国際文化研究科副研究科長	布田勉
原子核理学研究施設長	笠木治郎太	言語脳認知総合科学研究センター長	宮本正夫
巨大分子解析研究センター長	平間正博	事務長	阿部竹廣
大気海洋変動観測研究センター長	中澤高 清	【情報科学研究科】	
地震・噴火予知研究観測センター長	海野徳仁	情報科学研究科長	西関隆夫
ニュートリノ科学研究センター長	井上邦雄	情報科学研究科副研究科長	出口光一郎
惑星プラズマ・大気研究センター長	岡野章一	情報科学研究科副研究科長	亀山充隆
事務長	影山洋正	事務長	石田秀明
【医学系研究科・医学部】		【生命科学研究科】	
医学系研究科長・医学部長	山本雅之	生命科学研究科長	水野健作
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	伊藤貞嘉	生命科学研究科副研究科長	山元大輔
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	五十嵐和彦	浅海海洋生物学研究センター長	占部城太郎
医学系研究科副研究科長・医学部副学部長	進藤千代彦	事務長	門脇豊
動物実験施設長	笠井憲雪	【環境科学研究科】	
創生応用医学研究センター長	北本哲之	環境科学研究科長	谷口尚司
事務長	吉田隆幸	環境科学研究科副研究科長	末永智一
【歯学研究科・歯学部】		【医工学研究科】	
歯学研究科長・歯学部長	笹野高嗣	医工学研究科長	佐藤正明
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	高橋信博	医工学研究科副研究科長	出江紳一
歯学研究科副研究科長・歯学部副学部長	小坂健	【教育情報学教育部】	
歯科技工士学校長	菊池雅彦	教育情報学教育部長	渡部信一
事務長	小林忠雄	【教育情報学研究部】	
【薬学研究科・薬学部】		教育情報学研究部長	渡部信一
薬学研究科長・薬学部長	永沼章		
■ 附置研究所及び附属施設			
【金属材料研究所】		経理課長	邊見裕
金属材料研究所長	中嶋一雄	【加齢医学研究所】	
金属材料研究所副研究所長	岩佐義宏	加齢医学研究所長	福田寛
金属材料研究所副研究所長	後藤孝	加齢医学研究所副研究所長	佐竹正延
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	四電樹男	医用細胞資源センター長	佐藤靖史
金属ガラス総合研究センター長	後藤孝	ゲノムリサーチセンター長	高井俊行
強磁場超伝導材料研究センター長	渡邊和雄	事務長	高橋豊志
大阪センター長	今野豊彦	【流体科学研究所】	
事務部長	小野信夫	流体科学研究所長	早瀬敏幸
総務課長	齋藤茂	流体科学研究所副研究所長	高木敏行

# 役員・主な役職者

(平成21年7月1日現在)

組織

<b>■ 附置研究所及び附属施設</b>			
流体融合研究センター長	大林 茂	<b>【多元物質科学研究所】</b>	
事務長	山越 隆男	多元物質科学研究所長	齋藤 文良
<b>【電気通信研究所】</b>		多元物質科学研究所副研究所長	宮下 徳治
電気通信研究所長	矢野 雅文	多元物質科学研究所副研究所長	河村 純一
電気通信研究所副研究所長	庭野 道夫	資源変換・再生研究センター長	葛西 栄輝
電気通信研究所副研究所長	鈴木 陽一	先端計測開発センター長	寺内 正己
ナノ・スピン実験施設長	大野 英男	多元ナノ材料研究センター長	齋藤 正男
ブレインウェア実験施設長	中島 康治	新産業創造物質基盤技術研究センター長	宮下 徳治
21世紀情報通信研究開発センター長	坪内 和夫	窒化物ナノ・エレクトロニクス材料研究センター長	山根 久典
事務部長	佐藤 一永	事務部長	加藤 莊一
総務課長	石井 俊明	総務課長	草刈 芳実
経理課長	佐藤 巖	経理課長	佐藤 広
<b>■ 附属図書館及び分館</b>			
図書館長	野家 啓一	医学分館長	柳澤 輝行
図書館副館長	倉本 義夫	事務長	高橋 信野
事務部長	片山 俊治	北青葉山分館長	佐藤 春夫
総務課長	加藤 信哉	工学分館長	吉野 博
情報管理課長	横山 敏秋	農学分館長	山下 まり
情報サービス課長	小陳 左和子		
<b>■ 病院</b>			
病院長	里見 進	事務部長	多田 晴観
総括副病院長	佐々木 啓一	次長	高橋 正幸
副病院長	下瀬川 徹	総務課長（併任）	高橋 正幸
副病院長	糸山 泰人	経営管理課長	齋藤 嘉信
副病院長	荒井 陽一	経理課長	小林 正行
副病院長	島内 英俊	医事課長	八木巻 一男
副病院長	菊池 雅彦	医療サービス課長	松本 仁一
歯科医療センター長	佐々木 啓一		
<b>■ 学内共同教育研究施設等</b>			
東北アジア研究センター長	佐藤 源之	国際高等研究教育機構長	井小萩 利明
東北アジア研究センター副センター長	岡 洋樹	国際高等研究教育院長	井原 聰
東北アジア研究センター副センター長	奥村 誠	国際高等融合領域研究所長	井小萩 利明
高等教育開発推進センター長	木島 明博	教育情報基盤センター長	静谷 啓樹
高等教育開発推進センター副センター長	関内 隆	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	石井 慶造
保健管理センター所長	飛田 渉	未来科学技術共同研究センター長	宮本 明
保健管理センター副所長	山崎 尚人	未来科学技術共同研究センター副センター長	小澤 純夫
学生相談所長	木島 明博	未来科学技術共同研究センター副センター長	竹田 健児
学生相談所副所長	吉武 清實	未来科学技術共同研究センター副センター長	長谷川 史彦
入試センター長	安藤 朝夫	学際科学国際高等研究センター長	中嶋 一雄
キャリア支援センター長	木島 明博	研究教育基盤技術センター長	飯島 敏夫
学術資源研究公開センター長	鈴木 三男	極低温科学センター長	青木 晴善
総合学術博物館長	永廣 昌之	百万ボルト電子顕微鏡室長	今野 豊彦
史料館長	大藤 修	サイバーサイエンスセンター長	小林 広明
史料館副館長	倉本 義夫	サイバーサイエンスセンター副センター長	曾根 秀昭
植物園長	鈴木 三男		
<b>■ 特定事業組織</b>			
産学連携推進本部長	飯島 敏夫	動物実験センター長	笠井 憲雪
産学連携推進本部副本部長	和田 直人	遺伝子実験センター長	田村 眞章
研究基盤推進本部長	飯島 敏夫	高度イノベーション博士人財育成センター長	根元 義章
環境保全センター長	米本 年邦	未来医工学治療開発センター長	里見 進
国際交流センター長	橋本 治	未来医工学治療開発センター副センター長	西田 幸二
国際交流センター副センター長	重野 芳人	グローバルオペレーションセンター長	橋本 治
埋蔵文化財調査研究室長	阿子島 香	キャンパス計画室長	杉山 丞
<b>■ 教養教育院</b>			
教養教育院長	根元 義章		
<b>■ 原子分子材料科学高等研究機構</b>			
原子分子材料科学高等研究機構長	山本 嘉則	副事務部門長（次長職相当）	芳賀 英子
事務部門長	櫻井 利夫		
<b>■ 情報シナジー機構</b>			
情報シナジー機構長	鈴木 陽一	情報シナジー機構副機構長	曾根 秀昭
情報シナジー機構副機構長	小林 広明		
<b>■ 総合技術部</b>			
総合技術部長	橋本 治	総合技術部副部長	伊藤 敏行

# 総長選考会議・役員会・経営協議会・教育研究評議会

(平成21年5月1日現在)

## 総長選考会議

学外委員	
天 野 平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
岸 輝 雄	独立行政法人物質・材料研究機構理事長
黒 田 玲 子	東京大学大学院総合文化研究科教授
中 村 久 三	株式会社アルバック代表取締役会長
東 哲 郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長
八 島 俊 章	社団法人東北経済連合会名誉会長

学内委員	
橋 本 治	副学長
山 本 雅 之	副学長 (医学系研究科長)
宮 腰 英 一	教育学研究科長
笹 野 高 嗣	歯学研究科長
工 藤 昭 彦	農学研究科長
中 嶋 一 雄	金属材料研究所長

## 役員会

井 上 明 久	総 長
根 元 義 章	理 事
飯 島 敏 夫	理 事
植 木 俊 哉	理 事

折 原 守	理 事
野 家 啓 一	理 事
石 弘 光	理 事
日 野 正 晴	理 事

## 経営協議会

学外委員	
天 野 平八郎	社団法人宮城県自動車会議所会長
安 西 祐一郎	慶應義塾長
梅 原 克 彦	仙台市長
小 野 元 之	独立行政法人日本学術振興会理事長
小野寺 正	KDDI 株式会社代表取締役社長兼会長
岸 輝 雄	独立行政法人物質・材料研究機構理事長
黒 田 玲 子	東京大学大学院総合文化研究科教授
作 田 久 男	オムロン株式会社代表取締役社長
杉 田 亮 毅	株式会社日本経済新聞社代表取締役会長
清 野 智	東日本旅客鉄道株式会社代表取締役社長
リチャード・ダッシャー	スタンフォード大学工学部 アジア・米国技術経営研究センター所長
遠 山 敦 子	財団法人新国立劇場運営財団理事長 元文部科学大臣
中 村 久 三	株式会社アルバック代表取締役会長
東 哲 郎	東京エレクトロン株式会社代表取締役会長
村 井 嘉 浩	宮城県知事
八 島 俊 章	社団法人東北経済連合会名誉会長

学内委員	
井 上 明 久	総 長
根 元 義 章	理 事
飯 島 敏 夫	理 事
植 木 俊 哉	理 事
折 原 守	理 事
野 家 啓 一	理 事
石 弘 光	理 事
日 野 正 晴	理 事
北 村 幸 久	副学長 (総長室長)
里 見 進	副学長 (病院長)
橋 本 治	副学長
山 本 雅 之	副学長 (医学系研究科長)
岡 田 益 男	副学長 (総長特任補佐)
木 島 明 博	副学長 (総長室副室長)
兵 頭 英 治	副学長 (総長室副室長)
井小萩 利 明	国際高等研究教育機構構長

## 教育研究評議会

井 上 明 久	総 長	永 沼 章	薬学研究科長	山 本 照 子	歯学研究科教授
根 元 義 章	理 事	内 山 勝	工学研究科長	大 島 吉 輝	薬学研究科教授
飯 島 敏 夫	理 事	工 藤 昭 彦	農学研究科長	大 村 達 夫	工学研究科教授
植 木 俊 哉	理 事	小 林 文 生	国際文化研究科長	山 谷 知 行	農学研究科教授
折 原 守	理 事	西 関 隆 夫	情報科学研究科長	布 田 勉	国際文化研究科教授
野 家 啓 一	理 事	水 野 健 作	生命科学研究科長	出 口 光 一 郎	情報科学研究科教授
石 弘 光	理 事	谷 口 尚 司	環境科学研究科長	山 元 大 輔	生命科学研究科教授
日 野 正 晴	理 事	佐 藤 正 明	医工学研究科長	田 路 和 幸	環境科学研究科教授
北 村 幸 久	副学長 (総長室長)	中 嶋 一 雄	金属材料研究所長	松 木 英 敏	医工学研究科教授
里 見 進	副学長 (病院長)	福 田 寛	加齢医学研究所長	後 藤 孝 孝	金属材料研究所教授
橋 本 治	副学長	早 瀬 敏 幸	流体科学研究科長	佐 藤 靖 史	加齢医学研究所教授
山 本 雅 之	副学長 (医学系研究科長)	矢 野 雅 文	電気通信研究所長	圓 山 重 直	流体科学研究科教授
岡 田 益 男	副学長 (総長特任補佐)	齋 藤 文 良	多元物質科学研究科長	大 野 英 男	電気通信研究所教授
木 島 明 博	副学長 (総長室副室長)	渡 部 信 一	教育情報学研究部長	宮 下 徳 治	多元物質科学研究科教授
兵 頭 英 治	副学長 (総長室副室長)	佐 藤 源 之	東北アジア研究センター長	佐々木 啓 一	病院総括副院長
花 登 正 宏	文学研究科長	大 淵 憲 一	文学研究科教授	関 内 隆	教育基盤施設群教授
宮 腰 英 一	教育学研究科長	水 原 克 敏	教育学研究科教授	石 井 慶 造	学術基盤施設群教授
芹 澤 英 明	法学研究科長	水 野 紀 子	法学研究科教授	井小萩 利 明	国際高等研究教育機構構長
佃 良 彦	経済学研究科長	鈴 木 俊 夫	経済学研究科教授	山 本 嘉 則	原子分子材料科学高等研究機構構長
花 輪 公 雄	理学研究科長	福 村 裕 史	理学研究科教授		
笹 野 高 嗣	歯学研究科長	伊 藤 貞 嘉	医学系研究科教授		

# 役員・職員数

(平成21年5月1日現在)

部 局	職 種	総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			5 (2)									7
監事				1 (1)								2
本部事務機構	総長室									0	8	8
	総務部							1		1	81	82
	教育・学生支援部									0	69	69
	財務部									0	85	85
	研究協力部									0	20	20
	施設部									0	46	46
	情報部									0	37	37
	国際交流部									0	17	17
	環境・安全推進室									0	5	5
	利益相反マネジメント事務室								1	1	1	2
	監査室									0	8	8
	文学部・文学研究科				40	32	2	19	3	96	18	114
	教育学部・教育学研究科				18	13		2		33	11	44
	法学部・法学研究科				27	24		8	7	66	16	82
	経済学部・経済学研究科				38	20	1		4	63	15	78
	理学部・理学研究科				78	78	7	118	3	284	106	390
	医学部・医学系研究科				89	77	22	105	21	314	60	374
	歯学部・歯学研究科				23	7	10	61		101	25	126
	薬学部・薬学研究科				20	19	2	24	10	75	19	94
	工学部・工学研究科				115	106	2	129	11	363	207	570
	農学部・農学研究科				39	42		31	6	118	63	181
	国際文化研究科				29	25				54	11	65
	情報科学研究科				34	30	4	22		90	13	103
	生命科学研究科				23	20	2	32		77	20	97
	環境科学研究科				25	14	2	22		63	5	68
	医工学研究科				18	9		3	1	31	5	36
	教育情報学研究所				4	1		3		8		8
	金属材料研究所				26	30	2	61	2	121	98	219
	加齢医学研究所				17	16	2	22		57	23	80
	流体科学研究所				14	10	4	10		38	31	69
	電気通信研究所				29	18		25		72	33	105
	多元物質科学研究所				45	30	5	61		141	82	223
図書館	図書館									0	32	32
	医学分館									0	9	9
	北青葉山分館									0	4	4
	工学分館									0	10	10
	農学分館									0	4	4
病 院				5	17	64	210	3	299	1,537	1,836	
	東北アジア研究センター			10	6		6	1	23		23	
	高等教育開発推進センター			13	13	13	14	4	57	9	66	
	学術資源研究公開センター			3	3		7		13	6	19	
	国際高等研究教育機構			2	2		25		29	2	31	
	教育情報基盤センター			1	3		2	1	7	5	12	
	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター			3	3		3	3	12	3	15	
	未来科学技術共同研究センター			9			1		10	5	15	
	学際科学国際高等研究センター			3	4				7	1	8	
	サイバーサイエンスセンター			4	4		1		9		9	
	産学連携推進本部							1	1	5	6	
	環境保全センター			1				3	2	6	1	7
	国際交流センター			3			2		5		5	
	埋蔵文化財調査室								0	3	3	
	グローバルオペレーションセンター								0	4	4	
	キャンパス計画室								0	3	3	
	未来医工学治療開発センター			3	3		3	4	13	1	14	
	教養教育院			5					5		5	
	原子分子材料科学高等研究機構			17	6	2	32	26	83	18	101	
	合 計	1	7	2	833	685	148	1,067	113	2,846	2,900	5,756

※再雇用職員含む。

※ ( ) は非常勤で外数。

## 学部

文学部 1学科5学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	人 文 社 会 学 科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
教育学部 1学科2学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	教 育 科 学 科	2	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	法 学 科	1	法学・政治学
経済学部 2学科6学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	経 済 学 科 経 営 学 科	3 3	基礎理論、応用経済、経済史 経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	数 学 科	1	数学
	物 理 学 科	1	物理学
	宇 宙 地 球 物 理 学 科	1	宇宙地球物理学
	化 学 科	1	化学
	地 圏 環 境 科 学 科	1	地圏環境科学
	地 球 惑 星 物 質 科 学 科 生 物 学 科	1 1	地球惑星物質科学 生物学
医学部 2学科15学科目 7講座	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	医 学 科 保 健 学 科	15 7 (講座)	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、 内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、 感覚器病学、麻酔・救急医学、社会医学 基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、 放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	歯 学 科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、 口腔保健発育学、口腔病態基礎外科学
薬学部 2学科2学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	薬 学 科 創 薬 科 学 科	1 1	薬学 創薬科学
工学部 5学科47学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	機 械 知 能 ・ 航 空 工 学 科	15	知的デザイン学、エネルギーシステム工学、材料メカニクス、ナノテクノロジー、 シミュレーション科学、スペーステクノロジー、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、 粒子ビーム工学、バイオメカニクス、ロボティクス、太陽地球システム・エネルギー学、 自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学
	情 報 知 能 シ ス テ ム 総 合 学 科	11	電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動通信工学、 電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、 システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科	8	環境資源化学、分子システム化学、有機材料合成化学、量子無機材料化学、 プロセス要素工学、プロセスシステム工学、生体分子化学、生体機能化学
	材 料 科 学 総 合 学 科	7	創形創質プロセス学、宇宙材料学、材料環境学、ナノ材料物性学、 情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建 築 ・ 社 会 環 境 工 学 科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、 建築計画学、建築構成学
農学部 2学科13学科目	学 科	学 科 目 数	学 科 目
	生 物 生 産 科 学 科 応 用 生 物 化 学 科	8 5	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、 動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学 分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

専攻	講座数	講座
<b>文学研究科</b>		
文化科学	5	日本文化学、中国文化学、インド文化学、西洋文化学、哲学
言語科学	3	言語学、日本語学、日本語教育学
歴史科学	6	日本史学、東洋史学、ヨーロッパ史学、美術史学、○比較文化史学、※文化財科学
人間科学	5	社会学、行動科学、心理学、人間文化科学、○科学技術論
<b>教育学研究科</b>		
総合教育科学	5	人間形成論、教育政策科学、成人継続教育論、教授学習科学、人間発達臨床科学
教育設計評価	1	教育設計評価
<b>法学研究科</b>		
綜合法制(法科大学院)	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
公共法政策(公共政策大学院)	2	行政法政策、ガバナンス研究
法政理論研究(研究大学院)	3	トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析
<b>経済学研究科</b>		
経済経営学	9	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム、◎地域経済金融論(七十七銀行)
会計専門職(会計大学院)	4	会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理
<b>理学研究科</b>		
数学	5	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
物理学	16	量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、 相関物理学、領域横断物理学、○原子核物理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、 ○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
天文学	2	天文学、理論天体物理学
地球物理学	7	固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、 ○惑星圏物理学、※固体地球物理学
化学	11	無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、 ○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学、◎分子変換学
地学	7	地圏進化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、 ※地圏物質循環学、※地球内部反応
<b>医学系研究科</b>		
医科学	29	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、 社会医学、○医用動物学、○分化・発達医学、○臓器病態学、○腫瘍制御学、○加齢脳・神経学、 ○遺伝子制御学、○サイクロトロン核医学、※分子・神経イメージング、※がん医学、 ◎先端再生生命科学(江東微生物研究所)、◎先進漢方治療医学(ツムラ)、◎血液病理学、 ◎腎不全対策研究(アステラス製薬)、◎循環器先端医療開発学、◎多発性硬化症治療学、 ◎循環器EBM開発学、◎ナノ医科学、◎臨床微生物解析治療学、◎中心血圧研究、 ◎視覚先端医療学、◎創薬科学(特田製薬)
障害保健科学	3	機能医科学、◎高齢者高次脳医学、◎先進感染症予防学
	7	臨床実践看護学、家族支援看護学、健康開発看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、 基礎検査医科学、臨床検査医科学
<b>歯学研究科</b>		
歯科学	11	口腔生物学、口腔機能形態学、口腔修復学、口腔保健発育学、口腔病態外科学、顎口腔創建学、 ○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学、◎歯科医薬品創生学、 ◎口腔ケア推進開発
<b>薬学研究科</b>		
創薬化学	2	分子制御化学、分子解析化学
医療薬科学	6	機能解析薬学、医療薬学、○病態分子薬学、○天然資源薬学、◎医薬開発構想、 ◎地域薬局学(オオノひかり薬局)
生命薬学	3	生体情報薬学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
<b>工学研究科</b>		
機械システムデザイン工学	7	知能システム工学、先進機械システムデザイン工学、知的デザイン学、 エネルギーシステム工学、○破壊機構学、○知能流体システム学、 ○多元物質応用システム工学
ナノメカニクス	7	ナノシステム工学、先進ナノメカニクス、材料メカニクス、ナノテクノロジー、 ○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学
航空宇宙工学	6	航空宇宙システム工学、先進航空宇宙工学、シミュレーション科学、スペーステクノロジー、 ○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
量子エネルギー工学	9	先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理学、 粒子ビーム工学、○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、 ○加速器放射線工学、※分子イメージング工学
電気・通信工学	9	知的通信ネットワーク工学、電磁工学、電力システム工学、通信システム工学、波動工学、 ○電磁材料工学、○伝送工学、◎先端電力工学(東北電力)、 ◎先端応用量子光学(光電製作所ハーモニックドライブ・システムズ)
電子工学	7	超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、 ○電子デバイス工学、○電子材料工学、○極限表面制御工学
応用物理学	5	応用界面物理学、応用物性物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、 ○電子・分光計測学
応用化学	5	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学、 ◎コンビナトリアル計算化学(薬化システム、ペガサスソフトウェア)



工学研究科	専攻	講座数	講座
	化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
	バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
	金属フロンティア工学	5	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、○プロセス制御学
	知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
	材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
	土木工学	6	数値システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、◎環境機能利用工学(三菱マテリアル)
	都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
農学研究科	専攻	講座数	講座
	資源生物科学	7	植物生産科学、動物生産科学、水圏生物生産科学、資源環境経済学、○沿岸生物生産システム学、○栽培植物環境科学、※資源環境政策学
	応用生命科学 生物産業創成科学	6 5	環境生命科学、植物機能科学、動物機能科学、分子細胞科学、○応用遺伝子工学、◎家畜福祉学(イシイ) 微生物機能開発科学、食品機能健康科学、天然物生物機能科学、生物産業情報科学、※蛋白質機能開発
国際文化研究科	専攻	講座数	講座
	国際地域文化論	5	アジア文化論、ヨーロッパ文化論、アメリカ研究、イスラム圏研究、比較文化論
	国際文化交流論	7	言語コミュニケーション論、国際経済交流論、科学技術交流論、国際環境システム論、○言語文化交流論、○異文化間教育論、○国際資源政策論
情報科学研究科	専攻	講座数	講座
	情報基礎科学	9	情報基礎数学学、情報応用数学学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、○コミュニケーション論、○超高速情報処理論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論
	システム情報科学	9	システム情報数学学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論
	人間社会情報科学 応用情報科学	5 9	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学 応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、※複雑系統計科学、◎先端情報共有技術論(KDDI)
生命科学研究所	専攻	講座数	講座
	分子生命科学	3	生命有機情報科学、遺伝子システム学、○生体機能分子科学
	生命機能科学 生態システム生命科学	4 5	細胞機能構築制御学、脳機能解析構築学、○海洋生物学、○分化制御学 環境遺伝生態学、進化生態科学、○植物構造機能進化学、○地域生態学、※ケム生態学
環境科学研究科	専攻	講座数	講座
環境科学	17	都市環境・環境地理学、国際環境・地域環境学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、※環境適合材料創製学、※地球環境変動学、※環境リスク評価学、※バイオエコマネジメント学、◎環境物質制御学(DOWAホールディングス)、◎エネルギー・セキュリティ学(JAPEX)	
医工学研究科	専攻	講座数	講座
医工学	10	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学	
教育部 教育情報学 教育部	専攻	講座数	講座
教育情報学	3	IT教育デザイン論、IT教育ネットワーク論、○IT教育システム論	
研究部 教育情報学 研究部	部門数	研究部門	
	5	IT教育システム原論、IT教育認知科学、IT教育アーキテクチャー、IT教育応用実践論、△比較IT教育論	
専門職大学院	専攻	講座数	講座
	法科大学院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
	公共政策大学院 会計専門職(会計大学院)	2 4	行政法政策、ガバナンス研究 会計、経済と経営、ITと統計、法と倫理

注) ○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、△は客員研究部門を表す。

## ■ 附置研究所

研究所	部門数	研究目的及びその研究部門
金属材料研究所 (全国共同利用研究所)	30	材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属物性論、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、※材質制御学、結晶欠陥物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、原子力材料物性学、原子力材料工学、電子材料物性学、※材料設計学、ランダム構造物質学、生体材料学、超構造薄膜化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、放射線金属化学、先端分析、分析科学、※材料プロセス評価学、◎ナノ金属高温材料学
加齢医学研究所	8	加齢医学に関する学理及びその応用の研究 遺伝子制御、分化・発達医学、臓器病態、腫瘍制御、加齢脳・神経、◎抗感染症薬開発、◎認知機能発達(公文教育研究会)、◎加齢ゲノム制御プロテオーム(DNA修復)
流体科学研究所	5	流動現象に関する学理及びその応用の研究 極限流、知能流システム、ミクロ熱流動、複雑系流動、◎衝撃波学際応用
電気通信研究所 (全国共同利用研究所)	4	高密度及び高次の情報通信に関する学理並びにその応用の研究 情報デバイス、ブロードバンド工学、人間情報システム、システム・ソフトウェア
多元物質科学研究所	6	多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 多元設計、多元制御、多元解析、融合システム、◎窒化物結晶(三菱化学・日本製鋼所)、◎有機ナノ結晶科学技術(富士写真フイルム)

※は客員研究部門を、◎は寄附研究部門を表す。

## ■ 学内共同教育研究施設等

施設名	設置目的
東北アジア研究センター	東北アジア(東アジア及び北アジア並びに日本をいう。)地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
高等教育開発推進センター	高等教育等に関する研究開発、企画及び支援を行うとともに、併せて教育内容及び教育方法の高度化を推進する。
学術資源研究公開センター	標本、大学の歴史に関する資料その他の大学が所蔵する学術資料の収集及び保管、植物園の敷地内に生育する生物資源の保全並びに学術資料及び生物資源に関する研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
国際高等研究教育機構	異分野の融合領域における新たな研究分野の創出並びにその学理及び応用の研究並びに国際的に通用する若手研究者の養成の推進を図り、もって本学の研究教育の高度化に資する。
教育情報基盤センター	本学における教育の情報化及び情報教育に関する研究開発及び支援を行うとともに、教育上の情報システムに関する管理運用を一元的に行い、もって本学における教育の高度化及び学生サービスの充実に資する。
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを旨とし、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
学際科学国際高等研究センター	部局間の連携により、未踏学際領域を開拓し、国際化を進めて最先端学際分野の創生を目指した研究を行う。
研究教育基盤技術センター	研究教育の推進に資する大型研究設備を設置し、及び管理運営することにより、本学の教員その他これに準ずる者等の共同利用に供し、並びに低温寒剤の安定供給及び低温技術の指導を行うとともに、本学における研究教育の高度化及び融合化並びに社会貢献の推進を図るため、本学の指定する研究設備及び機器を部局との連携により広く学内外への利用に供する。
サイバーサイエンスセンター (全国共同利用施設)	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究、基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う。

## ■ 特定事業組織

施設名	設置目的
産学連携推進本部	広範な領域の学術研究の推進を図り、知の創造に資するとともに、学術研究の成果を本学の知的財産として組織的に管理し、及び活用し、並びに新たな事業の創出を支援することにより、産学官連携の推進及び社会の発展に寄与する。
研究基盤推進本部	戦略的に競争的資金等を獲得するための方策等に関し、企画し、並びに情報を収集し、及び発信することにより、本学の研究推進に資する。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤(放射性物質を含む廃棄物を除く。)を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において2次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
国際交流センター	本学の学生及び研究者の受入れ、派遣、国際展開活動等の支援を行うとともに、外国人留学生及び外国人研究者に対する修学支援及び生活上の支援を行い、もって国際交流の推進を図る。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
動物実験センター	環境・安全委員会動物実験専門委員会が行う動物実験計画の審査、動物実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに動物実験実施者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における動物実験の適法性を確保し、及び動物実験に係る安全管理を推進する。
遺伝子実験センター	環境・安全委員会遺伝子組換え実験安全専門委員会が行う遺伝子組換え実験計画の審査、遺伝子組換え実験に係る法令遵守及び安全管理に関する事項並びに遺伝子組換え実験従事者等に対する教育訓練等の実施に関し支援することにより、本学における遺伝子組換え実験の適法性を確保し、及び遺伝子組換え実験に係る安全管理を推進する。
グローバルオペレーションセンター	戦略的かつ機動的に国際交流に取り組むことによって、本学が国際競争力のある世界最高水準の研究・教育拠点として発展し、また世界のアカデミック・コミュニティにふさわしい組織を完備する。
キャンパス計画室	本学におけるキャンパスの整備及び将来計画に関する調査・研究、資料作成及び原案の立案に当たるとともに、キャンパス関係委員会を専門的な観点から支援する。
未来医工学治療開発センター	医工学連携を基盤としたトランスレーショナルリサーチの支援拠点として、医療機器及び医療材料並びに細胞治療、創薬等に関する基礎研究の成果を臨床応用まで一貫して支援するとともに、トランスレーショナルリサーチを担う人材を育成する。

## 教養教育院

### 設置目的

本学の学生に対し幅広い教養を身に付けさせるため、高等教育開発推進センターと連携して教養教育の実施及び支援を行い、もって創造力豊かで高い問題解決能力を有する指導的人材の養成に資する。

## 原子分子材料科学高等研究機構

### 設置目的

革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。

## 総合技術部

### 設置目的

技術職員（専ら教育研究の支援に従事する者に限る。）の能力等の向上を図り、及び適正な配置を実現することにより、本学の教育研究に関する技術的支援を行い、もって本学における教育研究支援体制の一層の充実に資する。

## 情報シナジー機構

### 設置目的

本学全体の情報基盤整備に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図る。

## 附属図書館

### 所蔵冊数

(2009年3月31日現在)

区分	種別	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
蔵書冊数	和漢書	1,428,751	166,975	75,169	160,614	72,539	1,904,048
	洋書	1,124,718	254,750	295,917	175,501	60,702	1,911,588
	計	2,553,469	421,725	371,086	336,115	133,241	3,815,636
蔵書冊数	和雑誌	24,123	4,658	1,951	3,529	3,867	38,128
	洋雑誌	16,581	8,952	6,485	4,057	1,933	38,008
	計	40,704	13,610	8,436	7,586	5,800	76,136

### 利用状況

(2008年度)

区分	本館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	527,566	162,066	85,932	111,472	45,003	932,039
学外閲覧者	14,700	1,487	881	245	90	17,403
貸出図書	135,707	11,605	13,803	40,360	6,790	208,265
レファレンスサービス	8,490	3,109	3,081	4,459	1,800	20,939
情報検索サービス	14,744	6,624	1,386	2,006	810	25,570
文献複写	10,455	64,135	11,551	10,953	3,559	100,653

### 蔵書の特徴

1. 国宝	史記 孝文本紀第十（平安時代） 類聚國史 卷第二十五（平安時代）
2. 貴重本	和漢書820点（うち狩野文庫574点） 洋書110点 } 計930点
3. 特殊文庫等	狩野文庫（前記の国宝2点を含む約108,000冊）、和算関係文庫、西蔵大蔵経（デルゲ版）、漱石文庫、阿部（次郎）文庫、晩翠文庫、大類（伸）文庫、児島（喜久雄）文庫、石津（照耀）文庫、梅原（未治）文庫、矢島（玄亮）文庫、柳田（民蔵）文庫、長谷田（泰三）文庫、和田（佐一郎）文庫、須永（重光）文庫、木下（彰）文庫、高柳（真三）文庫、宮田（光雄）文庫、伊東（信雄）文庫、河野（与一）文庫、中野（正）文庫、中村（吉治）文庫、平山（諭）文庫、松本（金寿）文庫、柳瀬（良幹）文庫、金谷（治）文庫、ウンツ文庫（Wilhelm Wundt）、ケーベル文庫（Raphael von Koeber）、シュタイン文庫（Friedrich Stein）、ゼッケル文庫（Emil Seckel）、チーテルマン文庫（Ernst Zitelmann）、ヴュルフェル文庫（Georg Würfel）、秋田家史料、晴山文書



西蔵大蔵経



坤輿萬國全圖



臨願愷之女史歳巻

## 病 院

(平成21年4月1日現在)

部門	診療科	病床数	
医科部門	内科	循環器内科、感染症科、腎・高血圧・内分泌科、血液・免疫科、糖尿病代謝科、消化器内科、老年科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科	1,308
	外科	肝・胆・脾外科、胃腸外科、移植・再建・内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、麻酔科、緩和医療科、呼吸器外科	
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科	
	脳・神経・精神科	神経内科、脳神経外科、脳血管内治療科、精神科	
	小児科	小児科、遺伝科、小児外科、小児腫瘍外科、小児腫瘍科	
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、肢体不自由リハビリテーション科、運動機能再建リハビリテーション科、内部障害リハビリテーション科、高次機能障害リハビリテーション科	
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科、加齢核医学科	
歯科部門	口腔育成系診療科	予防歯科、小児歯科、矯正歯科、咬合機能成育室	
	口腔維持系診療科	口腔診断科、顎顔面外科、口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科	
	口腔修復系診療科	保存修復科、咬合修復科、歯内療法科	
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科	

## 患者数

(平成20年度)

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	388,283	1,063.8
歯科部門	9,698	26.5
部門／外来	延患者数	1日平均患者数
医科部門	529,083	2,168.4
歯科部門	136,223	560.5

## 先進医療

経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法

泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術

悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索



大学病院

学  
生

## 学生数

### 学生総数

(平成21年5月1日現在)

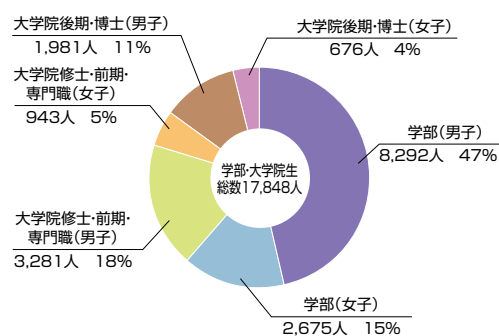
区分	学生定員	在籍者		内 留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 日本語研修コース
				国費	私費	計	
学部学生	9,844	10,967	(2,675)	53	74	127	334
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,920	4,224	(943)	65	301	366	195
大学院学生(後期・博士)	2,785	2,657	(676)	171	286	457	
計	16,549	17,848	(4,294)	289	661	950	529
附属学校	40	35	(21)	—	—	—	—
研究所	—	—	—	—	—	—	37
その他	—	—	—	—	—	—	29
合計	16,589	17,883	(4,315)	289	661	950	595

( ) の数は女子で内数  
私費留学生については、政府派遣留学生を含む

### 学部

学部名	総定員	在籍者		
文学部	840	971	(535)	[15]
教育学部	280	309	(171)	[5]
法学部	640	698	(189)	[3]
経済学部	1,080	1,176	(250)	[16]
理学部	1,296	1,450	(213)	[9]
医学部	1,218	1,280	(516)	[6]
歯学部	330	332	(114)	[0]
薬学部	320	350	(100)	[3]
工学部	3,240	3,719	(346)	[69]
農学部	600	682	(241)	[1]
計	9,844	10,967	(2,675)	[127]

( ) の数は女子で内数、[ ] の数は留学生で内数



### 大学院

研究科等名	修士・前期・専門職				後期・博士			
	総定員	在籍者			総定員	在籍者		
文学研究科	178	167	(76)	[24]	135	219	(76)	[25]
教育学研究科	86	89	(53)	[15]	56	92	(56)	[12]
法学研究科	400	306	(53)	[3]	60	34	(13)	[4]
経済学研究科	180	197	(71)	[72]	60	76	(24)	[26]
理学研究科	524	535	(82)	[16]	390	252	(34)	[29]
医学系研究科	164	189	(91)	[9]	582	580	(178)	[48]
歯学研究科	12	22	(15)	[2]	188	146	(45)	[5]
薬学研究科	114	172	(50)	[4]	78	60	(9)	[6]
工学研究科	1,272	1,395	(120)	[79]	565	607	(54)	[168]
農学研究科	206	254	(91)	[13]	129	99	(26)	[13]
国際文化研究科	96	87	(59)	[46]	114	102	(63)	[34]
情報科学研究科	260	300	(41)	[44]	156	132	(28)	[35]
生命科学研究科	212	212	(80)	[7]	141	94	(29)	[12]
環境科学研究科	130	205	(46)	[20]	96	114	(30)	[34]
医工学研究科	62	62	(7)	[1]	20	32	(3)	[5]
教育情報学教育部	24	32	(8)	[11]	15	18	(8)	[1]
計	3,920	4,224	(943)	[366]	2,785	2,657	(676)	[457]

( ) の数は女子で内数、[ ] の数は留学生で内数

### 附属学校

学校名	定員	入学者	在籍者
歯学部附属歯科技工士学校	20×2学年	17 (11)	35 (21)

( ) の数は女子で内数

## 入学状況

(平成21年度)

学部		入学定員	入学志願者	入学者
文学部		210	592 (300)	223 (116)
教育学部		70	217 (110)	75 (43)
法学部		160	502 (136)	165 (44)
経済学部		260	1,198 (193)	266 (42)
		20	66 (20)	15 (4)
理学部		324	1,562 (251)	350 (53)
医学部	医学科	110	497 (89)	119 (20)
	保健学科	144	380 (266)	144 (97)
		16	50 (38)	15 (14)
歯学部		55	182 (65)	58 (22)
薬学部		80	219 (70)	82 (28)
工学部		810	2,223 (254)	882 (102)
農学部		150	486 (198)	167 (79)
計		2,373	8,058 (1,932)	2,531 (646)
		36	116 (58)	30 (18)

( ) の数は女子で内数

下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、( ) の数は女子で内数

## 大学院

(平成21年度)

研究科等名	修士・前期・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者	入学者
文学研究科	前期	89	127 (58)	77 (37)
	後期	45	44 (15)	30 (9)
教育学研究科	前期	43	121 (66)	44 (27)
	後期	18	41 (16)	21 (9)
法学研究科	前期	20	14 (3)	3 (0)
	後期	20	3 (0)	1 (0)
	専門職	130	513 (103)	126 (22)
経済学研究科	前期	50	73 (21)	42 (12)
	後期	20	16 (4)	12 (3)
	専門職	40	90 (24)	37 (11)
理学研究科	前期	262	348 (51)	259 (39)
	後期	130	73 (8)	68 (6)
医学系研究科	修士	64	73 (32)	57 (27)
	博士	130	105 (28)	95 (25)
	前期	28	17 (8)	15 (6)
	後期	11	8 (4)	6 (2)
歯学研究科	修士	6	10 (7)	7 (5)
	博士	47	38 (8)	35 (6)
薬学研究科	前期	57	124 (33)	93 (23)
	後期	26	26 (4)	25 (4)
工学研究科	前期	636	852 (68)	670 (55)
	後期	174	150 (9)	138 (7)
農学研究科	前期	109	178 (59)	131 (46)
	後期	37	23 (7)	23 (7)
国際文化研究科	前期	48	48 (30)	31 (19)
	後期	38	29 (18)	21 (14)
情報科学研究科	前期	140	191 (26)	149 (22)
	後期	42	34 (4)	32 (3)
生命科学研究科	前期	106	147 (50)	102 (38)
	後期	47	26 (6)	25 (6)
環境科学研究科	前期	65	115 (26)	92 (18)
	後期	32	24 (8)	22 (8)
医工学研究科	前期	31	39 (7)	31 (5)
	後期	10	7 (0)	7 (0)
教育情報学教育部	前期	12	21 (9)	16 (8)
	後期	5	8 (0)	5 (0)
計	修士	70	83 (39)	64 (32)
	博士	177	143 (36)	130 (31)
	前期	1,696	2,415 (515)	1,755 (355)
	後期	655	512 (103)	436 (78)
	専門職	170	603 (127)	163 (33)

( ) の数は女子で内数



平成21年度入学式 平成21年4月7日

# 入学状況

(平成21年4月1日現在)

## 出身都道府県別 学部入学志願者・入学者

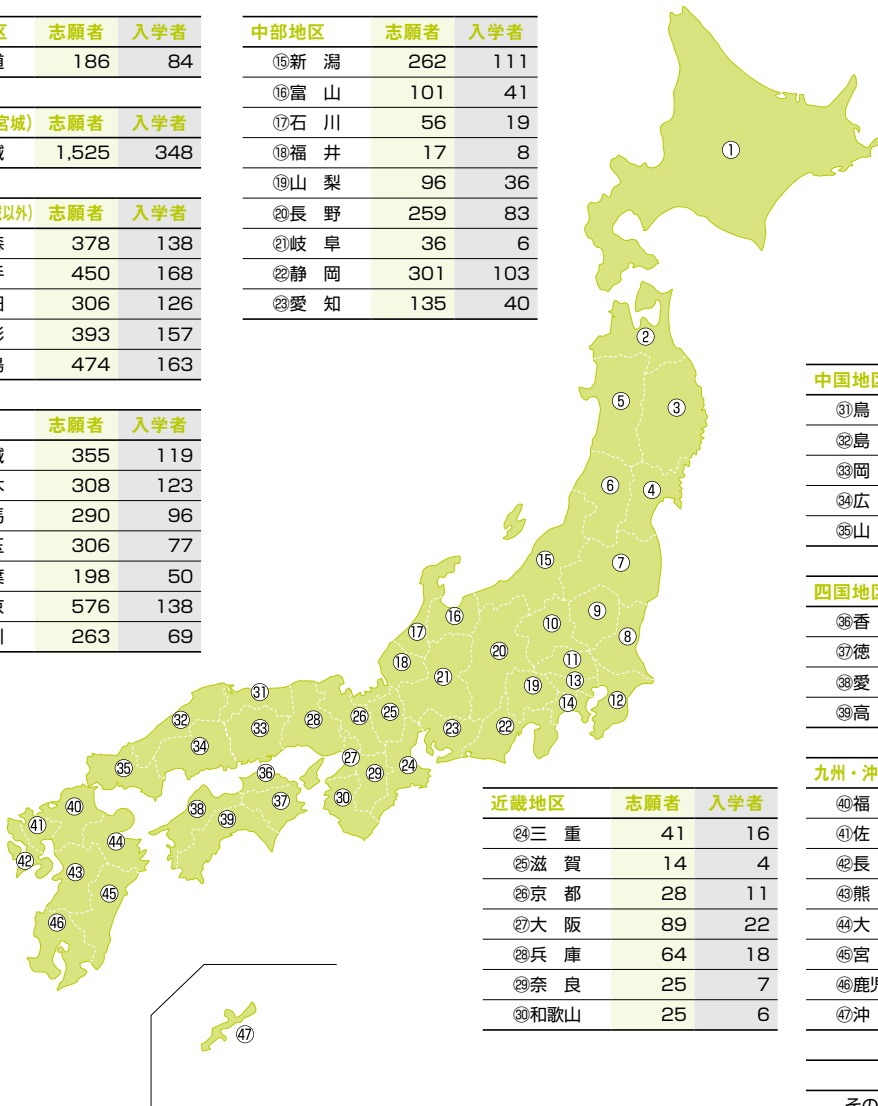
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	186	84

東北地区(宮城)	志願者	入学者
④宮城	1,525	348

東北地区(宮城以外)	志願者	入学者
②青森	378	138
③岩手	450	168
⑤秋田	306	126
⑥山形	393	157
⑦福島	474	163

関東地区	志願者	入学者
⑧茨城	355	119
⑨栃木	308	123
⑩群馬	290	96
⑪埼玉	306	77
⑫千葉	198	50
⑬東京	576	138
⑭神奈川	263	69

中部地区	志願者	入学者
⑮新潟	262	111
⑯富山	101	41
⑰石川	56	19
⑱福井	17	8
⑲山梨	96	36
⑳長野	259	83
㉑岐阜	36	6
㉒静岡	301	103
㉓愛知	135	40



中国地区	志願者	入学者
㉔鳥取	13	5
㉕島根	12	2
㉖岡山	40	9
㉗広島	55	12
㉘山口	14	7

四国地区	志願者	入学者
㉙香川	19	8
㉚徳島	13	5
㉛愛媛	37	12
㉜高知	13	2

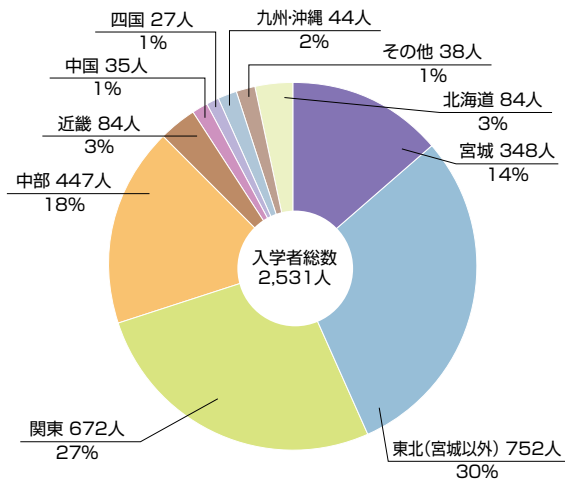
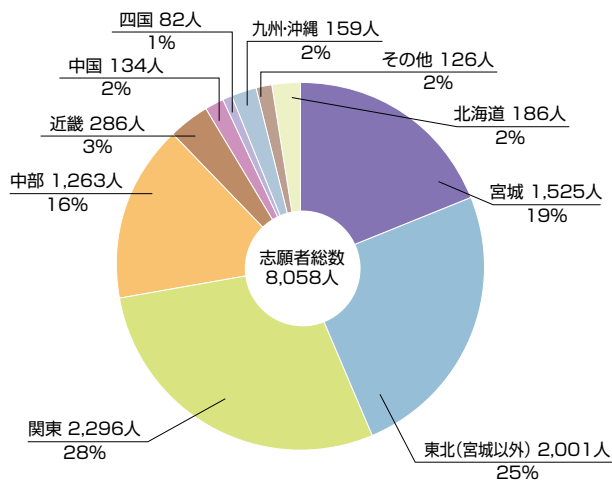
近畿地区	志願者	入学者
㉝三重	41	16
㉞滋賀	14	4
㉟京都	28	11
㊱大阪	89	22
㊲兵庫	64	18
㊳奈良	25	7
㊴和歌山	25	6

九州・沖縄地区	志願者	入学者
㊵福岡	50	14
㊶佐賀	9	1
㊷長崎	13	3
㊸熊本	10	1
㊹大分	12	5
㊺宮崎	6	2
㊻鹿児島	32	11
㊼沖縄	27	7

	志願者	入学者
その他	126	38

※その他は、帰国生徒、高専等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

## 平成21年度 学部入学者の出身地区別内訳





## 学部卒業生数・学位授与者数

## 学部卒業生数

(平成21年3月31日現在)

区分	旧制	新制	
		平成20年度	累計
文学部	1,277	209	9,510
教育学部	—	70	6,296
法学部	3,844	169	11,417
経済学部	1,446	279	12,268
理学部	2,747	341	14,190
医学部	3,290	244	6,020
歯学部	—	49	2,192
薬学部	—	80	3,350
工学部	3,953	857	41,284
農学部	679	143	7,901
計	17,236	2,441	114,428

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

## 学位授与者数(修士)

(平成21年3月31日現在)

区分	平成20年度	累計
文学研究科	73	2,966
教育学研究科	37	975
法学研究科	7	547
経済学研究科	36	982
理学研究科	249	8,013
医学系研究科	35	389
歯学研究科	4	25
薬学研究科	80	1,876
工学研究科	682	19,046
農学研究科	126	3,145
国際文化研究科	35	583
情報科学研究科	129	1,965
生命科学研究科	100	720
環境科学研究科	94	469
医工学研究科	4	4
教育情報学教育部	10	58
計	1,701	41,763

## 学位授与者数(専門職)

(平成21年3月31日現在)

区分	平成20年度	累計
公共法政策修士(専門職)	22	95
法務博士(専門職)	108	325
会計修士(専門職)	40	111
計	170	531

## 学位授与者数(博士)

(平成21年3月31日現在)

区分	旧制	新制(課程)		新制(論博)	
		平成20年度	累計	平成20年度	累計
文学研究科	96	32	310	5	251
教育学研究科	—	9	111	10	121
法学研究科	38	5	86	1	53
経済学研究科	50	14	192	2	108
理学研究科	944	64	2,516	3	1,240
医学系研究科	3,715	112	2,832	17	3,437
歯学研究科	—	42	521	0	201
薬学研究科	—	24	443	6	529
工学研究科	554	166	4,179	7	2,205
農学研究科	152	33	976	10	743
国際文化研究科	—	12	107	1	7
情報科学研究科	—	44	483	6	57
生命科学研究科	—	30	160	2	14
環境科学研究科	—	23	124	1	15
医工学研究科	—	2	2	0	0
教育情報学教育部	—	3	9	0	1
計	5,549	615	13,051	71	8,982



平成21年3月学位記授与式 平成21年3月25日

# 卒業後の状況 進路状況調(平成20年度卒業修了)

(平成21年4月1日現在)

## 学部

区分	卒業者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学部	209 (110)	46 (22)	—	131 (74)	23 (14)	108 (60)	32 (14)
教育学部	70 (36)	22 (15)	—	40 (18)	12 (5)	28 (13)	8 (3)
法学部	169 (46)	45 (11)	—	82 (25)	15 (3)	67 (22)	42 (10)
経済学部	279 (57)	35 (8)	—	206 (42)	38 (6)	168 (36)	38 (7)
理学部	341 (55)	277 (47)	—	44 (3)	5 (0)	39 (3)	20 (5)
医学部	6年	98 (10)	1 (0)	97 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	4年	146 (103)	34 (19)	0 (0)	108 (81)	54 (40)	54 (41)
歯学部	49 (22)	0 (0)	48 (22)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
薬学部	80 (18)	70 (14)	—	10 (4)	1 (1)	9 (3)	0 (0)
工学部	857 (72)	749 (57)	—	82 (13)	9 (3)	73 (10)	26 (2)
農学部	143 (54)	116 (43)	—	20 (8)	3 (0)	17 (8)	7 (3)
計	2,441 (583)	1,395 (236)	145 (32)	724 (268)	160 (72)	564 (196)	177 (47)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 研究科:前期2年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
文学研究科	73 (33)	20 (6)	—	39 (17)	7 (5)	32 (12)	14 (10)
教育学研究科	37 (20)	13 (6)	—	15 (10)	4 (3)	11 (7)	9 (4)
法学研究科	7 (3)	1 (0)	—	2 (1)	1 (0)	1 (1)	4 (2)
経済学研究科	36 (16)	6 (3)	—	15 (3)	7 (1)	8 (2)	15 (10)
理学研究科	249 (38)	61 (8)	—	165 (26)	1 (0)	164 (26)	23 (4)
医学系研究科	15 (9)	9 (4)	0 (0)	4 (4)	2 (2)	2 (2)	2 (1)
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—
薬学研究科	80 (21)	20 (4)	—	54 (16)	6 (1)	48 (15)	6 (1)
工学研究科	682 (52)	86 (2)	—	575 (47)	25 (3)	550 (44)	21 (3)
農学研究科	126 (45)	18 (4)	—	96 (39)	12 (5)	84 (34)	12 (2)
国際文化研究科	35 (25)	14 (10)	—	10 (8)	2 (2)	8 (6)	11 (7)
情報科学研究科	129 (13)	20 (1)	—	95 (10)	3 (0)	92 (10)	14 (2)
生命科学研究科	100 (34)	20 (4)	—	37 (15)	0 (0)	37 (15)	43 (15)
環境科学研究科	94 (21)	13 (6)	—	77 (13)	1 (0)	76 (13)	4 (2)
医工学研究科	4 (1)	2 (1)	—	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
教育情報学教育部	10 (3)	1 (0)	—	7 (2)	3 (1)	4 (1)	2 (1)
計	1,677 (334)	304 (59)	0 (0)	1,193 (211)	74 (23)	1,119 (188)	180 (64)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 研究科:後期3年の課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
文学研究科	32 (8)	0 (0)	—	10 (6)	4 (2)	6 (4)	22 (2)	0 (0)
教育学研究科	9 (4)	0 (0)	—	9 (4)	5 (2)	4 (2)	0 (0)	0 (0)
法学研究科	5 (2)	0 (0)	—	1 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (2)	0 (0)
経済学研究科	14 (2)	0 (0)	—	9 (2)	2 (1)	7 (1)	5 (0)	1 (0)
理学研究科	64 (9)	0 (0)	—	36 (6)	6 (0)	30 (6)	28 (3)	23 (3)
医学系研究科	9 (7)	0 (0)	0 (0)	9 (7)	5 (4)	4 (3)	0 (0)	0 (0)
歯学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—
薬学研究科	24 (5)	0 (0)	—	23 (4)	2 (1)	21 (3)	1 (1)	0 (0)
工学研究科	166 (17)	0 (0)	—	106 (8)	11 (0)	95 (8)	60 (9)	26 (4)
農学研究科	33 (8)	0 (0)	—	20 (5)	4 (1)	16 (4)	13 (3)	9 (3)
国際文化研究科	12 (7)	0 (0)	—	4 (2)	1 (1)	3 (1)	8 (5)	1 (0)
情報科学研究科	44 (6)	0 (0)	—	28 (1)	5 (1)	23 (0)	16 (5)	4 (1)
生命科学研究科	30 (11)	0 (0)	—	10 (4)	4 (1)	6 (3)	20 (7)	0 (0)
環境科学研究科	23 (4)	1 (0)	—	10 (0)	1 (0)	9 (0)	12 (4)	0 (0)
医工学研究科	2 (1)	0 (0)	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)
教育情報学教育部	3 (0)	0 (0)	—	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
計	470 (91)	1 (0)	0 (0)	278 (49)	53 (14)	225 (35)	191 (42)	65 (11)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 研究科:修士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
医学系研究科	20 (12)	4 (3)	0 (0)	13 (7)	2 (1)	11 (6)	3 (2)	0 (0)
歯学研究科	4 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
計	24 (15)	4 (3)	0 (0)	16 (9)	5 (3)	11 (6)	4 (3)	0 (0)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 研究科:博士課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他	うちポストク
					県内	県外		
医学系研究科	103 (32)	0 (0)	0 (0)	91 (26)	69 (20)	22 (6)	12 (6)	0 (0)
歯学研究科	42 (9)	0 (0)	0 (0)	34 (8)	25 (8)	9 (0)	8 (1)	0 (0)
計	145 (41)	0 (0)	0 (0)	125 (34)	94 (28)	31 (6)	20 (7)	0 (0)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 研究科:専門職学位課程

区分	修了者数	進学者数	臨床研修医等	就職者数	就職先内訳		その他
					県内	県外	
法学研究科	22 (4)	0 (0)	—	20 (3)	1 (0)	19 (3)	2 (1)
法学研究科(法科大学院)	108 (23)	0 (0)	—	2 (0)	0 (0)	2 (0)	106 (23)
経済学研究科	40 (12)	0 (0)	—	7 (3)	1 (1)	6 (2)	33 (9)
計	170 (39)	0 (0)	0 (0)	29 (6)	2 (1)	27 (5)	141 (33)

( ) は女子で内数。その他…研究生、科目等履修生、国家公務員試験準備、未就職者等

## 産業別就職者数

(平成21年4月1日現在)

## 学部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農・林・漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
建設業	3	1	0	2	0	0	0	0	4	0	10
製造業	31	9	11	47	7	2	0	0	40	7	154
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1	5	23	0	0	0	0	6	0	36
情報通信業	19	4	4	12	9	0	0	0	12	1	61
運輸・郵便業	1	2	0	5	2	0	0	0	2	0	12
卸売・小売業	7	1	2	5	0	0	0	5	0	1	21
金融・保険業	13	5	14	63	6	0	0	0	2	1	104
不動産業	1	1	3	3	0	0	0	0	1	0	9
飲食店・宿泊業	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
医療・福祉	0	0	0	1	0	105	0	4	0	1	111
教育・学習支援業	16	5	0	4	7	0	0	0	4	1	37
複合サービス事業	3	0	1	1	0	0	0	0	0	1	6
学術研究・専門・技術サービス	4	0	0	10	1	0	0	1	1	0	17
サービス業	1	0	0	3	3	0	1	0	2	2	12
公務	30	11	39	24	5	0	0	0	7	5	121
その他	0	0	2	1	4	1	0	0	1	0	9
計	131	40	82	206	44	108	1	10	82	20	724

## 大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学	計
農・林・漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4
鉱業	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
建設業	1	0	0	0	2	0	0	0	38	3	1	0	0	1	0	0	46
製造業	7	0	3	4	103	8	0	41	431	67	3	64	27	62	1	1	822
電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0	1	2	0	0	0	53	0	0	0	0	5	0	0	62
情報通信業	7	2	1	1	28	1	0	0	29	2	1	20	3	4	1	3	103
運輸・郵便業	0	0	0	0	3	0	0	0	23	2	1	3	0	2	0	0	34
卸売・小売業	2	1	0	1	3	0	0	8	5	5	1	3	2	1	0	1	33
金融・保険業	0	0	4	2	12	0	0	1	8	0	0	5	0	1	0	0	33
不動産業	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	4
飲食店・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	1	2	0	2	0	83	30	8	1	2	0	0	0	0	0	0	129
教育・学習支援業	19	14	1	5	13	16	7	4	26	9	5	14	0	1	0	4	138
複合サービス事業	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	2	1	0	0	10
学術研究・専門・技術サービス	1	0	4	11	15	6	0	10	43	10	0	6	2	4	0	0	112
サービス業	2	0	0	0	5	0	0	0	4	0	0	2	2	2	0	0	17
公務	7	5	12	4	5	0	0	3	15	11	0	0	2	2	0	0	66
その他	0	0	0	0	5	3	0	0	1	0	1	5	7	0	0	1	23
計	49	24	25	31	201	117	37	77	681	116	14	123	47	87	2	10	1,641

## ■ 学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。

学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員の会費により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、海上運動会、サークル活動等の援助）が行われています。

### 中央各部

部名	部長名	部局	職名
総務部	根元 義章		理事
文化部	末光 眞希	電気通信研究所	教授
体育部	永富 良一	医工学研究科	教授
生活部	小菅 一弘	工学研究科	教授
報道部	大村 泉	経済学研究科	教授

### 文化部

部名	部長名	部局	職名
1 男声合唱部	境田 清隆	環境科学研究科	教授
2 混声合唱部	鳥途 健一	国際文化研究科	教授
3 交響楽部	松原 洋一	医学系研究科	教授
4 文芸部			
5 美術部	芳賀 京子	文学研究科	准教授
6 映画部	佐野健太郎	情報科学研究科	准教授
7 演劇部	浅野 裕一	環境科学研究科	教授
8 写真部	長岡 龍作	文学研究科	教授
9 茶道部	工藤 純一	東北アジア研究センター	教授
10 能楽部	牧原 出	法学研究科	教授
11 邦楽部	早川 美德	理学研究科	准教授
12 放送研究部	村岡 裕明	電気通信研究所	教授
13 アマチュア無線部	曾根 秀昭	サイバーサイエンスセンター	教授
14 落語研究部	山崎 武	理学研究科	准教授
15 E. S. S. 部	山田 誠	国際文化研究科	准教授
16 囲碁部	徳山 豪	情報科学研究科	教授
17 奇術部	松木 英敏	医工学研究科	教授
18 軽音楽部	澤谷 邦男	工学研究科	教授
19 マンドリン楽部	川又 政征	工学研究科	教授
20 化学部	飛田 博実	理学研究科	教授
21 オーディオ研究部	金崎 芳輔	経済学研究科	教授
22 吹奏楽部	木村 邦博	文学研究科	教授
23 将棋部	菅原 歩	経済学研究科	准教授
24 書道部	猪股 宏	工学研究科	教授

### 体育部

部名	部長名	部局	職名
1 陸上競技部	佐藤 源之	東北アジア研究センター	教授
2 硬式野球部	山田 章吾	病院	教授
3 準硬式野球部	横堀 壽光	工学研究科	教授
4 硬式庭球部	宮澤 陽夫	農学研究科	教授
5 軟式庭球部	松木 英敏	医工学研究科	教授
6 ラグビー部	荒井 陽一	医学系研究科	教授
7 男子バレーボール部 女子バレーボール部	長坂 徹也	環境科学研究科	教授
8 蹴球部	土屋 滋	医学系研究科	教授
9 男子バスケットボール部 女子バスケットボール部	須藤 彰三	理学研究科	教授
10 卓球部	三橋 博三	工学研究科	教授
11 山岳部	川村 宏	理学研究科	教授
12 水泳部	北村 勝朗	教育情報学教育部	教授
13 漕艇部	黒川 良望	未来医工学センター	教授
14 ヨット部	高木 敏行	流体科学研究所	教授
15 スケート部	井上 克己	工学研究科	教授
16 乗馬部	工藤 昭彦	農学研究科	教授
17 バドミントン部	玉川 明朗	医学系研究科	准教授
18 柔道部	村本 光二	生命科学研究所	教授
19 スキー部	日出間 純	生命科学研究所	准教授
20 ハンドボール部	風間 基樹	工学研究科	教授
21 航空部	伊藤 高敏	流体科学研究所	准教授
22 剣道部	福土 審	医学系研究科	教授
23 弓道部	笹野 泰之	歯学研究科	教授
24 空手道部	大滝 精一	経済学研究科	教授
25 自動車部	和田 仁	工学研究科	教授
26 ワンダーフォーゲル部	植松 康	工学研究科	教授
27 ゴルフ部	西澤 松彦	工学研究科	教授
28 合気道部	珠玖 仁	環境科学研究科	准教授
29 フェンシング部	佐藤 明	医学系研究科	准教授
30 応援団	里見 進	病院	教授
31 サイクリング部	中井 裕	農学研究科	教授
32 ボディビル部	宮腰 英一	教育学研究科	教授
33 少林寺拳法部	佐藤 正明	医工学研究科	教授
34 体操部	中島 信博	教育学研究科	教授
35 アメリカンフットボール部	池尾 恭一	教育学研究科	准教授
36 オリエンテーリング部	窪 俊一	情報科学研究科	准教授
37 競技舞蹈部	中畑 則道	薬学研究科	教授
38 アーチェリー部	大島 徹	国際文化研究科	准教授
39 トライアスロン部	宗政 昭弘	情報科学研究科	教授
40 ラクロス部	吉岡 敏明	環境科学研究科	教授
41 アイススケート部	永富 良一	医工学研究科	教授
42 レーシングカート部	(副部長) 福土 将	情報科学研究科	助教
43 極真カラテ部	石井 圭一	農学研究科	准教授
44 相撲部	阿部 宏	文学研究科	教授
45 ソフトボール部	徳山 豪	情報科学研究科	教授



第47回全国七大学総合体育大会 応援パレード



# 財 務

# 平成20年度決算

## 平成20年度貸借対照表

(平成21年3月31日)

		(単位:百万円)
科目	金額	
<b>資産の部</b>	<b>355,125</b>	
固定資産	309,205	
有形固定資産	308,374	
土地	135,688	
建物・構築物	103,358	
機械備品	38,583	
図書・美術品	25,391	
船舶・車両	99	
建設仮勘定	5,236	
その他	15	
無形固定資産	715	
投資その他資産	115	
流動資産	45,919	
現金・預金	36,788	
未収入金	6,607	
たな卸資産等	2,523	

		(単位:百万円)
科目	金額	
<b>負債の部</b>	<b>155,649</b>	
固定負債	111,862	
資産見返負債	52,256	
長期寄附金債務等	277	
国立大学財務・経営センター債務負担金	27,698	
その他借入金	21,394	
長期未払金等	10,234	
流動負債	43,787	
運営費交付金債務	2,844	
寄附金債務等	13,781	
預り金	1,836	
一年以内返済予定	2,811	
国立大学財務・経営センター債務負担金	2,811	
一年以内返済予定借入金	785	
未払金	21,338	
未払費用等	389	
<b>純資産の部</b>	<b>199,475</b>	
資本金	180,227	
資本剰余金	5,968	
利益剰余金	13,279	

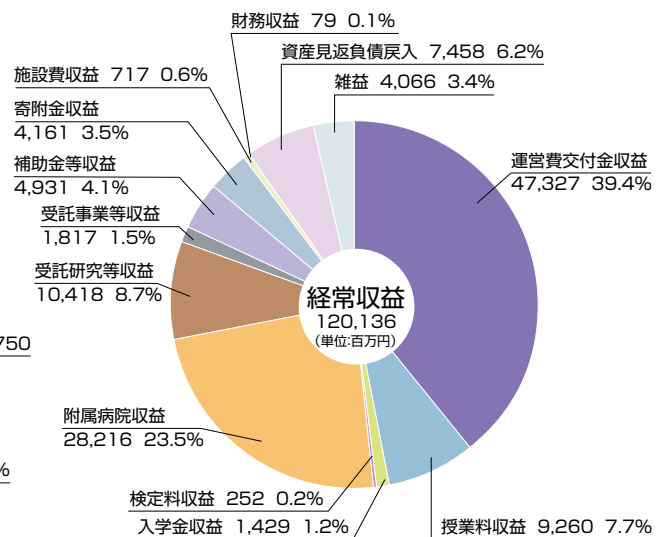
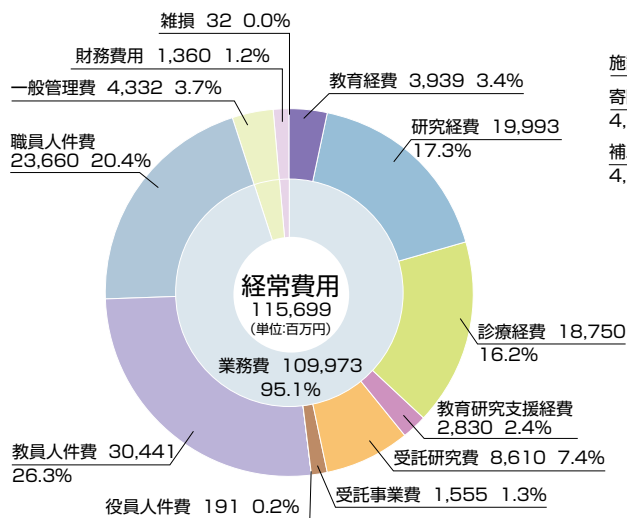
## 平成20年度損益計算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

		(単位:百万円)
科目	金額	
<b>経常費用</b>	<b>115,699</b>	
業務費	109,973	
教育経費	3,939	
研究経費	19,993	
診療経費	18,750	
教育研究支援経費	2,830	
受託研究費	8,610	
受託事業費	1,555	
役員人件費	191	
教員人件費	30,441	
職員人件費	23,660	
一般管理費	4,332	
財務費用	1,360	
雑損	32	
臨時損失	154	

		(単位:百万円)
科目	金額	
<b>経常収益</b>	<b>120,136</b>	
運営費交付金収益	47,327	
授業料収益	9,260	
入学金収益	1,429	
検定料収益	252	
附属病院収益	28,216	
受託研究等収益	10,418	
受託事業等収益	1,817	
補助金等収益	4,931	
寄附金収益	4,161	
施設費収益	717	
財務収益	79	
資産見返負債戻入	7,458	
雑益	4,066	
経常利益	4,437	
臨時利益	106	
当期純利益	4,390	
目的積立金取崩額	204	
当期総利益	4,594	

※6月18日現在 文部科学省未承認



## 研究費等受入状況

## 科学研究費補助金

(平成20年度)

研究種目	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
特別推進研究	15	1,217,700	365,310	1,583,010
特定領域研究	182	1,430,800	-	1,430,800
新学術領域研究	11	112,700	33,810	146,510
基盤研究(S・A・B・C)	940	4,101,000	1,230,300	5,331,300
萌芽研究	210	293,700	-	293,700
若手研究(S・A・B・スタートアップ)	561	1,189,180	356,754	1,545,934
奨励研究	13	7,410	-	7,410
特別研究促進費	10	42,120	-	42,120
研究成果公開促進費 (研究成果公开发表(A)・学術図書・データベース)	7	15,200	-	15,200
特別研究員奨励費	342	272,198	-	272,198
学術創成研究費	6	449,200	134,760	583,960
計	2,297	9,131,208	2,120,934	11,252,142

## 寄付金・受託研究等

区分	件数(件)	購入金額(千円)
寄附金	3,057	6,098,826
(うち基金分)	236	1,421,604
民間等との共同研究	786	2,459,149
一般	376	3,560,122
受託研究等経費	220	5,571,150
受託研究	220	5,571,150
競争的資金	220	5,571,150
小計	596	9,131,272
小計	1,382	11,590,421
学術指導	135	106,717
計	4,574	17,795,964

## その他補助金

経費	採択件数(件)	交付額(千円)		
		直接経費	間接経費	計
21世紀COEプログラム	1	100,000	10,000	110,000
グローバルCOEプログラム	12	2,769,700	830,909	3,600,609
産業技術研究開発助成制度	38	255,800	76,740	332,540
厚生労働科学研究費補助金	37	1,062,450	154,879	1,217,329
廃棄物処理等科学研究費補助金	4	27,173	7,439	34,612
大学改革推進等補助金	13	240,597	2,490	243,087
がん研究助成金	2	24,090	0	24,090
研究拠点形成費等補助金 (21世紀COE、グローバルCOEプログラムを除く)	3	1,208,120	351,716	1,559,836
国際共同研究助成事業	1	8,520	0	8,520
大学教育の国際化加速プログラム	1	80,483	0	80,483
大学発事業創出実用化研究開発事業	1	9,230	2,769	11,999
国際共同研究助成金	1	10,000	2,520	12,520
原子力研究環境整備補助金	1	33,000	0	33,000
建設技術研究開発助成制度	3	41,200	12,360	53,560
原子力コア人材育成プログラム	1	5,231	0	5,231
がん診療連携拠点病院機能強化事業	1	25,220	0	25,220
疾病予防対策事業費等補助金	1	7,990	0	7,990
計	121	5,908,804	1,451,822	7,360,626



世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)「原子分子材料科学高等研究機構」  
研究風景 原子レベル制御によるナノ物質科学の創成



グローバルCOEプログラム「脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点」  
研究風景 (大隅典子教授:左)

## ■ 土地・建物

(平成21年4月1日現在)

(単位：㎡)

地区名/面積			土 地			建 物		
			所 有	借 入	計	所 有	借 入	計
宮城県	仙台市	片平地区	237,532	31	237,563	162,531	-	162,531
		米ヶ袋地区	3,231	-	3,231	512	-	512
		川内・青葉山地区	2,583,256	15,155	2,598,411	425,846	-	425,846
		星陵地区	179,155	59	179,214	259,461	-	259,461
		雨宮地区	92,746	-	92,746	31,297	-	31,297
		三条地区	50,612	-	50,612	10,776	-	10,776
		富沢地区	113,877	-	113,877	8,659	-	8,659
		評定河原地区	18,668	-	18,668	781	-	781
		宮城地区	-	399	399	26	-	26
		秋保地区	-	4	4	-	20	20
		越路地区	-	2	2	-	-	-
		北中山地区	-	58	58	-	-	-
		八木山地区	12,810	-	12,810	-	-	-
		学生寄宿舍	40,972	-	40,972	22,660	-	22,660
		職員宿舎	80,834	-	80,834	42,460	-	42,460
		小計	3,413,693	15,708	3,429,401	965,009	20	965,029
		仙台市外	蔵王地区	-	30,287	30,287	399	-
	七ヶ浜地区		-	528	528	355	-	355
	女川・牡鹿地区		23,463	43,338	66,801	1,922	-	1,922
	鹿島台地区		10,077	-	10,077	270	-	270
	鳴子・川渡地区		18,541,862	1,347	18,543,209	18,662	-	18,662
	名取地区		1,863	454	2,317	1,050	-	1,050
	釜房地区		-	144	144	-	5	5
	小牛田地区		-	1,038	1,038	19	-	19
	気仙沼地区		-	112	112	-	-	-
	米山地区		-	1,600	1,600	101	-	101
	丸森地区		-	181	181	6	-	6
	若柳地区		-	100	100	12	-	12
	その他の地区		-	77	77	-	-	-
	職員宿舎		5,411	1,123	6,534	1,516	-	1,516
	小計		18,582,676	80,329	18,663,005	24,312	5	24,317
	計		21,996,369	96,037	22,092,406	989,321	25	989,346
	宮城県外	青森県	28,506	76,290	104,796	2,658	-	2,658
秋田県		1,049	6,838	7,887	686	-	686	
山形県		-	1,524	1,524	298	-	298	
岩手県		10,012	17,707	27,719	930	-	930	
福島県		990	25,887	26,877	362	-	362	
新潟県		-	315	315	6	-	6	
埼玉県		660	1	661	739	-	739	
茨城県		4,541	12,161	16,702	6,086	-	6,086	
栃木県		-	25	25	-	-	-	
岐阜県		-	666	666	424	-	424	
計		45,758	141,414	187,172	12,189	0	12,189	
合計	22,042,127	237,451	22,279,578	1,001,510	25	1,001,535		



特色ある研究・教育・社会貢献活動

特色ある研究・  
教育・社会貢献活動

## 世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)

### 原子分子材料科学高等研究機構 (WPI-AIMR)

文部科学省の「世界トップレベル研究拠点形成プログラム (World Premier International Research Center Initiative = WPI)」において、「国際高等原子分子材料研究拠点構想」が全国5拠点の1つとして採択され、平成19年10月に原子分子材料科学高等研究機構 (WPI Advanced Institute for Materials Research = WPI-AIMR) を発足しました。

WPI-AIMR は、世界中から第一線の材料科学、物理学、化学、機械工学・電子工学の研究者が集い、異分野を融合させて、従来の既成概念を凌駕した斬新な原子分子制御法により、新物質・新材料の創製、これらを用いたデバイス開発、社会還元を軸とする材料システムの構築など、唯一無比の国際材料科学研究拠点の形成を目指します。

#### バルク金属ガラス (BMG) グループ

BMGは、独特で有用な物理的、化学的、電気的、機械的特性を持つ、アモルファス、ガラス状及び準結晶、及びナノ結晶合金を研究対象としており、それらの新材料は M and NEMS (マイクロ及びナノ電子機械要素部品) に応用されています。

#### ナノ物理グループ

ナノ物理では、材料物質間の界面における電子状態の解明と物質探索による新物質の発現を研究しており、最近の注目物質の一つは金属酸化物です。

#### ナノ化学グループ

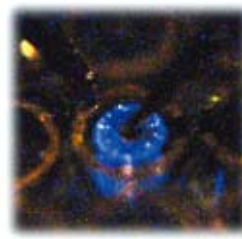
分子レベルからマイクロメートルサイズにまでわたる階層構造を持つ物質の組織化、物性解明、官能基化研究がナノ化学の主な研究の一つです。

#### デバイス・システム構築グループ

新規で有用な万能型記憶媒体のような M and NEMS の開発がデバイス・システム構築グループで活発に行われています。



新規 Zr 系バルク金属ガラス (最大直径30mm)



世界初のエコ型発光材料を用いた紫外発光素子

## COE 等

### グローバル COE

グローバル COE プログラムは、平成14年度から文部科学省において開始された「21世紀 COE プログラム」の評価・検証を踏まえ、その基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化し、世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援し、国際競争力のある大学づくりを推進することを目的として設置されたものです。

平成19年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
生命科学 大隅 典子 教授	脳神経科学	脳神経科学を社会へ還元する教育研究拠点	遺伝子から個体の行動までを扱う「ゲノム行動神経科学」、脳機能を身体との相互作用によって理解する「身体性認知脳科学」、人間を取り巻く環境や人間同士の関連性までを包括する「社会脳科学」という新規の脳神経科学分野を推し進める研究を通じ、脳神経基礎科学の研究者を国内外のアカデミアに輩出することを目指します。また、育成されるべき人材が社会で果たす役割を意識したアウトカム指向の教育を提供し、脳画像診断、脳数理、精神疾患診断治療、神経経済等の分野の研究者や、先端脳神経科学の素養を社会に還元する教育者や福祉・介護従事者、創業や福祉機器の開発者、医療行政従事者等の新領域の人材を日本発に育成します。
化学、材料科学 山口 雅彦 教授	複合化学	分子系高次構造体化学国際教育研究拠点	化学の学問的特性に原子・分子レベルの技術革新をもとにして、高度にシステム化するボトムアップ方法論を取りうる点があります。本プログラムでは物質による高機能発現を具現化する目的で、10nm-0.1mm サイズの物質を空間的に制御して配置するとともにその構造体が経時的に変化するプロセスを制御する分子系高次構造体化学の教育研究を行います。あわせて、幅広い物質の高度な研究開発を先端的に担うことのできる博士人材を育成します。
化学、材料科学 後藤 孝 教授	材料工学	材料インテグレーション国際教育研究拠点	材料科学は、全ての産業の基盤をなす学問領域であり、その発展なくして人類の社会活動の発展はありません。本学は、最先端の物質・材料研究教育拠点として、世界を先導してきました。今後、研究開発における世界規模での競争と協調連携は、ますます重要です。本拠点では、社会基盤・生体材料、エレクトロニクス材料、エネルギー・環境材料、物質・材料基礎科学の4分野において、材料インテグレーションの概念(材料科学における融合領域の形成と学際化)を基として、視野の広い世界の第一線で活躍できる人材の育成と、これまでにない新機能・新材料の創製、新材料科学の展開を目指します。
情報、電気、電子 安達 文幸 教授	電気・電子工学	情報エレクトロニクスシステム教育研究拠点	独創的研究を通じた教育により世界をリードする人材を育成し、教育と研究の両面で世界最強の拠点形成を目指しています。教育面では、複眼的視点を持ち、独創的科学技术の創出と国際性豊かで基礎からシステム応用に至る幅広い分野で世界的な活躍ができる若手研究者を育成します。研究面では、人間性豊かなコミュニケーションを可能とするグローバルネットワークの構築をめざして、情報・デバイス基礎、ネットワークから知能情報システムに至る幅広い分野が連携した研究を行います。
学際、複合、新領域 山口 隆美 教授	人間工学	新世紀世界の成長焦点に築くナノ工学拠点	21世紀のキーテクノロジーであるナノ工学の成否は新たな学術の地平を切り開く医工融合に基づく人材の育成にかかっています。ナノ工学グローバル COE プログラムでは、この分野を開拓し発展を担う学生・若手研究者を、国際的に組織された融合領域の教育・研究に没入させます。これを通じ、ナノ工学を含む21世紀の科学技術の担い手である東アジア・環太平洋地域の諸国、諸社会をリードするグローバルな拠点を形成します。

計/5件

## COE 等

## 平成20年度

拠点リーダー	研究分野	拠点のプログラム名称	内容
医学系 岡 芳知 教授	内科・糖尿病代謝	Network Medicine 創生拠点	疾患研究は、個々の分子の解析から、分子間、臓器間、またそれらが作る階層間で形成されるシグナルネットワークの探求へとパラダイムシフトしています。本GCOEではこのシグナルネットワークを基盤とする新しい医学体系“Network Medicine”を確立し、革新的な診断法・治療法・予防法の開発を目指します。疾患横断・異分野融合型の先端研究と教育活動を一体化して推進し、広く科学を見渡せる視野を持ち、自由な発想で既存の枠組みを超えた科学に挑戦できる研究者を育成します。
数学、物理学、 地球科学 井上 邦雄 教授	物 理 学	物質階層を紡ぐ 科学フロンティアの新展開	21COEの実績に基づき、素粒子から宇宙に亘る物質階層を広くカバーする本拠点では、数学の関与を強化し階層間の連携を蜘蛛の巣のように張り巡らすことでサイエンスウェブを構築し、未踏の科学フロンティアを開拓します。さらに物理でカバーできなかった化学・生物・地学などの中間階層への波及を行い、哲学講座との連携も開拓することで物質階層を鳥瞰する視点からの宇宙物質像の統一的究明を目指します。また、この科学フロンティアの新展開を教育に活かし、産学官の広い分野に多くの有能な人材を輩出します。
数学、物理学、 地球科学 大谷 栄治 教授	地球惑星科学	変動地球惑星学の 統合教育研究拠点	本拠点では、地球と惑星系の多様な変動現象のメカニズムを解明し、その統合的理解を目的とした「変動地球惑星学」の創出を目指します。本拠点では多様な時間スケールの現象を超高精度で観測・分析し、未踏再現実験を行いつつ、多様な空間スケールの不均質性を高解像度で解析し、地球惑星の変動と地球環境変動を解明します。そして、国際連携に基づく先端的研究とそれに連携する大学院教育を実施し、課題発掘力、技術開発力を持ちフィールドに強く、統合力と総合力を有する国際的若手研究リーダーを育成し、自然災害・環境変動など人類が直面する多様な課題に取り組む優れた人材を育成します。
機械、土木、建築、 その他工学 圓山 重直 教授	総 合 工 学	流動ダイナミクス 知の融合教育研究世界拠点	本プログラムは、流動ダイナミクスを基軸に置き、情報科学、化学工学、医工学との異分野融合、これまで形成してきた国際ネットワークを活用した多国間研究融合、多面的な価値観を理解できる国際的な異文化融合などの知の融合によって、流動融合分野の基礎学理を構築すると共に、国際連携フロンティアプロジェクト研究推進によりイノベーション科学技術領域を創成し、総合学術領域としての流動ダイナミクスの研究教育世界拠点を確立することを目的としています。
社会科学 佐藤 嘉倫 教授	社 会 学	社会階層と不平等教育 研究拠点の世界的展開	本プログラムでは、21世紀 COE プログラム「社会階層と不平等教育拠点の形成」と特別推進研究「社会階層と社会移動調査研究」を基盤として、階層・不平等・格差の教育研究拠点を世界的に展開します。そして格差問題に対して融合的にアプローチし、格差の綿密な測定、格差を生み出す社会的メカニズムの解明、格差の影響の研究を推進し、格差は正のための政策提言を行います。また教育面では、優れた人材育成プログラムにより、世界で活躍する、タフで独創的な人材を育成します。
社会科学 辻村 みよ子 教授	法学・政治学	グローバル時代の 男女共同参画と多文化共生	この拠点は、21世紀 COE「男女共同参画社会の法と政策」の成果を継承・発展させて「グローバル時代の男女共同参画（ジェンダー平等）と多文化共生」に関する世界的ネットワークを確立し、社会科学を総合する学際融合研究教育基盤を創生することを目的としています。東京大学社会科学研究所や海外の諸機関との連携に基づいた人材育成プログラムにより、若手研究者・法曹実務家・政策担当者など高度な専門家を養成することを目指し、教育研究の成果を政策に還元します。
学際・複合・新領域 中静 透 教授	環 境 学	環境激変への生態系適応 に向けた教育研究	避けられない環境変化に対して、生物・生態系の適応力を生かした対策をおこなう複合的分野の確立と、そのための人材育成および社会への発信を目的とした教育研究拠点を創出します。生物・生態システムのもつ頑健性や回復力の基礎的解明を行うと同時に、それを応用した技術の開発、さらに社会システムとしての定着まで一連の学問体系を確立します。研究能力・専門性だけでなく、国際的視野・社会性・実践力をもつ人材を育成し、国際機関、企業、NGO、自治体との環境機関コンソーシアムを通じて社会に発信します。

計/7件

## 主な科学技術振興調整費

科学技術振興調整費は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、各府省の施策の先鞭となるもの、各府省毎の施策では対応できていない境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組むべきもの等で、政府誘導効果が高いものに活用される経費です。

## 平成18年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
若手研究者の自立的研究環境整備促進	工学研究科・加齢医学研究所	先進融合領域フロンティアプログラム	国際的な競争環境下で世界的なレベルで先端領域の開拓ができる人材の育成を推進することを目的としています。

## 平成19年度

プログラム名	提案部局	本学採択課題名	内容
先端融合領域イノベーション創出拠点の形成	全学(工学研究科)	マイクロシステム融合研究開発拠点	集積化マイクロシステムを中核に、機械、電気・電子、材料、化学、電気化学、バイオ工学、医学などの様々な技術を融合させて、我が国の次世代産業の種を創るイノベーション創出拠点を形成するとともに、イノベーションに繋げるための研究開発システム、新しい産学連携モデルの構築を目的としています。

文部科学省が行っている「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

質の高い大学教育推進プログラム

各大学のポリシーの明確化とPDCAサイクルの確立など組織的運営により教育の質向上とともに、広く社会に情報提供を実施するものです。(特色ある大学教育支援プログラムと現代的教育ニーズ取組支援プログラムを発展的に統合)

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成22年度	医学部	リサーチマインドを育む医学教育体制の構築 —真理の探究心と実践能力を育成するプロジェクト—	医学部学生が、人類の幸福に貢献する高い志と倫理観を獲得し、真理を探究する心と、これを実践できる能力を入学早期から育める体系的・段階的なカリキュラムの構築を目指しています。この企画により、医学生が技術のみの習得に傾倒していくことなく、医療人に必要な基本的姿勢を十分に学び、将来の「科学立国」を担う学際的人材に育つことを目指しています。
平成20年度～平成22年度	工学部	学習等達成度記録簿による教育効果の測定 —電子ポートフォリオと入試データを併用した教育効果の評価—	ポートフォリオを用いた修学指導実績を背景に、(A) ポートフォリオを用いた面談による学習等達成度評価の実施、(B) 教育効果評価に適したポートフォリオ質問項目の改善、(C) この電子化された学習等達成度データベースに、さらに入学時の入試成績も加味した教育達成度の評価指標確立、の3つからなる取り組みを行います。

組織的な大学院教育改革推進プログラム

社会の様々な分野で幅広く活躍する高度な人材養成のため、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成22年度	文学研究科	歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画	専門分野に深い学識を有し、かつ幅広い対象資料に通じていて、世界各国の学芸員と対等な活動ができる、高度な資質の学芸員を養成します。
平成20年度～平成22年度	情報科学研究科	情報リテラシー教育専門職養成プログラム—情報倫理・モラルが問われる時代のための情報教育デザイン—	今日の「情報教育」の重要性に鑑み、時代の課題を的確に判断し解決する情報教育デザインを創造・開発し、職能的高度専門職を養成することにより、最先端の情報教育を担当できる人材を幅広く養成します。
平成19年度～平成21年度	教育学研究科	実践指向型教育専門職の養成プログラム	学校教育の質的改善・高度化に貢献する教育実践力を備えた専門人材を組織的に養成し、また、教育設計評価専攻を中心として、教育学研究科及び東北大学全体の支援を受け、理論と実践とを融合した教育研究プログラムを展開し、高度職業人と研究者の養成を行います。
平成19年度～平成21年度	理学研究科	理学の実践と応用を志す先端的科学者の養成	国際的に通用する深い専門性を持った先端理学若手研究者を養成するこれまでの理学研究科の大学院教育を基本にしつつ、新たな学問分野や急速な技術革新に対応できる幅広い実践力と応用力を持った「理学の実践と応用を志す先端的科学者」(フロンティア・サイエンティスト)を養成します。
平成19年度～平成21年度	医学系研究科	多層のかつ双方向的な大学院医学教育実質化—指導的フィジシャンサイエンティスト養成ルネサンス計画—	「複数教員指導制」の実質化を徹底し、博士(医学)の学位を目指す研究活動の中で自立性・協調性の涵養を図り、また、知識と経験の両面から国際性と学際性を育み、国際的に通用する「指導的フィジシャンサイエンティスト」の育成を目指します。
平成19年度～平成21年度	工学研究科	機械工学フロンティア創成—フライト、ロボティクス、ナノを基盤としたシステム統合イノベーション—	従来型の「研究力重視」の教育方針に加え、社会において即戦力となりうる「実現力重視」へと教育方針を拡大し、鍛え抜かれた優れた人材を国際社会・産業界・学術機関のフロンティアへ送り出すことを目指し、機械工学の各分野を包括した分野融合と、評価基準の多様化を軸とした新しい体系的な大学院教育を実施します。
平成19年度～平成21年度	工学研究科	メディカルバイオエレクトロニクス教育拠点	電気系の大学院学生がバイオに加えて医学の知識を体系的に学ぶことにより、エレクトロニクス技術のバイオ応用及びメディカル応用という、21世紀の人類の福祉にとって重要な学際分野を開拓する能力を身につけさせます。
平成19年度～平成21年度	環境科学研究科	環境フロンティア国際プログラム—国際実務研修を通じた文理融合高度教育—	環境科学研究科と経済学研究科との連携によって、経済システムに関する知識と、理系の環境技術に関する知識とを合わせ持った人材(環境フロンティア)を養成します。

大学病院連携型高度医療人養成推進事業

国公立大学病院から申請されたプログラムの中から、質の高い専門医及び臨床研究者を養成し得る内容を有するプログラムに対し財政支援を行うことにより、大学病院及び地域医療の活性化を促進し、将来の医療を担う医師養成の推進を図っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～平成24年度	病院	東北高度医療人キャリアパス支援システム (ハブ連結型大学病院間連携専門医養成プラン)	東北地域において高度な専門医を効率よく養成するシステムを構築するとともに、各大学病院の医師キャリアパス支援センターを中心とし、医学生から初期研修医、専門研修医、大学院教育まで、一貫した医師の生涯キャリアパス支援体制を整備します。

### がんプロフェッショナル養成プラン

がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんに特化した医療人養成の取組を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成23年度	医学系研究科	東北がんプロフェッショナル養成プラン	がん対策の一層の充実を図るため、がん専門医療者を目指す若い人材を育成し、専門資格取得のために必要な学識・技能習得と学際的かつ総合的な臨床研究推進能力を高める大学・地域一体の包括的教育プログラムです。

### 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

産業界、学協会、職能団体及び地方公共団体等との連携に基づいた教育方法等の充実に資する先導的な取組について、高度専門職業人養成等の一層の強化を図ることを目的に支援するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成21年度	経済学研究科	会計大学院におけるコア・カリキュラム－3大会計大学院におけるコア・カリキュラムとその実施枠組みの形成－	コア・カリキュラムとその実施枠組みを形成し、その後のコア・カリキュラムに基づいた授業の実践を目指します。このことにより、現在、資格試験と「点」で結びついている教育から体系的な教育プロセスとしての「線」に基づいた会計専門職業人材の育成教育に移行します。

### 産学連携による実践型人材育成事業（長期インターンシップ・プログラム開発）

産学が人材の育成・活用に関して建設的に協力しあう体制を構築することにより、社会の抱える諸問題や産業界の取組を理解し、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を育成する、これまでにない新たなコンセプトのインターンシップの開発を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成17年度～ 平成21年度	工学研究科	環境に優しい鉄鋼材料創出教育プログラム	「環境にやさしい鉄鋼材料：グリーンスチール」を実現していく研究実践の場として、鉄鋼企業へ学生を派遣し、社会に有益な新たな技術体系や領域、あるいは価値観を提案・創出していく能力を育成します。

### 産学連携による実践型人材育成事業（サービス・イノベーション人材育成）

サービスに関する学際的・分野横断的な学問体系を構築することにより、サービスに関して高い専門性を持った人材を育成し、今後のサービス産業の生産性、国際競争力の向上に資する人材を育成する教育拠点を支援します。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成19年度～ 平成21年度	経済学研究科	サービス・イノベーション・マネージャーの育成－サービス・セクターの生産性管理のための人材育成－	サービス・セクター従事者の生産性を正しく評価し、サービス・セクターにおいて新たな生産性を創造し、クオリティを管理できる人材（サービス・イノベーション・マネージャー）を育成します。

### 理数学生応援プロジェクト

将来有為な科学技術関係人材を育成するため、理系学部を置く大学において、理数分野に関して強い学習意欲を持つ学生の意欲・能力をさらに伸ばすことに重点を置いた取組を文部科学省が大学に委託するものです。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成20年度～ 平成23年度	理学部	先端的数学・物理学の英才教育プロジェクト	数理に突出した素養を早期に引き出し、大学院における研究への橋渡しとすることを目的として、「数学」および「物理学」に特化した少人数の英才教育を行います。

本学でも独自に以下の取組を行っています。

### 特色ある教育への取組

実践的英語能力をさらに高めることを目的に、学部学生及び大学院学生を対象とした課外授業を実施しています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内容
平成17年度～	高等教育開発推進センター	プラクティカル・イングリッシュコース	ネイティブスピーカーを講師とし、ディスカッションやプレゼンテーションを中心に実践の場で必要とされる英語能力取得を目指します。

## 寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」(大学院研究科・専攻に置く場合)又は「寄附研究部門」(附置研究所などに置く場合)を設置し、運営する制度です。

(平成21年5月1日現在)

### 寄附講座

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成21年度	工学研究科	環境機能利用工学(三菱マテリアル)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	工学研究科	先端電力工学(東北電力)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	視覚先端医療学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	創薬科学(持田製薬)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	理学研究科	分子変換学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度	薬学研究科	地域薬局学(オオノひかり薬局)	平成21年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成21年度(継続)	情報科学研究科	先端情報共有技術論(KDDI)	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	医学系研究科	血液病理学	平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成21年度	医学系研究科	中心血圧研究	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	臨床微生物解析治療学	平成21年 2月16日～平成24年 1月31日
平成20年度(継続)	医学系研究科	高齢者高次脳医学	平成20年11月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度	農学研究科	家畜福祉学(イシイ)	平成20年10月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	薬学研究科	医薬開発構想	平成20年 4月 1日～平成25年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	先進感染症予防学	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度	医学系研究科	ナノ医科学	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度	環境科学研究科	エネルギー・セキュリティ学(JAPEX)	平成20年 4月 1日～平成23年 9月30日
平成20年度	環境科学研究科	環境物質制御学(DOWAホールディングス)	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	工学研究科	コンピュータリアル計算化学	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度	歯学研究科	口腔ケア推進開発	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	歯学研究科	歯科医薬品創生学	平成20年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成20年度	経済学研究科	地域経済金融論(七十七銀行)	平成20年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成19年度	医学系研究科	循環器EBM開発学	平成19年10月 1日～平成24年 9月30日
平成19年度	医学系研究科	多発性硬化症治療学	平成19年 5月 1日～平成22年 4月30日
平成19年度	工学研究科	先端応用量子光学	平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成18年度(継続)	医学系研究科	先進漢方治療医学(ツムラ)	平成18年10月 1日～平成21年 9月30日
平成18年度	医学系研究科	循環器先端医療開発学	平成18年10月 1日～平成21年 9月30日
平成18年度(継続)	医学系研究科	先端再生生命科学(江東微生物研究所)	平成18年 6月 1日～平成21年 5月31日
平成17年度	医学系研究科	腎不全対策研究(アステラス製薬)	平成17年 4月 1日～平成22年 3月31日

### 寄附研究部門

設置年度	部局名	名称	設置期間
平成21年度	工学研究科	抗認知症機能性食品開発	平成21年 4月 1日～平成26年 3月31日
平成21年度	工学研究科	エネルギー材料環境強度学	平成21年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成21年度(継続)	学際科学国際高等研究センター	窒化物半導体デバイス基礎技術	平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成21年度(更新)	多元物質科学研究所	有機ナノ結晶科学技術	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成21年度	加齢医学研究所	加齢ゲノム制御プロテオーム(DNA修復)	平成21年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度	未来医学治療開発センター	未来医療モデル開発	平成20年 8月 1日～平成23年 7月31日
平成20年度	未来医学治療開発センター	ニューロ・イメージング研究(住友電気工業)	平成20年 5月 1日～平成23年 4月30日
平成20年度	工学研究科	高速鉄道システムの保全技術高度化と信頼性評価研究(JR東日本)	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	未来科学技術共同研究センター	未来量子生命反応工学創製	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度(継続)	未来科学技術共同研究センター	未来情報産業創製	平成20年 4月 1日～平成24年 3月31日
平成20年度	加齢医学研究所	認知機能発達(公文教育研究会)	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成20年度	流体科学研究所	衝撃波学際応用	平成20年 4月 1日～平成23年 3月31日
平成19年度	多元物質科学研究所	窒化物結晶	平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成19年度(継続)	工学研究科	電力エネルギー未来技術(東北電力)	平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成19年度(継続)	金属材料研究所	ナノ金属高温材料学	平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日
平成19年度	加齢医学研究所	抗感染症薬開発	平成19年 4月 1日～平成22年 3月31日

### 産学官連携ポリシー

東北大学は、建学以来、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、世界トップレベルの研究・教育を創造してきました。また、研究成果は社会の直面する諸課題の解決に応えるとともに、社会の指導的人材を育成することで、人類社会の平和と繁栄に貢献してきました。東北大学は100年の歴史の中で継承してきた知の蓄積と、次の100年に向けて、絶えざる研究・教育の創造を通じ、人類社会に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」を目指しています。

また、東北大学は「世界と地域に開かれた大学」の方針の下、大学の人的・知的資源及び総合力と地域や国際社会との連携により、人類社会全体の発展に貢献します。その一つであります産学官連携は、教育・研究に次ぐ大学の第3の使命である社会貢献の中核を成し、知の成果の社会還元を果たす要素として重要であり、大学として、以下の産学官連携ポリシーに基づき、積極的に取り組みます。

1. 建学以来の「実学尊重」の伝統と実践を礎に、学術成果を広く社会に還元すべく、産業界への技術移転を推進し、本学における教育と研究の社会的付加価値を高めます。
2. 国際的な産学官連携においては、技術移転や共同研究等に止まらず、世界をリードする技術革新を導く研究を推進します。
3. 地域が抱える諸課題の解決に向けた持続的な産学官連携を進め、地域イノベーションの原動力となることを目指し、我が国の経済・社会の発展に貢献します。
4. 大学に産学官連携を推進するための組織をおき、学内リソースの結集と国内外関係機関との連携により、国際的な視点に立って産学官連携活動を進めます。
5. 産学官連携を推進するにあたり、透明性を確保し、国内外の法令や国際間の条約等を遵守するなどの社会的説明責任を果たすことを基本とします。

産学連携

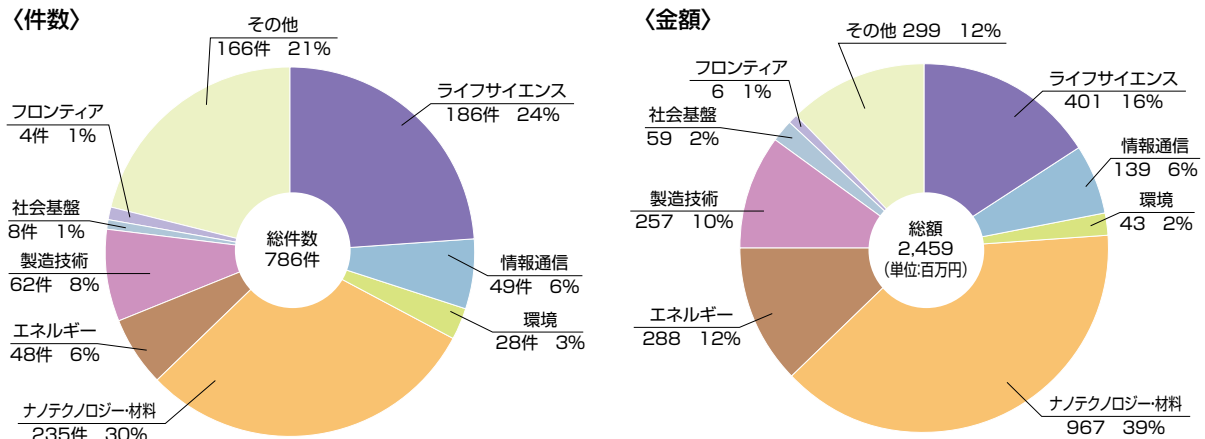
民間等との共同研究実施状況の推移

年度	受入件数 (件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	284	1,129
平成16年度	392	1,675
平成17年度	479	1,827
平成18年度	519	2,028
平成19年度	698	2,086
平成20年度	786	2,459

受託研究の受入状況の推移

年度	受入件数 (件)	受入金額(単位:百万円)
平成15年度	373	3,450
平成16年度	456	6,149
平成17年度	483	7,358
平成18年度	591	7,927
平成19年度	554	9,101
平成20年度	596	9,131

平成20年度 民間等との共同研究実施状況



※文部科学省産学連携等実施状況調査による区分

組織的連携

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

協定締結日	民間企業等名称	目的
平成18年 1月19日	日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究を目指す。
平成18年 2月21日	放射線医学総合研究所	PET(陽電子断層撮像法)を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年12月26日	河北新報	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成19年 1月31日	七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年 8月 3日	宇宙航空研究開発機構 (JAXA)	宇宙及び航空科学分野を中心に、生命科学など他分野を含めた共同研究や教育・人材育成を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成20年 7月28日	NTT	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構 (KEK)	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構 核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。

特色ある研究・教育・社会貢献活動

社会との連携協力

サイエンスカフェ

サイエンスカフェとは、高校生など一般の方々と科学者が、コーヒーカップを片手にサイエンスについて気軽に話し合い、社会の広い範囲の方達にサイエンスの楽しさに触れてもらう場です。

東北大学イノベーションフェア2008in 仙台

開催日	内容	開催地
平成20年 9月30日	ロボット、医工連携・ライフサイエンス、ナノテク・材料、情報通信、環境・エネルギー関連などの各分野における最先端技術及び若手研究者による萌芽的研究の紹介とプレゼンテーション	仙台国際センター



サイエンスカフェ

## 社会との連携協力

### 公開講座

(平成20年度)

区分	講座の名称	実施部局
部局主催	社会教育主事講習 教育指導者講座	教育学研究科
	実態論ベースの安全学に向けて 建築構造における荷重・応答・損傷制御 先進材料システムの加工プロセスと評価	工学研究科
	先端工学セミナー「極限表面制御半導体プロセス工学」 先端工学セミナー「極限知能デバイスシステム工学」 軽水炉高経年化対応セミナー	工学研究科
	異文化を見るまなざしー他者によるイメージと自己認識ー 地球環境システム学（地球システム学特論）	国際文化研究科
	環境資源科学 環境調和材料プロセス	環境科学研究科
	市民のため文学サロン HIV/AIDSを知る 口のしくみとその働き	文学研究科 医学系研究科 歯学研究科
	私たちの健康に欠かせない安全な食資源 環境と化学	農学研究科 環境科学研究科
	地球にやさしいエネルギーとエコ材料 ～太陽電池から水素まで～ 流れを科学する	金属材料研究所 流体科学研究所
	ナノの世界を見る 裁判員制度を考える	多元物質科学研究所 法学研究科
	脳が見る世界 コーチングの実践	医学系研究科 教育情報学教育部
学都仙台サテライト キャンパス	材料と社会 人間は機械であるー人工臓器の基礎と臨床	金属材料研究所 加齢医学研究所
	文学部で学ぶとはー宗教学を手がかりにー 社会の病気の治し方 不思議な生物現象の化学ー東北大理学部化学科の研究紹介ー 液晶ディスプレイの最先端の研究	文学研究科 公共政策大学院 理学研究科 工学研究科
	教育学の世界 数学の世界 医学・医療の世界	教育学研究科 理学研究科 医学系研究科
	体育学・スポーツ学の世界 裁判員制度の是非 大学で学ぶ経済学とは 最先端有機化学 ナノカーボンからみる科学	教育情報学教育部 法学研究科 経済学研究科 理学研究科
	体の中から治療するミクロのロボット～マイクロ・ナノテクノロジーを用いた低侵襲検査・治療機器の開発～ 電波を有効に使う工夫	工学研究科
	自発と自重の中国思想 ドイツ・ナチス期の刑法思想 グローバル競争の中の日本企業 ニュートリノ最前線ー自然の謎を解く鍵	文学研究科 法学研究科 経済学研究科 理学研究科
	東北大学工学部で何をやって、将来何になるのか？ 電磁波のしくみとエネルギー ～暮らしと産業を支え、未知の世界に迫る 原子から脳まで：レントゲンを越えたPET、人の命を守る放射線	工学研究科
	海洋生物資源の研究最前線 脊椎動物の進化と発生の関係 ～あなたの背中に肢は生えるか？ 人間は機械である	農学研究科 生命科学研究所 加齢医学研究所
	不整地環境を走行する移動ロボットの現状と将来 人工知能研究とロボット制御への応用	佐沼高校会場 工学研究科
	高校生のための 公開講座	大学で学ぶ経済学とは 分子レベルで見た肌や髪の毛が黒くなる仕組み 証券市場と会計情報 不揮発性ロジック集積回路
低温のミステリー ～超伝導って何？～ 生物の設計図であるDNAとは 心理学入門 ～心の謎をいかに探るか？ 肥満や動脈硬化を予防する機能性食品は本当に有効なのか？		向山高校 工学研究科 生命科学研究所 第二女子高校 文学研究科 農学研究科
科学と非科学のあいだ レアメタルの常識・非常識 企業会計のしくみと粉飾決算 ソフトウェアの科学		角田高校 文学研究科 環境科学研究科 石巻高校 経済学研究科 情報科学研究科
精神史の沃野へー文学部で学ぶ。宗教学を学ぶ 学習心理学のとりくみ 権力分立の限界ー水俣病事件の教訓 民主政治における投票・選挙 非営利組織 NPOの経営		文学研究科 教育学研究科 法学研究科 経済学研究科
素粒子から宇宙まで：物理学研究の最前線 地球の寒冷化と温暖化 医学を志す人へ 眼科治療の最前線 くすりをはかる		理学研究科 仙台二高 医学系研究科 薬学研究科
情報・知能：ロボットとの対話 建物を地震から守る耐震設計 航空機の力学 クリーンエネルギー 水素が材料にもたらす新機能 植物ウィルスの科学		工学研究科
納豆からMRSAまで ～食品と健康に関わる細菌とバクテリオファージ		農学研究科



## ■ 東北大学校友会

東北大学校友会は、創立100周年を迎えた2007年に次の100年の大学づくりの礎として発足しました。校友会は14万人に及ぶ卒業生に加えて、約1万8千人の在校生、約6千人の教職員、そして在校生の家族等を会員とし、会員相互の親睦と交流、発展に資するとともに大学と会員とのコミュニケーションを密にして「東北大学コミュニティ」の連帯意識の醸成、強化などを目指していきます。

### 東北大学関係者が一体となる「東北大学コミュニティ」の形成

東北大学関係者が親睦・交流を図るイベントとして、第2回東北大学ホームカミングデー、関西交流会等を開催しました。

#### 第2回東北大学ホームカミングデー

平成20年10月10日（金） 会場：百周年記念会館（川内萩ホール）

18：30～21：00 百周年記念会館完成記念コンサート

平成20年10月11日（土） 会場：百周年記念会館（川内萩ホール）・川内北キャンパス（講義棟）

10：00～10：30 校友会第1回総会

10：30～12：00 百周年記念会館完成記念式典

12：50～16：00 シンポジウム「地域と自動車産業」

12：00～18：30 2008年在校生と卒業生との親睦会

～先輩の話を聞こう@川内北キャンパス～

平成20年10月12日（日） 会場：百周年記念会館（川内萩ホール）

10：00～16：30 学友会文化部による秋の文化フェスティバル



完成記念コンサート



シンポジウム「地域と自動車産業」



在校生と卒業生との親睦会



秋の文化フェスティバル

#### 関西交流会

平成21年2月21日（土） 会場：ウェルシティ大阪（大阪厚生年金会館）

14：00～16：30 講演会

17：00～18：30 サイエンスカフェ

17：00～19：00 全学同窓会関西支部総会・懇親会



講演会



サイエンスカフェ



全学同窓会関西支部総会・懇親会

## ■ 東北大学百周年記念会館（川内萩ホール）

創立100周年記念事業の一つとして、創立50周年を記念して建造された東北大学記念講堂と松下会館を改修・整備し、平成20年8月に東北大学百周年記念会館（川内萩ホール）が誕生しました。

外観は、50年前の原形を変えずにできるだけ保存・修復し、内部は、世界水準の音響条件と最新の学術会議機能を備えた1,235席のアカデミックホールとして生まれ変わっています。ロビーには、本学の研究成果や資料が展示できる展示ギャラリーを設け、また、松下会館の部分は、卒業生、在校生、教職員、市民の方々が情報交換・交流の場として使用できるようにファカルティクラブと会議室に改修しました。

同館は、国際学術会議等の学術活動、コンサートホールや講演会等の文化活動の場として、本学の文化創造・発信の拠点として活用していくとともに、市民の方々にも広く開放し、この会館で開催される様々な活動を通して、学都仙台の基盤づくりに貢献していきます。

### ◇施設概要

敷地面積：57,139㎡ 建築面積：2,627㎡ 延床面積：5,910㎡  
 構造規模：SRC造・一部S造、地下1階・地上5階  
 諸室概要：アカデミックホール(1,235席)、  
 展示ギャラリー、ファカルティクラブ、会議室3室 など

### ◇名称

名称については、公募等により広く学内外から集まった名称案を踏まえて、100周年記念建造物名称検討委員会で以下の名称を立案し、平成20年6月17日の部局長連絡会議で了承されました。

正式名称：(和文表記) 東北大学百周年記念会館  
 (英文表記) TOHOKU UNIVERSITY CENTENNIAL HALL  
 愛称：(和文表記) 川内萩ホール  
 (英文表記) KAWAUCHI HAGI HALL



東北大学百周年記念会館（外観）



川内萩ホール



会議室



ファカルティクラブ

### 東北大学ジルベスターコンサート

川内萩ホールを会場として、新年へカウントダウンするスペシャルコンサート「東北大学ジルベスターコンサート」を開催いたしました。仙台初となる大晦日のコンサートに約1,200名の方々が豊穡な名曲の調べを堪能されました。

平成20年12月31日（水）

〈プログラム〉

喜歌劇「天国と地獄」序曲	オッフェンバック作曲	仙台フィルハーモニー管弦楽団
歌劇「ジャンニ・スキッキ」より『私のお父さん』	ブッチーニ作曲	田村麻子（ソプラノ）
歌劇「椿姫」より『ああそは彼の人か〜花から花へ』	ヴェルディ作曲	田村麻子（ソプラノ）
歌劇「トスカ」より『星は光りぬ』	ブッチーニ作曲	中鉢 聡（テノール）
歌劇「トゥーランドット」より『誰も寝てはならぬ』	ブッチーニ作曲	中鉢 聡（テノール）
ラブソフィー・イン・ブルー	ガーシュイン作曲	山下洋輔（ピアノ）、仙台フィルハーモニー管弦楽団
歌劇「カルメン」より『母のたよりを聞かせてよ』	ビゼー作曲	田村麻子（ソプラノ）、中鉢 聡（テノール）
歌劇「椿姫」より『乾杯の歌』	ヴェルディ作曲	田村麻子（ソプラノ）、中鉢 聡（テノール）
ボレロ	ラヴェル作曲	仙台フィルハーモニー管弦楽団





國際交流

大学間協定

26ヶ国・地域 134機関

ドイツ

- \*アーヘン工科大学 (1998. 5.19)
- \*ドルトムント大学 (1999. 3. 2)
- \*ザールラント大学 (1999.10. 5)
- \*ダルムシュタット工科大学 (2003. 4.30)
- \*ゲッティンゲン大学 (2003.10.23)
- \*ドレスデン工科大学 (2006. 6.26)

ベルギー

- ベルギー原子力研究センター (2005. 6.16)

イギリス

- ロンドン大学"The London School of Economics and Political Science" (1989. 1. 3)
- ロンドン大学"The School of Oriental and African Studies" (1989. 4.10)
- ロンドン大学"Imperial College London" (1998. 5. 4)
- \*ノッチンガム大学 (2001. 5.15)
- ヨーク大学 (2004. 6. 7)

フランス

- \*ピエール・マリー・キュリー大学 (1999. 8.19)
- \*レンヌ第2大学 (1999.12. 3)
- \*グルノーブルコンソーシアム及び  
ストラスブールコンソーシアム (2000. 3.31)
- グルノーブル第1大学ジョセフ・フーリエ
- グルノーブル第2大学ピエール・マンデス・フランス
- グルノーブル第3大学スタンダール
- グルノーブル理工科大学 (INPG)
- ストラスブール第1大学ルイ・パスツール
- ストラスブール第2大学マルク・ブロッホ
- ストラスブール第3大学ロベール・シュマン
- \*レンヌ第1大学 (2000.12.20)
- \*The Global Education for European Engineers and Entrepreneurs (GE4) (2002.11.14)
- \*国立応用科学院リヨン校 (2004. 7.13)
- \*ボルドー第1大学 (2005. 7.28)
- \*国立中央理工科学校  
(Ecole Centrale)5校 (2006. 2.13)
- リール校
- リヨン校
- マルセイユ校
- ナント校
- パリ校
- \*アルピ鉱山大学 (2006. 9.12)
- \*リヨン政治学院 (2008. 6. 6)
- \*リヨン高等師範学校 (2008. 8. 11)

スイス

- \*ローザンヌ工科大学 (2000.11.20)

イタリア

- ローマ大学「ラ・サピエンツァ」 (1990. 9.27)

モロッコ

- \*ムハンマド5世大学-アグダル (2001. 4.30)

ウクライナ

- \*ウクライナ国立工業大学(キエフ工科大学) (2004. 6. 2)

イラン

- \*テヘラン大学 (1999. 8.25)

インド

- \*インド工科大学ボンベイ校 (2000. 8.21)
- \*インド科学大学 (2008. 12.8)

スウェーデン

- \*ウーメオ大学 (1997. 8.18)
- \*王立工科大学 (2000. 9.20)
- \*ウプサラ大学 (2002. 3.20)
- \*ストックホルム大学 (2003. 1.14)
- \*チャルマース工科大学 (2006. 4.19)

フィンランド

- \*ヘルシンキ工科大学 (2001.11. 5)
- \*オウル大学 (2004. 8. 9)
- \*タンペレ工科大学 (2006. 1.31)



タイ

- \*アジア工科大学院 (1998.11. 9)
- \*スラナリー工科大学 (2001. 3. 1)
- \*キングモンクット工科大学  
ラカバン校 (2004. 4.15)

シンガポール

- \*シンガポール国立大学 (2000. 9.16)

インドネシア

- \*インドネシア大学 (2004. 3.19)
- \*ガジャマダ大学 (2006.12.16)
- \*バンドン工科大学 (2008. 6. 4)

ニュージーランド

- \*オークランド大学 (2002.11.15)

(平成21年5月現在)

**ポーランド**

ポーランド科学アカデミー触媒表面化学研究所 (1999. 8. 4)

**モンゴル**

- \*モンゴル科学アカデミー (2000. 8.21)
- \*モンゴル科学技術大学 (2001.11.16)

**ロシア**

- ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (1992. 8.10)
- \*モスクワ国立大学 (1998. 2.19)
- \*ノボシビルスク国立大学 (2003. 7. 4)

**カナダ**

- \*ウォータールー大学 (2006.10.30)

**アメリカ**

- \*ペンシルバニア州立大学 (1988.11.29)
- \*カリフォルニア大学 (1990. 3.15)
  - バークレー校
  - デイビス校
  - アーヴィン校
  - ロサンゼルス校
  - リバーサイド校
  - サンディエゴ校
  - サンタバーバラ校
  - サンフランシスコ校
  - サンタクルス校
  - マーセド校
- \*ワシントン大学(シアトル) (1996. 7. 3)
- \*バーデュー大学 (1997. 9.23)
- \*アラスカ大学 (1999. 1.12)
- \*コロラド鉱山大学 (2004. 1. 7)
- \*シラキュース大学 (2008. 11. 19)
- \*国際教育協会 (2009. 1. 27)

**中国**

- \*東北大学(瀋陽) (1983. 8. 5)
- \*中国科学技術大学 (1998. 6.15)
- \*清華大学 (1998. 8.31)
- \*南京大学 (1999. 9. 1)
  - 北京大学 (1999.11.10)
- \*吉林大学 (2001. 3. 1)
- \*浙江大學 (2001. 4. 9)
- \*復旦大学 (2001. 4.19)
- \*武漢理工大学 (2001. 4.30)
- \*重慶大学 (2001. 7. 4)
- \*同濟大学 (2002. 8.13)
- \*中国海洋大学 (旧：青島海洋大学) (2002.10.21)
- \*北京科技大学 (2002.10.25)
- \*南京航空航天大学 (2003. 3.10)
- \*陝西科技大学 (2004. 5.30)
- \*青島科技大学 (2004. 7. 7)
- \*廈門大学 (2005. 6.29)
- \*華中科技大学 (2005.10.12)
- \*西安交通大学 (2006. 8.31)
- \*華東師範大学 (2006. 9.20)
- \*北京航空航天大学 (2006.12.16)
- \*蘭州大学 (2007. 4.17)
- \*天津大学 (2007. 6. 8)
- \*大連理工大学 (2007. 6.16)
- \*揚州大学 (2008. 6.20)
- \*中国社会科学院 (2008. 10.15)

**韓国**

- \*全北大学校 (1991.11.12)
- \*ソウル大学校 (1998. 7. 8)
- \*光州科学技術院 (2000. 8.21)
- \*釜慶大学校 (2000. 8.21)
- \*浦項工科大学校 (2000. 9.22)
- \*韓国科学技術院 (2001. 4.24)
- \*忠南大学校 (2001. 7. 9)
- \*慶北大学校 (2002. 9. 2)
- \*嶺南大学校 (2003.12. 3)
- \*東義大学校 (2003.12.19)
- \*朝鮮大学校 (2004. 3.18)
- \*高麗大学校 (2004. 3.31)
- \*国立昌原大学校 (2005.10. 2)
- \*西江大学校 (2007. 2.2)
- \*延世大学校 (2007. 5.29)
- \*釜山大学校 (2007. 7.26)
- \*公州国立大学校 (2007. 7.29)
- \*中央大学校 (2008. 3.27)

**ベネズエラ**

- \*シモン・ボリバル大学 (2008. 1. 8)

**台湾**

- \*国立台湾大学 (2000.11.18)
- 国立台湾海洋大学 (2002. 3. 8)
- \*国立中正大学 (2003.11.14)
- \*国立成功大学 (2005. 8. 9)
- \*国立交通大学 (2005.12.15)
- \*国立中興大学 (2009. 3. 30)

**オーストラリア**

- \*シドニー大学 (1993. 1. 8)
- \*ニューサウスウェールズ大学 (2001. 4. 7)
- \*オーストラリア国立大学 (2002. 7.16)



注1) \*印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。  
 注2) 協定大学名の後の括弧は協定締結年月日。

# 学術交流協定締結等

## 部局間協定

41ヶ国・地域 307機関

部局名	エリア	国・地域名	協定校名	
文学研究科・文学部 (5)	アジア	インドネシア	インドネシア大学大学院学部	
		台湾	国立中山大学文学院中国文学系 中央研究院歴史語言研究所 天主教輔仁大学外語学院	
教育学研究科・教育学部 (6)	オセアニア	オーストラリア	オーストラリア国立大学アジア研究学部	
	アジア	韓国	明知大学校社会教育大学院 延世大学校社会教育科学大学	
		台湾	台東大学師範学院	
		中国	北京大学日本研究センター	
ヨーロッパ	イギリス	ロンドン大学インスティテュート・オブ・エデュケーション ヨーク大学教育学部		
法学研究科・法学部 (7)	アジア	韓国	国民大学校社会科学大学	
		中国	中国社会科学院法学研究所	
	中南米	ブラジル	リオ・グランジ・ド・スル州立大学法学部及び法学修士課程	
	ヨーロッパ	イタリア	ミラノ大学法学部	
		ドイツ	ゲッチンゲン大学法学部 ハイデルベルク大学法学部	
	ポーランド	マリア・キュリー・スクロドツカ大学法学部		
経済学研究科・経済学部 (9)	アジア	タイ	泰日工業大学	
		台湾	東呉大学商学院	
		中国	復旦大学日本研究中心 中国社会科学院日本研究所 中国人民大学商学院 東北財経大会計学院	
		ヨーロッパ	イギリス	レスター大学社会科学部
			ドイツ	ミュンヘン社会科学研究所
		フランス	レンヌ第一大学レンヌ経営研究所	
	ヨーロッパ	インドネシア	ディボネゴロ大学水産・海洋科学部	
		タイ	スラナリー工科大学大学院加速物理学研究科 チュラロンコーン大学理学部	
		ベトナム	ベトナム国立大学ハノイ校ハノイ科学大学	
		韓国	韓国水産研究振興院 韓国国立公州大学大学院 成均館大学自然科学部	
		台湾	中央研究院地球科学研究所	
		中国	聖南大学生命科学・工学部 中国科学院南海海洋研究所 中国・蘭州大学理学系研究科 上海有機化学研究所・中国科学院 中国中山大学環境科学・工程院 大連理工大化学工学院	
オセアニア	オーストラリア	メルボルン大学理学部		
ニュージーランド	ニュージーランド地質・核科学研究所			
北米	アメリカ	アラスカ大学フェアバンクス校		
		イリノイ大学シカゴ校		
	カーネギー研究機構地球物理学研究所			
	サセックス大学化学、物理及び環境科学部			
	ユトレヒト大学生物学部			
	デンマーク	コペンハーゲン大学		
	ドイツ	ゲッチンゲン大学化学研究科		
		ハイデルベルク大学化学研究科		
	フランス	フランス高等師範学校リヨン校		
	ベルギー	ルーバンカトリック大学理学研究科		
ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部自動制御処理研究所 ロシア科学アカデミー極東支部・V.I. Il'ichev 太平洋海洋研究所 ロシア科学アカデミーシベリア支部ソレフ地質学鉱物学研究所			
サンラザロ病院				
医学系研究科・医学部 (14)	アジア	フィリピン	サンラザロ病院	
		韓国	又松(ウソン) 大学校保健福祉大学	
		中国	中国医科大学 浙江医科大学 上海第二医科大学 湖北医学院 衛生部北京医院 ハルビン医科大学	
		オセアニア	クイーンズランド工科大学衛生保健学部看護学科	
		北米	アメリカ	ワシントン大学医学部
			カナダ	カルガリー大学医学部 トロント大学医学部 オタワ大学医学部
	ヨーロッパ	ハンガリー	デブレツェン大学医学部	
	アジア	韓国	全南大学校歯科大学	
		中国	四川大学華西口腔医学院	
		アメリカ	フォーサイス研究所	
カナダ		ブリティッシュコロンビア大学歯学部		
ヨーロッパ	イギリス	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート		
	スウェーデン	ウーメオ大学歯学部		
	フィンランド	オウル大学歯学部		

(平成21年5月現在)

部局名	エリア	国・地域名	協定校名			
薬学研究科・薬学部 (3)	アジア	韓国	成均館大薬学大学 忠北大薬学大学			
	ヨーロッパ	イタリア	ミラノ大学薬学部			
工学研究科・工学部 (61)	アジア	インド	ブネ国立化学研究所			
		インドネシア	バンドン工科大学 インドネシア科学院 セプル・ノーベンパー工科大学			
	タイ	ソクラー大工学部 タマサート大学シリントーン国際工学部 泰日工業大学 キングモンクット工科大学トンブリ校工学部				
	フィリピン	ミンダナオ州立大学イリガン工科大				
	ベトナム	水資源大学 ベトナム科学技術アカデミー材料科学研究所 ハノイ工科大学				
	韓国	全北大工科大学 釜慶大(旧:釜山水産大) ソウル大工科大学 慶北大工科大学 延世大工科大学 嶺南大工科大学 忠南大工科大学 漢陽大工科大学及び大大学院 全南大工科大学				
	台湾	国立彰化師範大大学院				
	中国	東北大(旧:東北工学院) 浙江大学工学系 重慶大工学院 ハルビン工業大 西安電子科技大 大連理工大研究生院 西北有色金属研究院 中国科学院化学研究所				
	中近東	イラン	シラス大工学部			
	オセアニア	オーストラリア	グリフィス大工学・情報学部			
	北米	アメリカ	イリノイ大工学部・バイオアクステクス研究所 ワシントン大工学部 国際教育協会 イリノイ工科大学 ジョージア工科大学工学部 ワイオミング大工学部			
			カナダ	ウォータールー大工学部		
	中南米	メキシコ	メキシコ国立工科大学			
		チリ	アタカマ大 コンセプシオン大			
	ヨーロッパ	イギリス	マンチェスター大物理工学部機械・航空・土木工学科			
			スイス	ローザンヌ工科大学		
			スウェーデン	王立工科大学 リンショーピン大工学部 チャルマース工科大学		
		スロベニア	リュブリャナ大工学系4学部			
		チェコ	VSB - オストラバ工科大学			
		デンマーク	デンマーク工科大学			
		ドイツ	アーヘン工科大学機械工学部、鉱山冶金・地球科学部 ハンブルグ・ハールブルグ工科大学 フライブルグ大マイクロシステム技術研究所 エルランゲン大工学部			
			フランス	メッス大 IFMA 大工学部 国立応用科学院トゥールーズ校 国立ボルドー高等電気情報通信大 国立モンペリエ高等建築大 トロイ工科大学		
			ロシア	ロシア科学アカデミー マイクロ電子工学・高純度物質研究所		
		農学研究科・農学部 (13)	アジア	タイ	カセサート大理学部 カセサート大農学部 カセサート大水産学部	
				韓国	済州大農科大学	
				台湾	台北医学大公衆衛生栄養学院	
				中国	中国海洋大(旧:青島海洋大水産学院) 上海水産大 揚州大動物科学技術学院 中国科学院上海有機化学研究所	
				ヨーロッパ	イタリア	ラキュラ大実験医学部
				スウェーデン	スウェーデン農科大学農業・景観計画・園芸学部及び獣医学部	
				スペイン	ピゴ大理学部	
			ハンガリー	セントイストヴァン大農学部及び食品学部(旧:ハンガリー農科・食品工科大学)		

# 学術交流協定締結等

## 部局間協定

部局名	エリア	国・地域名	協定校名		
国際文化研究科 (3)	ヨーロッパ	ウズベキスタン	タシケント国立経済大学		
		フランス	レンヌ第二大学多言語学部		
		キルギス	キルギスタン国際大学		
情報科学研究科 (9)	アジア	タイ	タマサート大学シリントーン国際工学部		
		台湾	国立台北大学社会科学学院 国立台北大学公共政策学院 開南大学資訊学院		
		中国	北京郵電大学情報通信工程学院 中国人民大学公共管理学院		
	ヨーロッパ	イタリア	ローマ大学トアヴェルガータ校ヴォルテラ・センター バジリカータ大学工学部		
		ポーランド	ヴロツワフ大学数学研究所		
		タイ	スラナリー工科大学農業工学研究所バイオテクノロジー研究科		
		韓国	順天大学校農業生命科学大学		
生命科学研究科 (4)	アジア	韓国	ユトレヒト大学生物学部		
	ヨーロッパ	チェコ	マサリク大学理学部		
環境科学研究科 (4)	アジア	インドネシア	バンドン工科大学		
	ヨーロッパ	韓国	韓国生産技術研究院光州研究センター		
教育情報学研究部 (1)	アジア	ウズベキスタン	タシケント国立経済大学		
金属材料研究所 (45)	アジア	ドイツ	ライプニッツ応用地球化学研究所		
		タイ	チュラロンコーン大学教育学部		
		シンガポール	シンガポール生産技術研究所		
	韓国	韓国科学技術研究院 産業科学技術研究所 国立釜山大学校生産技術研究所 延世大学原子スケール表面研究所 漢陽大学校セラミックス工程研究センター 韓国科学技術院電子部品・材料設計人力教育センター 成均館大学校技術革新センター 仁荷大学工科大学 東義大学校電子セラミックス研究センター			
		国立昌原大学校基礎科学研究所 高麗大学校・工科大学・材料工学科 釜山大学校素材技術研究所 韓国国立海洋大学校工科大学			
		台湾	国立台湾大学工学院 財団法人工業技術研究院工業材料研究所		
		中国	中国科学院固体物理研究所 中国科学院物理研究所 武漢工業大学新材料研究所 清華大学近代物理研究所、応用物理系 香港科学技術大学 中国科学院金属研究所 中国科学院上海硅酸塩研究所 大連理工大学材料科学・工程学院 北京航空航天大学材料学院 天津大学材料学院		
			アフリカ	エジプト	アシウト大学
			北米	アメリカ	ペンシルバニア大学工学部 ハーバード大学理工学部 スタンフォード大学シボール先端材料科学研究所
				ヨーロッパ	イギリス
			イタリア	イタリア	ピサ大学物理学科
				スロベニア	ジョセフ・ステファン研究所
				ドイツ	ゲッチンゲン大学金属物理学研究所 マックス・プランク金属研究所 カールスルーエ研究所微細加工技術研究所
			フランス	フランス	ロレーヌ国立総合工科大学 サンティエニス鉱山大学材料構造センター リヨン1クラウドベルナル大学発光材料物理化学研究所 グルノーブル国立理工科大学熱力学物理化学冶金研究所
				ベルギー	ベルギー原子力研究所材料研究部
				ポーランド	ポーランド
		ロシア			ロシア科学アカデミー総合物理学研究所
		加齢医学研究所 (5)		アジア	中国
			北米	アメリカ	イリノイ大学工学部・バイオアクステクス研究所
			中南米	キューバ	キューバ・ニューロサイエンス・センター
			ヨーロッパ	ロシア	スモレンスクステートメディカルアカデミー
		流体科学研究科 (26)	アジア	チェコ	マサリク大学医学部
				シンガポール	シンガポール国立大学工学部 ナンヤン工科大学機械・生産工学部
	韓国			韓国高等科学技術院工学部 成均館大学校工学部	
	台湾		国立応用研究所・ナノデバイス研究所		
	中国		清華大学水利水電工程系 中国科学院理論物理研究所 中国科学院物理研究所 南京航空航天大学機電学院		



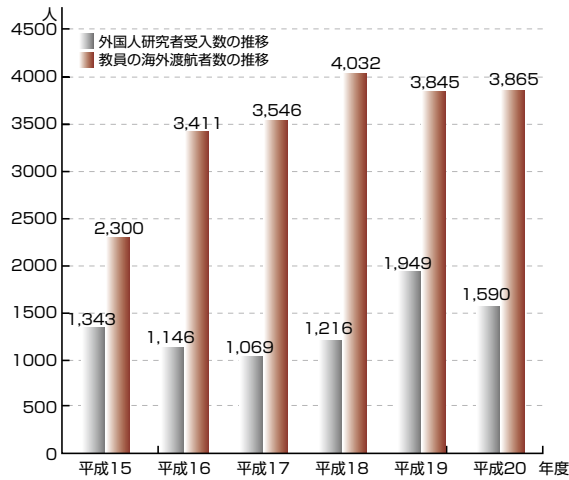
(平成21年5月現在)

部局名	エリア	国・地域名	協定校名		
流体科学研究所 (26)	オセアニア 北米	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学工学部		
		カナダ	トロント大学航空宇宙研究所		
		アメリカ	シラキュース大学工学部 ケンタッキー大学工学部 ライス大学工学部		
	ヨーロッパ	イギリス	クランフィールド工科大学航空学部		
		イタリア	トリエステ大学工学部		
		ギリシア	アテネ工科大学機械工学部		
		チェコ	チェコ科学アカデミープラズマ物理研究所		
		ドイツ	カールスルーエ大学流体力学研究所		
		ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー物理材料技術研究所 ブダペスト工科大学化学・生命工学部 センメルweis大学薬学部		
		フランス	国立応用科学院リヨン校		
		ルーマニア	ブカレスト工科大学電気工学部		
		ロシア	ロシア科学アカデミー理論及び応用力学研究所 モスクワ電力工学研究所 (工科大学) 電力機械工学部		
		電気通信研究所 (14)	アジア	タイ	チュラロンコーン大学理学部
				韓国	成均館大学校情報通信技術研究所 大邱大学校情報通信工学部
中国	ハルビン工業大学計算機科学工程系 深圳大学科研処 南京大学電子科学技術系 中国科学院半導体研究所				
北米	アメリカ			シカゴ大学ジェームス・フランク研究所	
ヨーロッパ	イギリス			ロンドン大学クイーンメアリー・ウェストフィールド カレッジ	
	オランダ			トウェンテ大学応用物理学部材料科学研究所	
ヨーロッパ	ドイツ		アイエイチピー(IHP-Innovations for High Performance microelectronics)		
	フランス		国立科学研究所固体材料ナノサイエンス研究センター		
	ポーランド		ポーランド科学アカデミー物理研究所		
	ロシア		ロシア科学アカデミー通信電子工学研究所		
	多元物質科学研究所 (25)		アジア	タイ	チェンマイ大学理学部
				韓国	韓南大学校ハイブリット材料研究所 成均館大学校情報通信新機能性素材及び工程研究センター
				中国	東北大学 (旧: 東北工学院) 北京大学ナノ科学技術研究センター 長春光学精密機械物理研究所 華僑大学材料科学工程学院 鄭州大学材料工程学院
				北米	アメリカ
カナダ		マギル大学金属プロセス研究センター トロント大学金属・材料科学科			
ヨーロッパ		イギリス		英国リサーチカウンシル中央研究機構ダースベリ研究所	
		イタリア	トリエステ放射光研究所		
		ウクライナ	材料科学基礎国立研究所		
		ドイツ	ベルリン自由大学物理学科 イエナ・フリードリッヒ・シラー大学固体物理研究所 結晶成長研究所		
		フランス	アルピ鉱山大学		
		ルーマニア	レーザー・プラズマ・放射物理国立研究所		
		ロシア	ロシア科学アカデミー固体物理学研究所 トムスク工科大学原子核物理研究所 ロシア科学アカデミーレベデフ物理研究所 ロシア科学アカデミー極東支部自動制御プロセス研究所		
		東北アジア研究センター(11)	アジア	モンゴル	モンゴル科学技術大学ジオサイエンスセンター (旧: モンゴル技術大学ジオサイエンスセンター)
韓国				高麗大学校中国学研究所 高麗大学校日本学研究センター	
中国	広東省民族研究所 内蒙古師範大学蒙古学学院 内蒙古大学蒙古学学院				
ヨーロッパ	ロシア			ロシア科学アカデミーシベリア支部 V.N. スカチョフ森林研究所 ユゴラ情報技術研究所 ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所 国際技術投資振興財団 ロシア科学アカデミーシベリア支部 人文学・北方民族問題研究所 (旧: ロシア連邦サハ共和国アカデミー人文科学研究所)	
	台湾			中央研究院物理研究所	
	キューバ			フィンレイ研究所	
学際科学国際高等研究センター(3)	アジア		中国	山西経済管理幹部学院	
			韓国	昌原大学校産業技術研究院	
原子分子材料科学高等研究機構 (1)	北米		アメリカ	スタンフォード大学集積化システム研究センター	
	ヨーロッパ		イギリス	ユニバーシティカレッジロンドン (UCL)・数物科学部 (MAPS)	

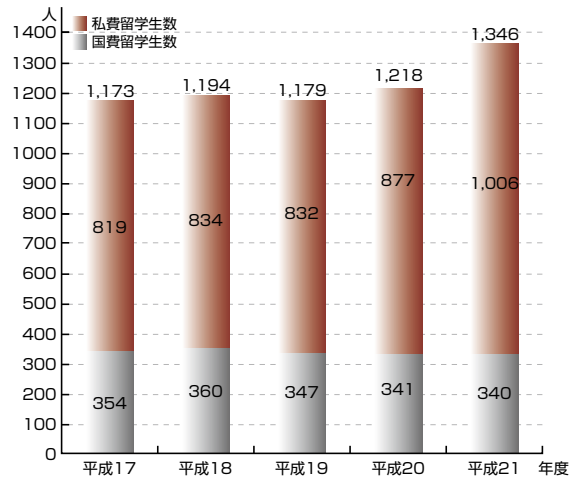


## 研究者等受入状況

教職員の海外渡航者数及び外国人研究者受入数の推移



外国人留学生受入数の推移



## 海外拠点

### リエゾンオフィス

締結機関 (設置場所)	国名 (締結日)	オフィス名	世話部局
① ロシア科学アカデミー・シベリア支部 (ノボシビルスク芸術センター)	ロシア (1997年 9月22日)	東北大学とロシア科学アカデミーシベリア支部間の共同ラボラトリーノボシビルスク分室	東北アジア研究センター
② ケンブリッジ大学 (金属冶金学科)	イギリス (2002年 4月23日)	WPI-IFCAM Cambridge Office	原子分子材料科学高等研究機構
③ ニューサウスウェールズ大学 (国際交流センター)	オーストラリア (2002年 5月17日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 法学研究科
④ ハーバード大学 (理工学部)	アメリカ (2002年 5月31日)	WPI-IFCAM Harvard Office	原子分子材料科学高等研究機構
⑤ モスクワ国立大学 (物理学部)	ロシア (2002年 6月21日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 金属材料研究所
⑥ スウェーデン王国王立工科大学 (材料科学科)	スウェーデン (2002年 9月 6日)	WPI-IFCAM Stockholm Office	原子分子材料科学高等研究機構
⑦ スタンフォード大学 (シボール先端材料科学研究所)	アメリカ (2003年 2月11日)	WPI-IFCAM Stanford Office	原子分子材料科学高等研究機構
⑧ 中国科学院物理学研究所 (表面物理国家重点実験室)	中国 (2003年 2月20日)	WPI-IFCAM Beijing Office	原子分子材料科学高等研究機構
⑨ シラキュース大学 (計算機科学・工学部)	アメリカ (2003年 11月19日)	流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑩ 韓国科学技術院 (機械工学部)	韓国 (2003年 12月18日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑪ 国立応用科学院リヨン校 (金属材料物理研究所)	フランス (2004年 1月23日)	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所
⑫ 国立熱帯医学研究所 (国立熱帯医学研究所)	フィリピン (2007年 5月 1日)	新興・再興感染症研究センター	医学系研究科
⑬ 東部ビザヤ地域医療センター	フィリピン (2008年 1月11日)	新興・再興感染症研究センター・タクロバンオフィス	医学系研究科

### 海外事務所

	設立	
⑭ 米国代表事務所 Tohoku University US Office	2006年 5月24日	
⑮ 中国代表事務所 Tohoku University China office	2007年 4月20日	







国際交流戦略の基本指針等



東北大学サマープログラム 平成20年7月31日



東北大学フォーラム 平成20年12月13日



インドネシア大学 協定更新調印式 平成21年4月17日

国際交流戦略の基本指針

2005年3月8日 東北大学

東北大学は、真理を探究して、新たな知識の創造とその普及に努め、それによって、人類が尊厳を保ちながら平和のうちに共生する社会の実現に貢献することを使命にしている。より具体的には、本学は、多様な分野の学芸が集い相互に協力・刺激し合いながら研鑽を積む総合大学として、世界と歴史の知の成果に学び、現在と未来の学問的課題を見極め、新たな知識の発見・創出と社会における公開・応用に取り組むと共に、知を以て人類社会に貢献する意欲と能力を備えた人材を育成することを目指すものである。

本学は、既にこれまで1世紀の間、「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」を精神的支柱として掲げてきた。このことは、本学構成員が、開学以来一貫して、研究・教育の国際化が本学の使命・目標を達成するための不可欠の条件をなすと明確に意識してきたことを示している。

近年に目を向けると、本学は、2000年8月に国際交流を通じて世界最高水準の研究・教育拠点作りを目指すことを世界に向けて宣言した。また、2004年4月の法人化に当たり、本学は、「国際競争力のある研究・教育拠点」として発展することを主要目標に挙げた。さらに2004年11月には、本学が今後、「Tohoku University, Creating Global Excellence」(「東北大学は世界最高水準の研究・教育を創造します」)を標榜することを表明した。

このような宣言・表明からも明らかなように、今日、国際交流の推進は、本学の使命・目標の達成にとってますます重要な位置を占めるものとなっている。また、それ故に、今後の国際交流の立案・実施に当たっては、それを本学の使命・目標の実現に可能な限り役立てるといふ戦略性が強く求められるに至っている。

したがって、本学は、今後、以下の主要目的を最大限に果たすことを基本指針にして国際交流戦略を立案・実行していかなければならない。

- (1) 国際学術ネットワークを通じた世界最高水準の研究を推進する。
- (2) 広く世界から意欲と能力を備えた俊秀を受け入れて世界の発展に役立つ指導的人材を育成する。
- (3) 研究教育を国際社会に発信するとともに、国際貢献に活用する。
- (4) 上記を達成するために研究・教育基盤を強化し、本学の国際的知名度・信頼性を向上させる。

国際的な大学連合への加盟

(2009年5月1日現在)

	環太平洋大学協会 (APRU) (Association of Pacific Rim Universities)	東アジア研究型大学協会 (AEARU) (The Association of East Asian Research Universities)	T.I.M.E. (Top Industrial Managers for Europe)
設立年月	1997.6	1996.1	1989.10
設立の経緯	環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることにより、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として設立された。 日本からは、慶應義塾大学、京都大学、大阪大学、東北大学、東京大学、早稲田大学が加盟。	東アジアにおける有力な研究指向型の大学学長間の交流の場を持つこと、および教員・学生の交流など加盟大学間の密接な交流を行うことを目的として設立された。 日本からは、京都大学、大阪大学、東北大学、東京工業大学、東京大学、筑波大学が加盟。	ヨーロッパの理工系大学間において、修士課程レベルでのダブル・ディグリープログラムによる交流を通じてトップレベルのエンジニアを養成することを視野に入れて設立された。 ヨーロッパ以外では、ブラジルのサンパウロ大学、日本の慶應義塾大学及び東北大学が加盟。
加盟国・地域 (加盟大学)	16(42)	4(17)	21(52)
本学の加盟年	2008年	1998年	2007年

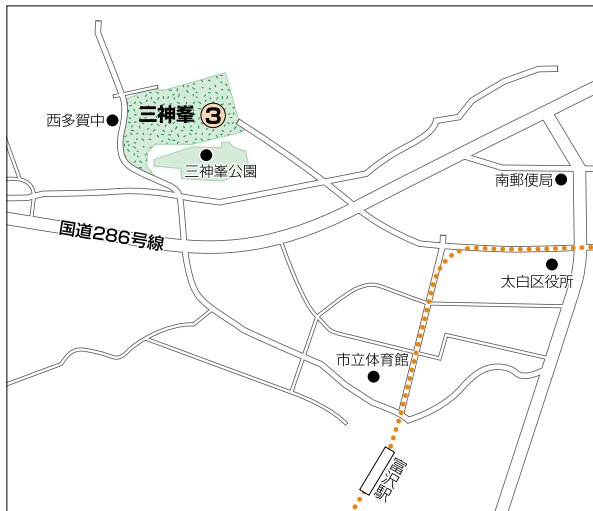
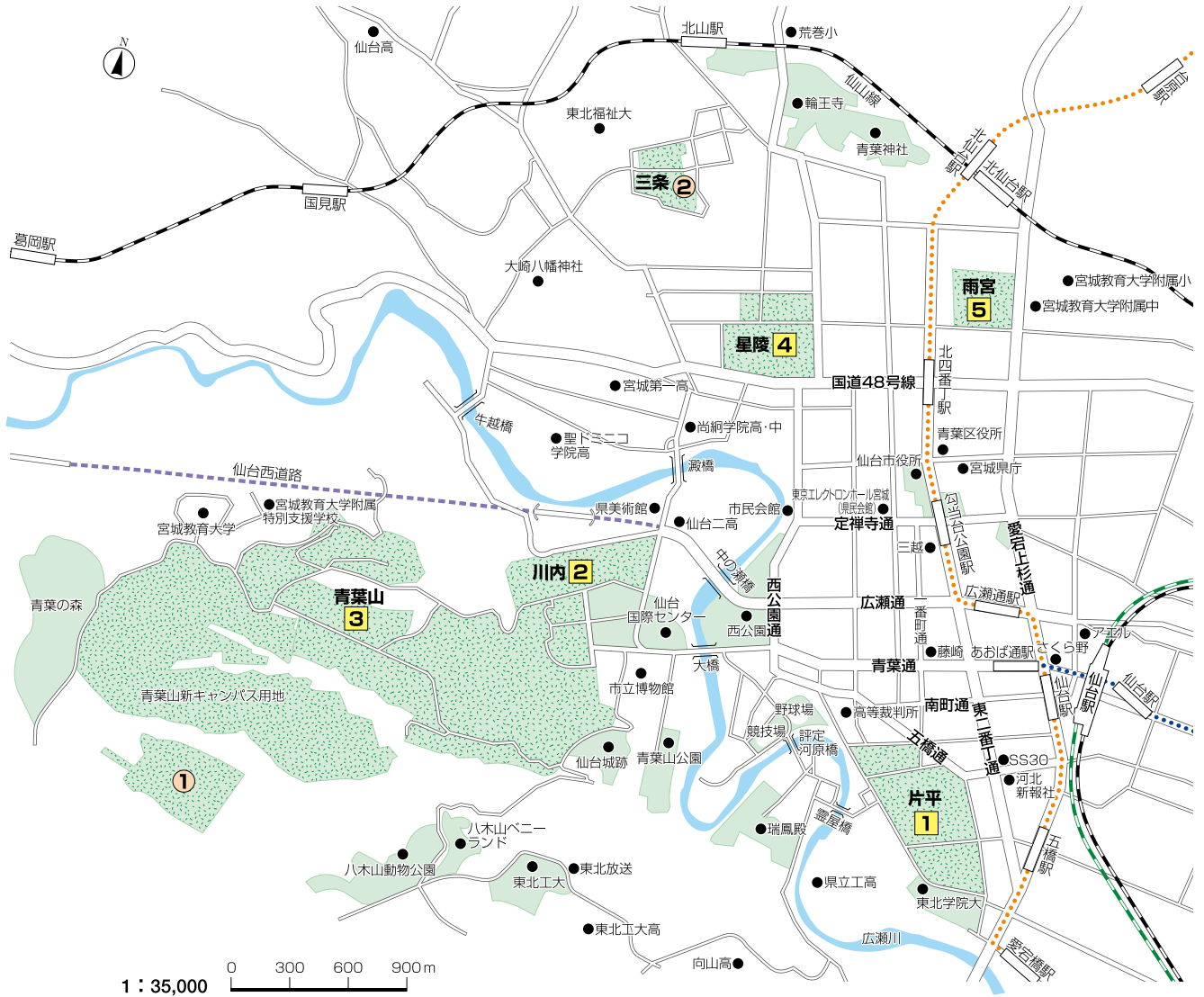


キャンパス

# 施設所在地一覧

## 主要地区

- 1 片平キャンパス 2 川内キャンパス 3 青葉山キャンパス 4 星陵キャンパス 5 雨宮キャンパス





## 施設所在地一覧

## その他の地区

施設名	住所・郵便番号 (県名のないものは宮城県)	代表電話番号
① 西澤潤一記念研究センター	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
② 国際交流会館	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022(275)9901
③ 理学研究科附属原子核物理学研究施設	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3440
④ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏女川観測所	〒986-2204 牡鹿郡女川町桐ヶ崎	0225(53)3374
⑤ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986-2242 牡鹿郡女川町小乗浜字向15	0225(53)2436
⑥ 農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字逢田232-3	0229(84)7312
⑦ 川渡共同セミナーセンター	〒989-6711 大崎市鳴子温泉字原75	0229(84)7309
⑧ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏蔵王観測所	〒989-0916 刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原200-1	0224(34)2743
⑨ 生命科学研究科附属浅虫海洋生物学研究センター	〒039-3501 青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑩ 学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030-0111 青森県青森市大字荒川字南荒川山1-1	017(738)0621
⑪ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (秋田県地震観測所)	〒011-0936 秋田県秋田市将軍野南1-14-46	018(845)8716
⑫ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (本荘地震観測所)	〒015-0091 秋田県由利本荘市大築	0184(29)2124
⑬ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (三陸地震観測所)	〒022-0101 岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	0192(44)2107
⑭ 理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター (遠野地震観測所)	〒028-0545 岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑮ 金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
⑯ 金属材料研究所附属研究施設大阪センター	〒593-8531 大阪府堺市中央区園町1-2 大阪府立大学内 産学官連携機構8階	072(254)5603
⑰ 理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター 惑星圏飯館観測所	〒960-1636 福島県相馬郡飯館村前田	0244(42)0530
⑱ 理学研究科附属ニュートリノ科学研究センター 液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506-1205 岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
⑲ 東北大学東京分室	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー10階	03(3218)9612
⑳ 東北大学米国代表事務所 (Tohoku University US Office)	4410 El Camino Real, Suite#1111, Los Altos CA94022, USA	
㉑ 東北大学中国代表事務所 (Tohoku University China Office)	北京市中关村北四环西路33号 中国科学院文献情报中心616号室 日本学術振興会北京研究連絡センター内	+86-10-6253-8332
㉒ 東北大学大学院環境科学研究科エネルギー・セキュリティー学 (JAPEX) 寄附講座 (インドネシア・バンドン工科大学内)	JL. Ganesha 10, Bandung, 40132, Indonesia Institut Teknologi Bandung	+62-22-2510-440

## 学寮、ユニバーシティ・ハウス

施設名称	概要	所在地	電話番号
日就寮 (男子)	収容定員103名	〒982-0832 仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-1858
以文寮 (男子)	// 96名	〒982-0832 //	022-229-5392
霽風寮 (男子)	// 81名	〒982-0832 //	022-229-4954
如春寮 (女子)	// 64名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857
明善寮 (男子)	// 160名	〒980-0011 仙台市青葉区上杉6丁目3-2	022-234-0134
松風寮 (男子)	// 150名	〒980-0011 //	022-275-1221
ユニバーシティ・ハウス三条 (男子、女子、留学生)	// 416名	〒981-0935 仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305

## 課外活動施設

施設名称	住所	代表電話番号
評定河原運動場・合宿所	〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1	
名取ボート艇庫・合宿所	〒981-1201 名取市下増田字屋敷10-1	022-384-0455
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024 埼玉県戸田市戸田公園5-50	048-447-0658
七ヶ浜ヨット艇庫・合宿所	〒985-0802 宮城郡七ヶ浜町吉田浜 字浜屋敷61-5	022-357-2659
萩雪ヒュッテ	〒990-2301 山形県山形市蔵王温泉 荒敷820-1	0236-94-9094
清溪小屋	〒980-0800 刈田郡蔵王町字倉石岳 国有林305口林小班	
片平中央体育館	〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1	
片平 (1・2・4・5・6) ホール	//	
片平武道場	//	
片平テニスコート	//	
富沢野球場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-5	
富沢自動車部練習場	〒982-0826 仙台市太白区三神峯1-6	
青葉山馬場	〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3	
川内ホール	〒980-8576 仙台市青葉区川内41	
川内サークル会館	//	
課外活動施設A	//	
サークル部室E・F・G	//	
川内サブアリーナ棟	//	

## 国際交流会館

(入居収容室数)				
区分	单身室	夫婦室	家族室	計
留学生	147	42	31	220
研究者	12	14	8	34
計	159	56	39	254



川内サブアリーナ棟

■ 片平キャンパス

●土地:237,563㎡ ●建物:162,531㎡(平成21年4月1日現在)

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 電話番号案内 022(717)7800

大学本部、研究所



片平さくらホール(写真左)、材料・物性総合研究棟



- 総長室経営企画スタッフ室、総務部総務課 25
- 総務部法務課、総務部人事課、財務部、研究協力部、産学連携推進本部 29
- 監査室、利益相反マネジメント事務局 23
- 総務部広報課、情報公開室 26
- 施設部、環境・安全推進室 33
- 情報部情報推進課 27
- 国際交流部国際交流課 30

- 生命科学研究所 事務局 20
- 生命科学研究所棟 35 58
- 環境制御実験棟 36
- 医工学研究所 研究室 54

- 法科大学院、公共政策大学院 事務局 28

- 片平第2号棟(法政実務研修棟) 34
- 片平第3号棟 33
- 片平第4号棟 38
- 片平第5号棟 26
- ジェンダー平等と多文化共生研究センター 26
- 片平第4号講義室 32

- 金属材料研究所 事務局 9
- 附属金属ガラス総合研究センター 13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター 14
- 本多記念館 9
- 金研1号館 10、2号館 11、3号館 12、4号館 17
- 金研10号館(放送大学宮城学習センター) 1
- 共同研究プロジェクト研究棟 4
- 金研計算機棟 5
- アルファ放射体実験室 6
- 金研技術棟 7 8
- 金研研究棟 15
- 金研COE棟 16

- 流体科学研究所 事務局 39
- 附属流体融合研究センター 39
- 流体研1号館 39、2号館 40、3号館 41
- 高速流実験棟 42
- 衝撃波学際応用実験棟 43
- 環境流体研究棟 64

- 電気通信研究所 事務局 57
- 附属ブレインウェア実験施設 59 60 62
- 附属ナノ・スピンの実験施設 54
- 附属21世紀情報通信研究開発センター 65 66
- 通研1号館 56、2号館 57 58
- 研究基盤技術センター 評価部 61

- 多元物質科学研究所 事務部長 46
- 多元研素材工学研究棟 47 48 49
- 多元研反応化学研究棟 19 21
- 多元研科学計測研究棟 22 23
- 多元研科学計測研究棟工場 24
- 多元研工業化試験工場 50
- 材料・物性総合研究棟 52 53

- 史料館 32
- 極低温科学センター 3
- 百万ボルト電子顕微鏡室 31
- 特定領域研究推進支援センター 29
- 埋蔵文化財調査室 37
- グローバルオペレーションセンター 30
- キャンパス計画室 33
- 原子分子材料科学高等研究機構 事務局 15
- WPI研究棟(インテグレーション・ラボ棟) 17
- WPIアネックス 20

- 片平会館 2
- 厚生施設(北門食堂) 18
- 片平さくらホール 51
- 文化財収蔵庫 44
- 厚生施設(片平売店) 45
- 厚生施設(学生ホール) 55
- 体育館 63

建物配置図

川内キャンパス

●土地:816,887㎡ ●建物:122,141㎡ (平成21年4月1日現在)

人文社会科学学部、全学教育

川内北キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内41  
 川内南キャンパス 〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1  
 電話番号案内 022(717)7800



- 教育・学生支援部(管理棟) ⑦
- 教育・学生支援部入試課 ⑱
- 国際交流部留学生課 ①
- 附属図書館 本館 ⑳
- 文学部・文学研究科 事務室 ㉒
- 文学研究科・法学研究科合同研究棟 ㉔
- 教育学部・教育学研究科 事務室 ㉕
- 文科系総合研究棟 ㉖
- 法学部・法学研究科 事務室 ㉚
- 経済学部・経済学研究科 事務室 ㉛
- 会計大学院 ㉜
- 経済学研究科演習室 ㉞ ㉟
- 国際文化研究科 事務室 ⑥
- 附属言語脳認知総合科学研究センター ③
- 教育情報学研究部・教育情報学教育部 事務室 ㉝
- 東北アジア研究センター ③
- 東北アジア研究センター分室 ⑱
- 高等教育開発推進センター ③
- 保健管理センター、学生相談所、ハラスメント全学学生相談窓口 ④
- 入試センター ⑱

- キャリア支援センター ⑦
- 植物園本館 ㉓
- 植物園記念館 ㉔
- 国際交流センター ①
- 教養教育院 ⑦
- 教育情報基盤センター ⑪
- 学生実験棟 ②
- 川北合同研究棟 ③
- 講義棟 A棟 ⑧、B棟 ⑨、C棟 ⑩
- マルチメディア教育研究棟 ⑪
- サークル部室 ⑤ ⑫
- 厚生施設(川内北キャンパス厚生会館) ⑬
- 川内体育館 ⑮
- 川内ホール ⑯
- 課外活動室A棟 ⑰
- 川内サークル会館 ⑲
- 川内サブアリーナ棟 ⑭
- 百周年記念会館(川内萩ホール) ㉑
- 中講義棟 ⑳
- 大講義棟 ㉗
- 文科系合同研究棟 ㉘
- 厚生施設(文系食堂) ㉙

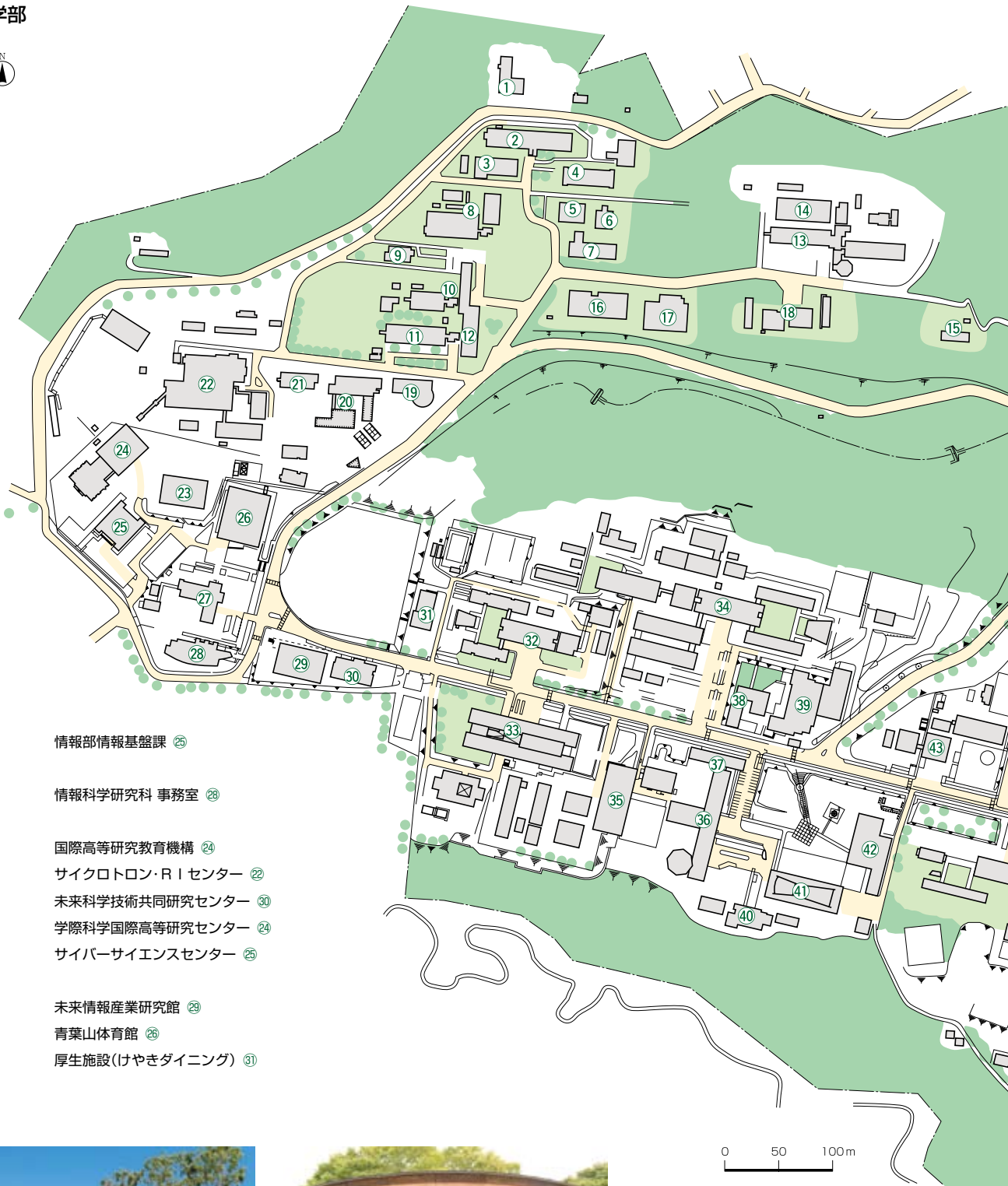


川内キャンパス 春



3 青葉山キャンパス

理工系学部



情報部情報基盤課 25

情報科学研究科 事務室 28

国際高等研究教育機構 24

サイクロトロン・RIセンター 22

未来科学技術共同研究センター 30

学際科学国際高等研究センター 24

サイバーサイエンスセンター 25

未来情報産業研究館 29

青葉山体育館 26

厚生施設(けやきダイニング) 31



青葉通から青葉山新キャンパスに移植されたケヤキ



自動車の過去・未来館

●土地:785,049㎡ ●建物:292,772㎡ (平成21年4月1日現在)

工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6  
 工学研究科・工学部・環境科学研究科・医工学研究科以外 〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
 電話番号案内 022(717)7800



附属図書館 北青葉山分館 ⑰

理学部・理学研究科 事務室(管理棟) ⑫

附属巨大分子解析研究センター ⑨

附属大気海洋変動観測研究センター ⑳

附属惑星プラズマ・大気研究センター ㉑

附属地震・噴火予知研究観測センター ⑤⑩

附属ニュートリノ科学研究センター ⑱

数学棟 ⑦

物理棟 ② ③ ④

化学棟 ⑧

地学棟 ⑪

生物棟 ⑩

理学系総合研究棟 ㉒

大講義棟 ⑤

数理科学記念館 ⑥

自然史標本館 ⑱

薬学研究科・薬学部 事務室 ⑬

附属薬用植物園 ⑮

応用薬学総合研究棟 ⑭

生命科学研究科 研究室 ⑧ ⑩ ㉓

総合学術博物館 ⑲

極低温科学センター ①

厚生施設(理薬生協) ⑯

附属図書館 工学分館 ㉔

工学部・工学研究科 事務室(管理棟) ㉕

附属災害制御研究センター ㉖

附属エネルギー安全科学国際研究センター ㉗

附属超臨界溶媒工学研究センター ㉘

附属マイクロ・ナノマシニング研究教育センター ㉙

機械・知能系事務室 ㉚

電子情報システム・応物系事務室 ㉛

化学・バイオ系事務室 ㉜

マテリアル・開発系事務室 ㉝

人間・環境系事務室 ㉞

工学系総合研究棟 ㉟

共通講義棟 ㊱

創造工学センター ㊲

応用物理研究棟 ㊳

建築実験所 ㊴

環境科学研究科 事務室 ㊵

医工学研究科 事務室 ㊶

研究室 ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼

環境保全センター ㊽

ハッチェリースクエア ㊾

厚生施設(中央食堂・売店) ㊿

青葉記念会館 ㊿

厚生施設(こもれびカフェ、コンビニエンスストア) ㊿

自動車の過去・未来館 ㊿

# 建物配置図

## 4 星陵キャンパス

●土地: 179,214㎡ ●建物: 259,461㎡ (平成21年4月1日現在)

### 医・歯学部、病院

病院 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1  
 附属歯科医療センター 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1  
 医学部・医学系研究科 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
 歯学部・歯学研究科/加齢医学研究所 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1  
 電話番号案内 022(717)7000



附属図書館 医学分館 35

病院 事務室(管理棟) 34

外来診療棟 33

中央診療棟 29

総合研究施設棟(仮称) 25

西病棟 26

東病棟 27

南病棟 28

医学部・医学系研究科 事務室 19

医学部O号館 16

1号館 18

2号館 30

3号館 31

4号館 17

5号館 24

保健学科 12 13

フロンティア研究棟 14

バイオメディカル研究棟 21

プリオン研究実験棟 22

動物実験施設 23

実習講義棟 18

臨床講義棟 32

歯学部・歯学研究科 事務室 8

附属歯科医療センター 10

基礎研究棟 8

実習講義棟 9

生命科学系研究科 研究室 3 4

医工学研究科 研究室 3 4 17 19 21 30 31

加齢医学研究所 事務室 4

加齢研実験研究棟 3

プロジェクト総合研究棟 4

ブレインイメージング研究棟 6

ブレインダイナミクス研究棟 7

腫瘍動物実験棟 5

先進フロンティア研究棟 11

遺伝子実験センター 3

未来医工学治療開発センター 25 26 27

RI星陵サブセンター 24

星陵学生サークル棟 1

星陵体育館 2

厚生施設(星陵会館) 15

医学部長陵会館 36



医学部棟

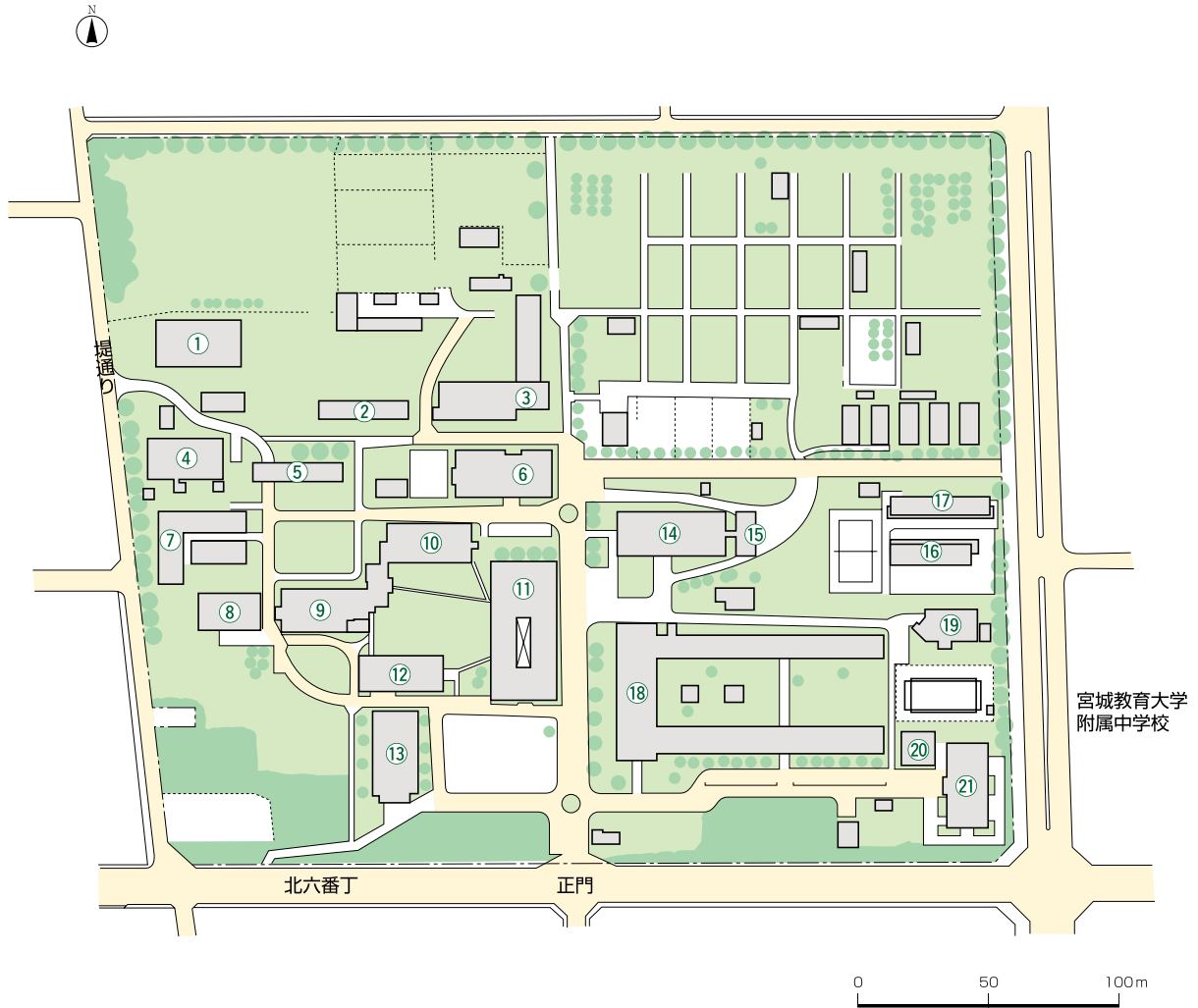
建物配置図

5 雨宮キャンパス

●土地:92,746㎡ ●建物:31,297㎡(平成21年4月1日現在)

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1 電話番号案内 022(717)8604

農学部



附属図書館 農学分館 ⑥

農学研究科 事務室(管理棟) ⑫

農学研究科本館 ⑮

第一研究棟 ⑨

第二研究棟 ⑩

研究実験棟第一 ⑮

研究実験棟第二 ⑰

研究実験棟第三 ⑤

研究実験棟第四 ②

動物飼育実験棟 ③

食品加工実験棟 ④

水産生物飼育実験棟 ⑦

植物環境応答実験施設 ⑳

生命科学研究所 研究室 ⑤ ⑩ ⑮

加齢医学研究所附属ゲノムリサーチセンター ㉑

講義棟 ⑪

講堂 ①

R1実験施設 ⑲

パワーセンター ⑧

旧体育館 ⑬

厚生施設 ⑭

学生談話室 ⑮



雨宮キャンパス 正門

## 東北大学概要 2009

●  
【編集・発行】  
平成21年7月

東北大学総務部広報課  
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1  
Tel.022-217-4977

●  
<http://www.tohoku.ac.jp/>

